

14. 21-616



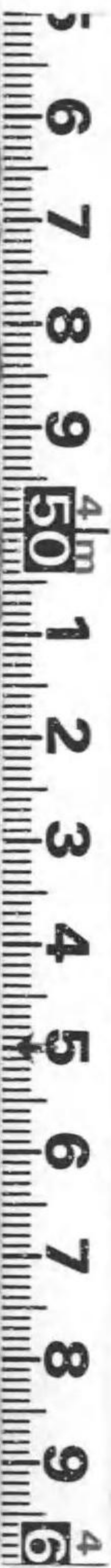
1200501162793

21

616

肥料調査委員会議事録 1

国立国会図書館



始



工 6F-2

14

61

昭和三年二月

肥料調查委員會議事錄

(第一輯)

肥料調查委員會

14.21-616

# 肥料調查委員會會議事錄

## 目次

一、肥料調查委員會々則	一頁
二、肥料調查委員會委員名簿	二
三、肥料調查委員會議事規則	四
四、議事其ノ他ニ就テノ申合	五
五、特別委員會ノ調査項目及委員	六
六、答申書	七
七、肥料調查委員會經過概要	一一
八、肥料調查委員會第一回總會議事速記録	一八
總會ノ日時場所出席者	一八
山本農林大臣挨拶	一九
議事規則附議	二四



議事其ノ他ニ就テノ申合事項附議	二五
農林大臣諮問及其ノ説明	三〇
一般事項ニ關スル質問應答	三二
特別委員設置ニ關スル協議	三七
九、肥料調査委員會第一特別委員會議事要録	七四
一、第一特別委員會(第一回第一日)	七四
協議事項	七四
日時場所及出席者	七五
委員長ノ互選	七五
質問應答	七五
二、同(第二日)	八六
日時、場所、及出席者	八六
質問應答及討議	八七
小委員會設置及其ノ委員名	九五
三、第一特別委員會小委員會議事要録	九六
(一) 小委員會(第一回)	九六
協議事項	九六

日時場所及出席者	九六
小委員長互選	九六
質問應答及討議	九六
齋藤委員提出「空中窒素固定工業ニ關スル意見」書	九七
(二) 小委員會(第二回)	一〇三
協議事項	一〇三
日時場所及出席者	一〇四
小委員長報告	一〇四
協議事項附議	一〇四
質問應答及討議	一〇八
(三) 小委員會(第三回)	一一三
協議事項	一一三
日時場所及出席者	一一三
協議事項ニ關スル説明書	一一三
質問應答及討議	一一七
(四) 小委員會(第四回)	一二六
協議事項	一二六

日時場所及出席者	一五六
協議事項附議	一五七
質問應答及討議	一六一
採決	一六六
四、第一特別委員會(第二回)議事速記錄	二六七
協議事項	二六七
日時場所及出席者	二六七
協議事項(小委員會決定案)附議	二六七
小委員會ノ經過及結果報告	二六七
質問應答及討議	二六八
採決	二九〇
一〇、肥料調查委員會第二回總會議事速記錄	二九〇
協議事項	二九〇
日時場所及出席者	二九〇
事務報告	二九一
協議事項附議	二九一
第一特別委員會ノ經過及結果報告	二九一

質問應答及討議	一九三
採決	二二八

## 一、肥料調査委員會規則

第一條 肥料調査委員會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應シテ肥料ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 委員會ハ會長一名委員二十名以內ヲ以テ之ヲ組織ス特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アル場

合ニ於テハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 農林省高等官中ヨリ農林大臣ノ命シタルモノ

二 關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ農林大臣ノ囑託シタルモノ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名スル委員臨時其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク農林省高等官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ス幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ

整理ス

第六條 委員會ニ書記ヲ置ク農林省判任官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ス書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ

庶務ニ従事ス



農	農	林	林	屬	屬	小	松	四
林	屬	相	澤	貴	雄	佐	市	

### 三、肥料調査委員會議事規則

- 第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定メ各委員ニ通知ス
- 第二條 會長ハ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理ス
- 第三條 會議ハ委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス但シ豫メ特ニ議決シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 議事ハ出席セル委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 採決ハ舉手ニ依ル但シ議決ニ依リ記名採票又ハ無記名採票ヲ用フルコトヲ得
- 第五條 委員又ハ臨時委員提案ヲ爲サムトスルトキハ案ヲ具シ之ヲ會長ニ提出スヘシ但シ事ノ簡單ナルモノハ口頭ニテ陳述スルコトヲ得
- 第六條 議事録ハ幹事之ヲ作成スヘシ
- 第七條 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ特別委員ヲ設クルコトヲ得本則ノ規定ハ特別委員會ニ之ヲ準用ス

- 第八條 幹事又ハ關係官吏ハ會長ノ承認ヲ受ケテ會議ニ出席シ説明ヲ爲シ又ハ意見ヲ陳述スルコトヲ得
- 第九條 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ委員ニ非サル者ノ出席ヲ求め其ノ意見ヲ聽クコトヲ得
- 第十條 本則ニ明文ナキ事項ハ會長之ヲ決ス

### 四、議事其ノ他ニ就テノ申合

- 一、委員會ノ議事ハ能フ限り形式ニ拘泥セス懇談的ニ十分意見ヲ開陳セラルル様致シタキコト
- 二、會議ノ内容ハ差支ナキ限り幹事ヲシテ新聞ニ大要ヲ報セシムルコト
- 三、特ニ秘印ヲ附セル參考書類ハ内容ヲ公表セラレサル様注意セラレタキコト、又「未定稿」ト記セル參考書類ニ付テモ同様注意セラレタキコト但訂正スヘキ點等ニ付氣付カレタル時ハ幹事迄注意セラレタキコト
- 四、特ニ書面ヲ以テ意見ヲ開陳セラルル必要アルトキハ會長迄提出セラレタキコト、此ノ場合ニハ印刷ノ上各委員ニ配付致スヘキコト
- 五、特別委員ヲ設ケラルル場合ニハ其委員會開催ニ際シ右特別委員以外ノ委員諸君モ在京セラルル方ハ便宜出席セラレテ議事ヲ聽取シ又意見ヲ陳ヘラルル様致シ度ク特別委員會モ必ス全委員ニ通知スルコト



五、特別委員會ノ調査項目及其ノ委員 (昭和四年一月十日現在)

第一特別委員

販賣肥料ノ供給増加ニ關スル事項

- |          |          |       |
|----------|----------|-------|
| 東 武      | (兼)安藤廣太郎 | 小寺房治郎 |
| 村井二郎吉    | (兼)鈴木梅太郎 | 矢作榮藏  |
| (兼)麻生慶次郎 | 大河内正敏    | 湯地幸平  |
| 恒藤規隆     | 齋藤藤四郎    | 田中榮八郎 |
| 野口 遵     | 藤原銀次郎    |       |

第二特別委員

- 一、肥料品質保全ニ關スル事項
- 二、肥料配給改善ニ關スル事項

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 松村真一郎    | (兼)安藤廣太郎 | 四條隆英     |
| 吉野信次     | 鈴木梅太郎    | (兼)麻生慶次郎 |
| (兼)大河内正敏 | 桐瀬軍之佐    | 板谷宮吉     |

第三特別委員

- 一、自給肥料ノ供給増加ニ關スル事項

- 二、肥料ノ施用改善ニ關スル事項
- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 阿部壽準     | 砂田重政    | 安藤廣太郎    |
| 吉植庄一郎    | (兼)矢作榮藏 | 麻生慶次郎    |
| (兼)齋藤藤四郎 | 濱口儀兵衛   | (兼)田中榮八郎 |

六、答 申 書

答 申

曩ニ本會ニ諮問セラレタル「肥料ニ關シテ採ルベキ重要方策」ニ付テハ夫々調査審議ヲ進メツツアル處先ヅ別紙「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」ヲ得タリ右ハ現下ノ實情ニ徴シ急速實施ヲ要スルモノト被認候條不取敢及答申候也

追テ右以外ノ事項ニ付テハ調査完了次第答申可及此段申添候也

昭和二年十月二十二日

肥料調査委員會々長 山本悌二郎

農林大臣 山本悌二郎 殿

無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策

肥料ノ價格ヲ低廉ナラシムルト共ニ之ガ安定ヲ期スルハ現下我國農家經濟ノ實狀ニ徴シ焦眉ノ急務ト

スル所ナリ而シテ各種肥料ノ中無機質窒素肥料ノ需要ハ較近特ニ著シキ増進ヲ示シ最近三ヶ年平均ニ於テ其ノ量三十七萬噸ノ多キニ達シ之ガ窒素含有量ハ全販賣肥料中ノ窒素總量ノ四割餘ヲ占ムルノ狀況ナルガ斯種肥料ハ從來一般ニ使用セラル、有機質肥料ニ比スレバ現在ノ市價ヲ以テスルモ尙低廉ナルヲ以テ其ノ需要ハ今後ニ於テ益々増大スルニ至ルベキハ疑ヲ容レズ而シテ之ガ將來ニ於ケル需要ノ程度ハ食糧其ノ他農産物ノ増殖ニ伴フ肥料消費ノ増加及經濟的肥料ノ選擇ニ因ル消費割合ノ變化等ヲ考察シ近ク十年後ニ付テ之ヲ見ルモ其ノ量八十萬噸ヲ下ラザルベク更ニ其ノ後ニ於ケル需要量ノ莫大ニ上ルベキハ想像ニ難カラズ故ニ之ガ價格ヲ低廉ニシ且安定ナラシムルコトハ當ニ夫レ自體重要ノ事項タルノミナラズ本肥料ノ價格ガ一般窒素肥料ノ價格ヲ支配スルノ作用ニ徴シ特ニ意義アルモノト謂ハザルベカラズ

齎ツテ我國ニ於ケル無機質窒素肥料供給ノ狀況ヲ見ルニ其ノ國內生産ハ現在僅カニ十七萬五千噸(窒素固定肥料十五萬五千噸、副生硫酸安母尼亞二萬噸)ニ過ギズシテ需要ノ過半ハ之ヲ外國ノ生産ニ依頼シ年々獨英米ノ諸國ヨリ巨額ノ輸入ヲナシツ、アリ然ルニ世界ニ於ケル無機質窒素肥料ノ價格ハ斯種肥料供給ノ大部分ヲ支配スル智利ニ於ケル智利硝石ノ國家的大シンジケート竝ニ獨逸ヲ中心トスル歐洲諸國及米國ノ一部ヲ包容スル石灰窒素及硫酸安母尼亞ノ販賣聯盟ノ獨占的勢力ニ依リテ決定セラル、ガ故ニ我國ニ於ケル斯種肥料ノ價格ノ低下ト安定トヲ庶幾スル上ニ於テ右ハ甚シキ障害タリ而モ我國生産者ハ今日未ダ之等販賣聯盟ニ加盟スルニ至ラズト雖歐米ノ製品ノ我國ニ於ケル販賣價格ガ歐米ニ於ケル夫レニ比シ之等諸國ヨリ我國迄ノ運賃其ノ他ノ經費丈高價ナルヲ利用シテ其ノ生産業

ヲ營マントスルガ如キ消極的態度ヲ持スルヲ以テ現状ニ依リ推移スルニ於テハ之等肥料價格ノ低下及安定ノ目的ヲ達スルコトハ到底之ヲ望ミ難シ故ニ適當ナル方策ヲ講ジ斯業ノ健實ナル發達ヲ期スルハ刻下ノ急務ニシテ獨リ農業上ノ立場ニ於テノミナラズ國際貸借ノ改善重要工業振興ノ上ヨリスルモ將又國防上ノ見地ヨリスルモ右ハ極メテ肝要ノ事項ト謂ハザルベカラズ

今我國ニ於ケル無機質窒素肥料生産増加ノ可能性ニ付考察スルニ其ノ最重要ナル空中窒素固定肥料ノ製造事業ニ在リテハ製品ノ主要原料タル空氣及水ノ無限ニ利用シ得ラル、ノ點ハ勿論製造工程上缺クベカラザル電力又ハ石炭等ニ在リテモ有利ニ之ヲ使用シ得ルモノ少シトナサズ而シテ今後相當需要ノ増進ヲ期待シ得ベキ石灰窒素ノ製造ニ適セル不定時電力ノ豊富ナルガ如キ或ハ硫酸安母尼亞ノ製造上製鐵業ノ廢瓦斯ノ利用セラルベキモノ少ナカラザルガ如キ亦看過スベカラザル所ナリトス唯低利長期ノ資金ヲ得ルノ困難ナルガ如キ機械工業ノ進歩未ダ充分ナラザルガ如キ多少不利トスベキ點アルヲ免レズト雖國家の方策ニ依リテ之等不利ノ事情ヲ除去スルニ於テハ我國ノ優秀ナル事業經營者及技術者ノ力ハ能ク本事業ヲ世界的標準ノ下ニ成立セシメ得ベク從ツテ近キ將來ニ於テ本肥料ノ生産ハ國內自給ノ域ニ到達シ得ルハ勿論更ニ進んで國外輸出ノ餘力ヲ養ヒ以テ有事ノ際多額ノ固定窒素ヲ一時軍需ノ爲ニ收容セラル、モ尙國內ノ肥料供給ヲ確實ニスルヲ得ルノ程度ニ之ヲ發達セシムルコト敢テ至難ニ非ザルベシ

事情右ノ如クナルヲ以テ政府ハ此ノ際肥料政策ノ眼目タル價格ノ低下及安定ノ目的ヲ達成センガ爲左記要項ニ從ヒ本事業ノ經營ヲ助長スルト共ニ製品ノ販賣ヲ管理スルノ要アルモノト認ム

- 一 新ニ空中窒素固定肥料ノ製造業ヲ開始シ又ハ之ガ從來ノ規模ヲ擴張セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト
- 二 政府ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ許可ヲ受ケタル事業ニ對シ低利資金ヲ貸付ケ又ハ其ノ事業ノ爲發行スル社債ノ償還ニ付保證ヲ爲シ得ルコト
- 三 空中窒素固定肥料ノ製造ヲ爲ス株式會社ハ政府ノ許可ヲ得テ拂込資本金ノ二倍迄社債ヲ發行シ得ルコト
- 四 新ニ發電ノ爲水利權ヲ許可スル場合ニ於テハ第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ對シ成ル可ク優先的ニ之ヲ附與スルコト  
既得ノ發電水利權中事業未着手ノモノニ付テモ適當ノ整理ヲ行ヒ同様成ル可ク優先的附與ノ途ヲ開クコト
- 五 空中窒素固定肥料ノ製造裝置ニ使用スル機械類ノ輸入税ヲ免除スルコト
- 六 空中窒素固定肥料ノ製造業者ニ對シ前各項ノ保護ヲ與フル場合ニ於テハ政府ハ一定ノ期間内ニ生産スベキ數量ノ他必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得ルコト
- 七 政府ハ毎年空中窒素固定肥料及副生硫酸安母尼亞ニ付其ノ最高販賣價格ヲ定ムルコト
- 八 政府ハ前項ノ肥料ノ一定數量ヲ買入レ之ヲ貯藏スルヲ得ルコト

- 九 第七項ノ肥料ノ輸入又ハ輸出ヲ爲サントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト
- 十 政府ハ第七項ノ肥料ヲ自ラ輸入シ又ハ商人ヲ指定シテ輸入セシムルコトヲ得ルコト
- 十一 第八項及前項ノ肥料ノ配給ハ政府ノ管理ノ下ニ商人、産業組合又ハ農會等ヲシテ之ヲ爲サシムルコト
- 十二 政府ハ買入代價ヲ一年内ニ償還スベキ肥料證券ヲ以テ交付シ日本銀行ヲシテ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ割引カシムルコト
- 十三 第八項第十項及第十一項ニ依ル肥料ノ買入及賣渡ニ關スル一切ノ歳入、歳出ハ之ヲ一般會計ト區分シ特別會計ヲ立ツルコト
- 十四 前項ノ特別會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本特別會計ノ負擔ニ於テ借入金ヲ爲スコトヲ得ルコト
- 十五 政府ハ第七項ノ肥料ノ製造業者ヲシテ其ノ製造高其ノ他必要ナル事項ヲ報告セシメ且ツ其ノ業務及財産ニ對シ検査監督ヲ爲シ得ルコト
- 十六 政府ハ官民ヨリ成ル委員會ヲ設ケ第七項ノ肥料ノ管理ニ關スル重要事項ヲ諮問スルコト

## 七、肥料調査委員會經過概要

### 一、肥料調査委員會設置

昭和二年六月七日肥料調査委員會設置セラル

二、肥料調査委員會委員幹事及書記ノ任命囑託及移動

肥料調査委員會委員ヲ命ズ(昭和二年六月十日付各通)

農林政務次官	東
農林次官	阿部壽
農林參與官	砂田重
農務局長	松村真一
農事試験場技師	安藤廣太郎
商工政務次官	吉植庄一
商工次官	四條隆英
商工省工務局長	宮内國太郎
臨時窒素研究所技師	小寺房治郎
東京帝國大學教授	鈴木梅太郎
正四位勳三等	矢作榮藏
東京帝國大學教授	正四位勳三等
東京帝國大學教授	正四位勳三等
正三位勳三等子爵	大生慶次郎

肥料調査委員會委員ヲ囑託ス(昭和二年六月十日付各通)

衆議院議員	桐瀬軍之佐
正五位勳三等	齋藤藤四郎
衆議院議員	濱口儀兵衛
貴族院議員	板谷宮八郎
貴族院議員	田中榮八郎
貴族院議員	野山口常一
	藤山

肥料調査委員會幹事ヲ命ズ(昭和二年六月十日付各通)

農林事務官	横山敬教
農林技師	間部
農林屬	村田真夫
農林屬	小松佐市
農林屬	相澤貴雄

肥料調査委員會書記ヲ命ズ(昭和二年六月十日付各通)

「貴族議員」	湯地幸平
從四位勳三等	恒藤規隆
正五位勳五等	

肥料調査委員會臨時委員ヲ囑託ス(昭和二年六月二十三日付各通)

遞信省電氣局長 村井二郎吉  
肥料調査委員會臨時委員ヲ囑託ス(昭和二年六月二十四日付)

藤山常一  
肥料調査委員會委員ノ囑託ヲ解ク(昭和二年十一月十七日付)

藤原銀次郎  
肥料調査委員會委員ヲ囑託ス(昭和二年十一月十七日付)

小寺房治郎  
「商工」臨時窒素研究所技師

宮内國太郎  
廢官(昭和三年五月三十一日)  
商工省工務局長

吉野信次  
退官(昭和三年七月三十一日)  
「商工」省長

小寺房治郎  
「商工」工業試驗所技師

肥料調査委員會委員ヲ囑託ス(昭和三年十月三十日付各通)

### 三、肥料調査委員會第一回總會

昭和二年六月二十二日肥料調査委員會第一回總會ヲ農林大臣官邸ニ於テ開會、山本會長以下委員全部出席議事規則案議事其ノ他ニ付テノ申合案ヲ附議決定ノ後諮問事項ヲ附議シ吉植、矢作、砂田、鈴木、安藤、大河内、野口、麻生、小寺、田中、齋藤、柵瀬、四條ノ各委員ヨリ夫々質問應答意見

ノ開陳等アリタル後本問題ハ頗ル廣汎ニ亘ルノ故ヲ以テ其ノ調査項目ヲ三分シ各特別委員會ヲ設置シテ調査審議スルコトニ決定シテ散會ス  
各特別委員會ニ於テ調査スベキ項目及委員名ハ別記(肥料調査委員會特別委員)ノ通りニ付茲ニ之ヲ省略ス

### 四、肥料調査委員會第一特別委員會

#### 一、第一特別委員會(第一回)

第一特別委員會(第一回)ハ昭和二年六月二十三日及翌二十四日ノ二日間ニ亘リ農林省農林次官室ニ於テ開會、田中委員ヲ除キ第一特別委員ノ全部及阿部、松村、吉植、安藤、麻生ノ各委員出席互選ノ結果東委員第一特別委員長ト爲リ肥料ノ供給増加ニ關スル事項ヲ議題トシ質問應答ヲ重ネタル後窒素肥料ノ問題ニ關シ答申案作成ノ爲メ更ニ小委員會ヲ設置スルコトニ決定シテ散會小委員左ノ如シ

小寺委員 矢作委員 大河内委員  
湯地委員 齋藤委員 野口委員

#### 二、第一特別委員會小委員會

##### (一) 小委員會(第一回)

昭和二年六月二十七日小委員會(第一回)ヲ農林省會議室ニ於テ開會、小委員ノ全部及阿部、松

村、安藤ノ各委員出席矢作委員小委員長トナリ「無機質窒素肥料ノ供給増加ニ關スル事項」ヲ議題トシ齋藤委員ヨリ「空中窒素固定工業ニ關スル意見書」ノ提出アリ各委員ヨリ夫々意見ノ開陳アリ矢作委員ニ案ノ作成方ヲ一任シテ散會

(二) 案ノ作成

矢作委員ハ案ノ作成ノ爲六月三十日ヨリ八月十三日ニ至ル間ニ於テ九回ニ亙リ安藤委員及幹事ト會合シ研究調査ヲ重ネ「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案ヲ作成シタリ

(三) 小委員會(第二回)

昭和二年八月二十日小委員會(第二回)ヲ農林省會議室ニ於テ開會、野口委員ヲ除クノ外小委員ノ全部及阿部、松村、村井、安藤、鈴木、恒藤、田中ノ各委員出席矢作委員作成ノ「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案ヲ議題トシ質問應答ヲ重ネタル後更ニ各自研究スルコト、シテ散會

(四) 小委員會(第三回)

昭和二年九月十日小委員會(第三回)ヲ農林省會議室ニ於テ開會、小委員ノ全部及阿部、松村、安藤、村井、鈴木、恒藤、田中ノ各委員出席前回ニ引續キ「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案ヲ議題トシ討議ノ結果本案ノ無機質窒素肥料ノ製造助成ニ付テハ大體異論ナカリシモ本肥料ヲ政府ノ專賣トスルノ件ニ付テハ諸種ノ事情ニ鑑ミ時機尙早トノ意見アリ依テ專賣ヲ管理ニ改メテ立案スルコト、シテ散會

(五) 小委員會(第四回)

昭和二年九月二十日小委員會(第四回)ヲ農林省會議室ニ於テ開會、小委員ノ全部及阿部、松村、安藤、村井、鈴木、麻生、田中ノ各委員出席「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案ヲ議題トシ討議ノ結果異議ナク可決シテ閉會

三、第一特別委員會(第二回)

第一特別委員會(第二回)ハ昭和二年九月二十日農林省會議室ニ於テ開會第一特別委員ノ全部及阿部、松村、安藤、麻生ノ各委員出席ノ小委員會ニ於テ立案セラレタル「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案ヲ議題トシ討議ノ結果、案ノ記第四項「優先的」ヲ「成ル可ク優先的」ニ修正ノ上原案ヲ可決シテ散會

五、肥料調査委員會第一回總會

昭和二年十月十一日肥料調査委員會第二回總會ヲ農林省會議室ニ於テ開會吉植、村井、棚瀬、濱口板谷ノ各委員ヲ除キ全委員出席第一特別委員會ノ成案タル「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」ヲ議題トシ東第一特別委員長ヨリ同委員會ノ經過ニ付報告アリタル後直ニ議事ニ入り麻生、四條、矢作、宮内、松村、大河内、湯地、齋藤ノ各委員ヨリ夫々質問應答又ハ意見ノ開陳アリ採決ノ結果商工省在職ノ委員ハ目下商工審議會ニ於テモ本問題ヲ考究中ナルヲ以テ此ノ際暫ク賛否ノ意見ヲ留保スルコト、ナリ其ノ他ノ委員ハ全員一致之ヲ可決セリ

## 六、諮問答申

肥料調査委員會ニ諮問セラレタル「肥料ニ關シ採ルベキ重要方策」ニ付テハ調査審議スベキ事項多ク  
々アリト雖肥料調査委員會第二回總會ニ於テ可決セラレタル「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管  
理方策」ハ現下ノ實情ニ徴シ急速實施ヲ要スルモノト認メ不取敢昭和二年十月二十二日附ヲ以テ之  
ヲ農林大臣ニ答申セリ

一八

## 八、肥料調査委員會第一回總會議事速記録

總會ノ日時、場所、出席者及順序

日時 昭和二年六月二十二日(水曜日)

會場 農林大臣官邸ニ於テ開催

出席者

會長	山本悌二郎
委員	東武
	砂田重政
	安藤廣太郎
	阿部壽準
	松村眞一郎
	吉植庄一郎

## 總會順序

- 一、開會
- 二、山本農林大臣挨拶
- 三、議事規則附議
- 四、議事其ノ他ニ就テノ申合事項附議
- 五、農林大臣諮問及説明
- 六、一般事項ニ關スル質問應答
- 七、特別委員會設置ニ關スル協議
- 八、閉會

○山本農林大臣挨拶

一九

○山本農林大臣 ソレデハ是カラ開會致シマス、一寸御挨拶申上ゲマス、本日肥料調査會ノ第一回ヲ開キマスニ當リ、委員各位皆御揃ヒテ御出席ヲ得マシテ、洵ニ私共ニ取リマシテ本懐ニ存ジマス、肥料問題ガ極メテ我國ノ今日ノ國情ニ照シマシテ大切ナ問題デアルト云フコトハ、固ヨリ私カラ今更申上ゲル必要モゴザイマセヌガ、唯動々トモスレバ斯ノ如キ重要性ヲ持ツテ居ル問題デアルニ拘ラズ、世間ガ之ヲ輕ク視ル傾ガナリハセヌカト思フデアリマス、其ノ點ハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス

現ニ第五十三議會ニ於キマシテ、産業立國ト云フコトハドウ云フコトデアアルカト云フ衆議院ニ於ケル或ル議員カラノ質問ニ對シ、總理大臣ガ其一例トシテ、例ヘバ肥料ノ廉價ノ分配ノ如キハ即チソレデアルト云フコトヲ申サレタ、此言葉ヲ捉ヘテ世間ハ殆ド嘲笑ヲ以テ之ヲ迎ヘテ居ルデアリマスケレドモ、私カラ之ヲ見マスレバ、産業ノコトニ付テ専門家デモナイ總理ガ、故意カ偶然カ知リマセヌガ、申サレタ其一言ト云フモノハ、正ニ我國ノ産業ノ琴線ニ觸レテ居ルト思フデアリマス、決シテ嘲笑ヲ以テ之ヲ迎ヘルベキ所デハナイデアアル、國民ハ深ク之ヲ考察シテ見ナケレバナラヌ程ノ問題デアルト考ヘテ居ルデアリマス、年々歳々六、七十萬人ヅツ増加シテ行ク人口ヲ、之ヲドウシテ自國ノ力ヲ以テ養ツテ行クカト云フコトハ、今我が國策ヲ立ツル上ニ於テ極メテ重大ナ問題トナツテ居ル次第デアリマスガ、固ヨリ増殖シテ行ク所ノ人口ヲ養ツテ行ク物資ト云フモノハ、水産モアレバ畜産モアリ林業ノ産物モアリマスケレドモ、其中ニ就テ最大ナル影響ヲ持ツモノガ、即チ此農産物デアルト云フコトハ固ヨリノコトデアリマスガ、此農産物ヲ増産シテ國民ヲ養ツ

テ行クト云フ方法ト致シマシテハ、固ヨリ耕地整理トカ或ハ新タナル開墾トカ云フコトニ依ツテ、面積ノ擴大ヲ圖ルト云フコトモ一ツノ方法デアリマスガ、ケレドモ元來我國ノヤウナ國土ノ狹小ナ所ニ於キマシテ、是レ以上著シキ面積ノ擴大ヲ圖ルト云フコトハ實ハ至難ノ仕事デアアルデアリマスカラシテ、現在ノ此國土カラシテ收穫シテ居ル所ノモノヲ、同一面積ヨリ更ニ多量ノ收穫ヲスル、即チ單位面積カラノ收穫ヲ増加スルト云フコトガ、是ガ最も有力ナ方法デアツテ、之ニ向ツテ全力ヲ注ガナケレバナラヌノデナイカト私共ハ考ヘテ居ルデアリマス、サウ致シマス、ドウ云フ方法ヲ以テ單位面積ノ收穫ヲ増加スルカト言ヘバ、所謂集約的ノ農業法ヲ採ルヨリ外ハナイ、此集約的ノ農法ニ依ツテ、一反歩ナリ一町歩ナリノ收穫ヲ、今日以上ニ増加シテ行クト云フコトハ、私ハ我國ノ國民ノ將來ノ運命ハ實ニ繫ツテ茲ニ在リト思ツテ居ルデアリマス、特ニ又昨今問題トナツテ居ル農村振興ト云フヤウナ事柄ナドハ、是モ要スルニ農家ノ收入ヲ増加スルト云フコトニ依ツテノミ、解決ガ告ゲラレルモノデナイカ、サウスレバ矢張此收穫増加ト云フコトガ、農村振興ト云フ意味ノ上カラシテモ、最も大事ナ問題ト考ヘナケレバナラヌノデアリマスマイカ、尙又昨今非常ニ喧シイ小作問題ノ如キ、是モ收穫ガ増加シテ小作ノ取前モ、自作ノ取前モ、共ニ相竝ンデ増加シテ行クト云フコトデアツタナラバ、此問題ハ自ラ解決セラルベキ問題デハナカラウカ、要スルニ今日ハ比較的ニ少イ收穫ヲ、地主ト小作ト引ツ張合ヒヲスルカラシテ、此小作ト地主ノ問題ト云フモノハ、益々峻烈ニナツテ來ラザルヲ得ナイデアアル、斯ウ云フ風ニ考察シテ見マスト云フト人口食糧問題ヲ解決スル上ニ付テモ、農村振興ノ上カラ見マシテモ、又小作爭議解決ト云フ風ナ點カ



ラ見マシテモ、單位面積ノ收穫ヲ増加スルト云フコトガ、結局ノ解決點デアリマスマイカ、所ガ此單位面積カラノ收穫ヲ増加スル、ソレハ即チ集約的ノ農法ニ依ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、元來日本ハ御承知ノ通りニ、勞力ハ極メテ集約主義デアル、ソレハ他國ニ例ヲ見ザル程、勞力ニ集約的ノ農法ヲ施シテ居ルニ拘ラズ、資本ノ點ニ於テハ極メテマダ粗放農業ノ域ヲ脱シ得ナイヤウニ思フノデアリマス、農作物ノ生産費ノ大部分ト言ヘバ、土地ヲ除イテハ勞力ト肥料ト此二ツノモノデアリマスガ、勞力ノ方ハ餘程集約的ニ使ハレテ居リマスケレドモ、マダ肥料ト云フモノニ付キマシテハ餘程餘地ヲ持ツテ居ルヤウニ思ヒマスノデ、今ノ方法トシテハ勞力ニ付イテハ之ヲ更ニ一層集約的ニスルト云フコトハ此以上ニ殆ド望マレ得ナイ、又必要デナイト思ハレマスケレドモ、資本ノ點ノ集約殊ニ肥料ヲ多量ニ有效ニ使用サセルト云フコトガ、是ガ是カラノ單位面積ヨリ收穫ヲ増加スル殆ド唯一ノ方法デナイカト思ハレルノデアリマスガ、之ヲ多量ニ使用サセルト云フコトハ、一反歩ナリ一町歩ナリト云フ單位面積ノ上ニ就テ多量ニ使用サセルト云フコトト同時ニ、又全國ニ亘ツテ十分ニ肥料ヲ施サナイ、肥料ノ施シ方ガ少イト云フ農村ト云フモノガ、何十萬、何百萬アルカ分ラヌ程ニアルト思ヒマスカラ、全國的ニ亘ツテ矢張肥料ヲ多量ニ使ハセルト云フコトヲ、是カラ圖ラナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、所ガ之ヲ多量ニ使用サセルト云フコトニ付キマシテハ、其肥料ヲ廉價ニ、安ク供給シテヤラナケレバナラヌ、サウシテ同時ニ效力アル肥料ヲ使ハセナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ニ注意ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、今マデ肥料ノ狀況ヲ承リマス、厩肥或ハ人糞或ハ堆肥等ノ、所謂自給肥料トデモ申シマス

カ、是ガ從來我國ノ肥料ノ根本ヲ成シテ居ルモノデアリマスケレドモ、之ニ付テモ尙ホ多大ノ改良進歩ヲ爲スベキ餘地ガアルト言フコトヲ聞イテ居リマス、是ヨリ進ンデ斯様ナ農家デ自ラ作ル肥料以外ノ所謂販賣肥料トデモ申シマスカ此肥料ニ至リマシテハ、今日之ヲ金額ニ致シマシテ三億圓程ノモノヲ使用シテ居ルノデアル、デアリマスケレドモ是デ十分行届ク程ニナツテ居ルカト言ヘバ、中々ソソナドコロデナイノデアル是レ以上大ニ之ヲ使用サセナケレバナラヌ状態ニ在ルヤニ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ三億圓程ノ現在使ツテ居ルモノスラモ、其半バハ之ヲ外國ヨリノ輸入ニ仰イデ居ルト云フ状態デアルサウデアリマスガ、是カラシテ此方面ノ肥料ノ製造ヲ益々増加スルニ付キマシテハ、國內ニ於テ此肥料ノ生産ヲ増加シテ、成ベク國內ニ於テ之ヲ供給スルト云フコトデナケレバナラヌノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ考察シテ見マス、肥料問題ニ付テハ多々研究モシナケレバナラナイ、獎勵モシナケレバナラナイ、國家トシテ施設モシナケレバナラナイコトデアリマスガ、而モ其解決ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、聽テ我國ノ小作問題、我國ノ農村振興問題、我國ノ人口問題ニ結局大影響ヲ持ツト云フコトデアリマスレバ、此肥料問題ト云フモノニハ特ニ重キヲ措イテ國策ノ一ツトシテ研究シナケレバナラヌ程ノ價值ヲ持ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレ故ニ議會ニ於キマシテモ屢々御案内ノ通り、此肥料問題ニ付キマシテハ建議、請願等モ現ハレテ居リマス又其中ニハ肥料ヲ國營トシナケレバナラナイト云フヤウナ議論モアリマスシ、又人口食糧問題ヲ研究スル其主ナ要點トシテハ、肥料問題ヲ調査シナケレバナラナイト云フヤウナ建議等モアツタヤウニ記憶致シテ居リマス、斯様ナ次第デ、此肥料問題其物ハ極メテ重要ナ問題ト

シテ、扱ハナケレバナラナイト云フコトガ、一ツノ要求デアルヤウニ思ハレマスノデ、茲ニ此仕事ニ經驗アリ又學識アル所ノ各位ヲ煩シテ、調査委員會ヲ開イタ次第デゴザイマス、ドウゾ此問題ハ派出々シイ問題デアリマセヌガ、併ナガラ極テ眞面目ナ、極メテ重大ナ問題デアリマスガ故ニ、篤ト各位ノ蘊蓄ヲ傾ケラレテ御審議アランコトヲ切望スル次第デアリマス、一言御挨拶ヲ申上ゲマス……ソレデハ是ヨリ議事ニ移リマスガ、議事規則ノ原案ト云フモノガ御手許ニ廻ツテ居リマス管デスカラ、之ヲ議題ト致シマス。

(間部幹事朗讀)

肥料調査委員會議事規則案

- 第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定メ各委員ニ通知ス
- 第二條 會長ハ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理ス
- 第三條 會議ハ委員及臨事委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス但シ豫メ特ニ議決シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 議事ハ出席セル委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 採決ハ舉手ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得
- 第五條 委員又ハ臨時委員提案ヲ爲サムトスルトキハ案ヲ具シ之ヲ會長ニ提出スヘシ但シ事ノ簡單ナルモノハ口頭ニテ陳述スルコトヲ得

第六條 議事録ハ幹事之ヲ作成スヘシ

第七條 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ特別委員ヲ設クルコトヲ得

本則ノ規定ハ特別委員會ニ之ヲ準用ス

第八條 幹事又ハ關係官吏ハ會長ノ承認ヲ受ケテ會議ニ出席シ説明ヲ爲シ又ハ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第九條 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ委員ニ非サル者ノ出席ヲ求メ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十條 本則ニ明文ナキ事項ハ會長之ヲ決ス

○山本會長 此議事規則ニ付テハ、別段御異議ガナケレバ原案ノ通り決定致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○山本會長 ソレデハ左様ニ決定致シマス……次ハ議事進行其他ニ付テノ申合セノ案、是モ御手許ニ廻ツテ居リマス

議事其ノ他ニ就テノ申合案

- 一、委員會ノ議事ハ能フ限り形式ニ拘泥セス懇談的ニ十分意見ヲ開陳セラルル様致タキコト
- 二、會議ノ内容ハ之ヲ公表セラレザル様致度キコト但差支ナキ限り幹事ヲシテ新聞ニ大要ヲ報セ

三、特ニ秘印ヲ附セル参考書類ハ内容ヲ公表セラレザル様注意セラレタキコト、又「未定稿」ト記セル参考書類ニ付テモ同様注意セラレタキコト且訂正スベキ點等ニ付氣付カレタルトキハ幹事迄注意セラレタキコト

四、特ニ書面ヲ以テ意見ヲ開陳セラルル必要アルトキハ會長迄提出セラレタキコト此ノ場合ニハ印刷ノ上各委員ニ配付致ベキコト

五、特別委員ヲ設ケラルル場合ニハ其ノ委員會開催ニ際シ右特別委員以外ノ委員諸君モ在京セララル方ハ便宜出席セラレテ議事ヲ聴取シ又意見ヲ陳ベラルル様致度特別委員會モ必ズ全委員ニ通知スルコト

○松村局長 御手許ニ差出シテ置キマシタ議事規則其他ニ付テ申上ゲマス、茲ニ書イテアル通りデゴザイマスガ、一應説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ委員會ノ議事ヲ、出來ルダケ懇談的ニ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、是ハ委員ノ皆様カラ質疑等モゴザイマセウト存ジマスノデ、各所ノ方面カラ御答へ申上ゲルコトハ十分努メルノデアリマスケレドモ、色々専門ノ御方モオ居デデゴザイマスカラ懇談的ニ御願ヒ致シタイト云フ趣旨ハ委員ノ御方ノ方カラモ亦ソレニ對シテ御答ヲ願フコトが出来ラウト思ヒマス、サウ云フ意味デ懇談的ニ御願ヒ致シタイト云フデアリマス、第二ハ會議ハ只今申シマシタ如ク、懇談的ニ御願ヒスルコトニナリマスレバ、直グ其儘外部ニ發表サレルト云フコトモ如何ト存ジマスノデ、成ベク必要ノナイトキハ公表シナコトニ致シマシテ、新

聞記者諸君カラドウ云フコトガアツタカト云フコトヲ折々聞カレマスカラ、サウ云フコトハ幹事ノ方カラ然ルベク新聞記者諸君ニハ、申シテ置イタ方ガ宜クハナイカト云フデアリマス、今日御手許ニ印刷物ヲ差上ゲテ置キマシタガ、是ハ手許ニゴザイマスモノヲ差上ゲマシタノデ、マダ印刷ノ間ニ合ヒマセヌ所ハ、後デ又作りマシテ差上ゲタイト存ジマス、材料ニ付テハ粗漏ノ點モゴザイマセウト思フマスカラ、其點ハ御注意ヲ願ヒマス、尙ホ今後此方カラ差上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスモノハ、御手許ニ廻シタイト思ヒマス、御望ミニ依リマシテハ、資料ヲ作りマシテ、差上ゲタイトヤウナモノモゴザイマス、今日差上ゲタ物ニハ秘密ノモノモゴザイマセヌガ、今後差上ゲマスモノニハ、ソレハ内部ダケテ取計ラツテ置キタイト云フモノガゴザイマスカラ、ソレニハ「秘」ト云フ字ヲ附ケテ置キマス、尙又意見ノ纏ツテ居リマセヌ所ハ、未定稿ノ儘デ差上ゲルコトモゴザイマスカラ、ソレモ内々ニ御願ヒ致シタイト云フコトヲ第三ニ掲ゲテ置キマシタ、又色々委員ノ御方ノ中デ、御専門ノ方面ニ於テ貴重ナル材料ヲ御持チノコトト存ジマスノデ、若シサウ云フモノヲ御割愛願ツテ、皆様ニ配付が出来レバ、非常ニ仕合セニ存ジマスノデ、其點モ御願ヒシテ置ク次第デアリマス、第四ニ書面デ御意見ヲ御述ベニナリマス必要ノアリマストキハ、會長マデ御出シヲ願ヒマシテ、臨機サウ云フ場合ニハ印刷シテ、皆様ニ配付シタイト思ヒマス、ソレカラ諮問事項等ニ付キマシテ、特別委員ガ設ケラレル場合ガアルカト存ジマスノデ、其場合ニハ特別委員以外ノ御方モ在京ノ諸君ニハ便宜御出席ヲ願ヒマシテ、議事ヲ進メテ戴ク、又御意見モ述ベテ戴クヤウニ致シタイト思ヒマス、是モ一番初メニ申シマシタ懇談的ニ致シタイト云フ趣旨ノ一ツデアリマス、特別委員會

ハ、必ズ全體ノ委員ニ御通知申上ゲルト云フ積リデアリマス尙ホ御斷リ申上ゲテ置キマスノハ、今日席順ヲ決メマスノニ、便宜商工省ノ御方、農林省ノ御方ヲ、會長ノ傍ニ席ヲ決メテ、其他ノ方ハ抽籤ヲ決メマシタカラ、是ハ御諒解ヲ願ヒマス

○山本會長 何か申合事項ニ付テ、御氣付ノ點ガゴザイマシタラ、之ニ附加ヘテモ宜イノデアリマスカラ、ドウカ御意見ヲ御述ベテ願ヒタイ

○吉植委員 第二ノ會議ノ内容ハ公表セラレザルヤウニ致シタイト云フコト是ハドウデアリマセウ、一體肥料ノ問題ナドデ、秘密ニシテ置カナケレバナラヌト云フモノハアリ得ナイ、成ベク議事ノ内容ナドデモ、矢張新聞ヲ通ジテ國民ニ知ラシテ、公ケニシテ置ク方ガ宜イト存ジマス、此間商工審議會ノ方デモ、斯ウ云フコトガゴザイマシタ、特ニ秘密ヲ要スル事件ガ起ツタ場合ニノミ秘密ニスル原則トシテハ秘密ニシタイト云フコトニシテ置ク方ガ宜クハナイカト思ヒマス

○山本會長 會長モ其點ハ全然同意デス、大體ノ原則ハ公表シテ差支ナイトシテ置イテ、特ニ公表ヲ憚カル問題ガアツタトキニハ、ソレダケヲ秘密ニスルト云フ風ニシタ方ガ、正當デハアリマスマイカ

○矢作委員 私ハソレニハ異議ガアリマス、公表セラレマスト云フコトニナルト、技術ノ方ノ御方、殊ニ製造業ヲヤツテ居ラレル御方ハ、場合ニ依リマス十分ニ其内容マデ御話シ惡クイト云フヤウナコトモアルカモ知レヌト思ヒマス、ソレカラ場合ニ依リマシテ是ハ國防ニモ關係ガアリマスカラ、私ハ矢張申合案ノ通りニシテ置キタイト思ヒマス

○吉植委員 ソレハ議論ヲスレバ幾ラデモ出來マスガ、モウ少シ明ケ放シニシテ、明ルイ空氣デヤラウデハナイカ、サウ窮屈ニシナイデ、原則ダケハ明ケ放スノモ宜カラウト思ヒマス

○矢作委員 私ノ事情ヲ申上ゲマスガ、新聞記者ガ委員ニ質問ニ來テ仕様ガナイ、デ發表ハ總テ幹事カラト云フコトニシマス、大變樂デアリマス、サウ云フ個人ノ事情モ御斟酌ヲ願ヒマス、申合案ハ非常ニ良ク出來テ居ルト思ヒマスカラ、其通りノ方ガ安全デ、私共委員ガ矢張保護セラレルト云フコトニナラウト思ヒマス

○山本會長 今ノ幹事ヲ通ジテ内容ヲ發表スルト云フコトハ、是ハ勿論サウ云フコトニシタ方ガ宜イト思ヒマスガ……

○矢作委員 勿論勇氣ノアルオ役人が發表セラレルノハ御隨意デアル、自由デアリマスケレドモ、私共委員ハ、矢張原則トシテ會長ガ秘密ト仰シヤラナイコトハ公表シテモ宜イト會議ヲ決メテ戴キマスト、新聞記者ニ責メラレテ非常ニ困ル

○山本會長 御兩君ノ間デ妥協シテ戴キタイ

○大河内委員 秘密ニハシナイガ、發表ハ總テ幹事ヨリ、斯ウ云フコトニシタラドウデス

○砂田委員 會議ノ内容ハ秘密ニ亘ラザル限り、幹事ラシテ新聞ニ報ゼシムルコト、斯ウシタラドウデス

○山本會長 矢作サンソレデ宜イデセウ

○矢作委員 結構デス

○山本會長 ソレデハモウ一度修正案ヲ讀ンデ戴キタイ

○松村委員 「會議ノ内容ハ差支ナキ限リ幹事ヲシテ大要ヲ報セシムルコト」

○山本會長 ソレデハ左様ニ決定致シマス……外ニ別ニ御異議アリマセヌカ……御異議ナイヤウデアリマスカラ、ソレデハ申合案ハ原案通り決定致シマス……ソレカラ次ハ諮問案ニ移リマス

(問部幹事朗讀)

### 諮問事項

#### 一 肥料ニ關シテ採ルヘキ重要方策如何

說明

輓近我國農業ノ發達ニ伴ヒ肥料ノ需要ハ逐年著シキ増加ノ趨勢ヲ示セリ而シテ將來國民食糧ノ充實並農家經濟ノ作興ヲ期スル上ニ於テ各種農產物ノ増殖ヲ圖ルノ要益々緊切ノ度ヲ加フベク隨テ其ノ生産ノ必須資源タル肥料ノ需要増進ヲ來スベキハ明ナリ繾テ肥料供給ノ狀況ヲ見ルニ販賣肥料ノ如キ其ノ國內ニ於ケル生産ハ需要ノ半ヲモ充スニ足ラズ年々輸入ニ俟ツモノ巨額ニ達シ其ノ勢底止スル所ナカラントス更ニ肥料ニ關スル他ノ諸般ノ事項ニ付其ノ實狀ニ徴スルニ時勢ノ推移其ノ他ノ事情ニ鑑ミ缺陷ト認ムベキモノ鮮シトセズ爰ヲ以テ肥料ノ供給ヲ確保シテ農業生産ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルト共ニ之ガ價格ノ低下、配給ノ圓滑、品質ノ保全並施用方法

ノ改善ヲ圖リ以テ農業經濟ノ發達ニ資スルハ刻下喫緊ノ急務ニシテ肥料政策確立ノ一日モ忽諸ニ附スベカラザル所以ナリ仍テ廣ク肥料ニ關シ國家ノ採ルベキ重要方策ニ付慎重審議ノ上答申アランコトヲ望ム

○山本會長 此諮問事項ハ極メテ廣汎ナ範圍ニ亘ツテ居リマスカ、委員各位ニ於カレテモ、種々御意見ガゴザイマセウカラシテ、大體ニ就テ御意見ノアル所ヲ御述ベテ願ツテ、是ハ其ノ上デ特別委員ト云フ風ナモノヲ御設ケ下サルコトニシテ、其ノ小委員デ調査ヲシテ更ニ之ヲ委員會ニ付議スルト云フヤウナ順序ニシテ戴ク方ガ、宜イジヤナイカト思ツテ居リマス、兎ニ角之ヲ小委員ニ移シ以前ニ各種各般ノ方面ニ向ツテ、御意見ノアル所ヲ一應御協議ヲ願フ方ガ宜イジヤナイカ知ラヌト、斯様ニ思ヒマシタノデ非常ニ廣イボンヤリシタ諮問デハアリマスケレドモ、之ヲ掲ゲタ次第デアリマス

○鈴木委員 肥料調査會ノ設立セラレタ目的ハ、無論農產物ヲ増加サセヤウ、斯ウ云フ御考デアラウト思ヒマスカ、第一ニ御伺ヒシタイノハ例ヘバ米ナラ米ダケニ限ツテ伺ツテモ宜シウゴザイマスカ、米ノ増加ヲ圖ルト云フトキニ、現在ノ耕地擴張トカ云フコトヲ別問題ニシテ、現在アル土地カラ、マダ肥料ノ改良ニ依ツテ、ドノ位米ヲ増シ得ルカ、此極點現在ノ肥料ノ知識ヲ應用シテ「ベスト」ヲ盡シテナラバ、此收穫ヲドノ位増シ得ルカト云フコトヲ、大體調査會ナリ、或ハ農林省ナリニ於キマシテ調査ヲ發表シマシテ、肥料ヲモウ少シ立派ニ、モウ少シ安クスレバ此位ノ收穫ヲ増シ得ルモノダト云フコトノ大體ノ所ヲ、世間ニ知ラセルコトガ必要デハアルマイカト思フノデアリマス、ソレデ若シサウ云フ點ニ付テ農事試驗場ナリ、農林省ナリニ於テ御調査ニナツタモノガアレ

バ、承リタイト思ヒマス、若シナケレバ大體調ベテ戴キタイト思ヒマス、先達行キマシタノデスガ、例ヘバ朝鮮ニ於キマシテハ、一段歩ニ對シテ豆粕一枚ヲ使フコトニ依ツテ、凡ソ平均シマシテ豆粕一圓二、三十錢ノモノヲ使ヒマシテ、丁度外ノ水ヲ掛ケルト云フコトモ多少スルノデアリマセウガ、サウスレバ一斗七升五合ヅツ收穫ガ増ス、サウスルト現在ノ百五十萬町歩ノ土地カラシテ、約四千萬石ノ米ガ今ヨリ殖エル、豆粕一枚ダケヲ與ヘルコトニ依ツテ、ソレダケ殖エルト云フコトヲ、各地ノ試験場ニ於キマシテ、施設ヲシタ結果ガ發表シテアリマス、是ハ極ク大體ノコトデアラウト思ヒマスガ、内地ニ於キマシテハ、豆粕ヲ一枚殖ヤシタ爲ニ、一斗七升五合ハ殖エルトハ思ヒマセヌガ、ドノ位殖エル見込ガアリマスカ、是ハ肥料問題トシテ將來ノ見當ヲ付ケル上ニ必要デハナイカト思ヒマス、ソレヲ御伺ヒ致シマス

○山本會長 何カ農林省ニアリマスカ

○間部幹事 肥料ヲ十分ニヤルニハ、遣リ方ヲ改良スルコトニ依ツテ、將來一段當リノ米ノ增收ガドノ位見込マレルカト云フコトハ、是ハ中々簡單ニ申上ラレナイノデアリマス、將來米ノ單位面積ノ增收ハ、肥料ニモ依ラナケレバナリマセヌガ、或ハ一般栽培法ノ改良ト云フヤウナ、全部ヲ綜合シテ其ノ成績ヲ現ハスノデアリマスカラシテ、肥料ダケデ、ドレダケト云フコトハ、實ハ申シ惡クイノデアリマス、併シ斯ウ云フヤウナ調査モゴザイマス、是ハ御參考ノ爲ニ申上ゲルノデアリマスガ、全國十四箇所ノ肥料ノ少ナイ所デ、段々多ク施シマシタ所ガ、增收ノ割合ガドウ云フ風ニナツタカト申シマス、十四箇所ガ無肥料デアツタ場合ニ、二石八升デアツタモノガ、是ハ窒素ダケニ付テ

申シテ居リマスガ、窒素五百匁、一貫五百匁ト云フ風ニ、假ニ一貫目ヅツ増シマシタトキニ、二石三斗五升五合、二石六斗二升八合、二石七斗三升一合ト合フヤウナ、實際ノ是ハ試験ノ成績デアリマス、併ナガラ此割合デ全國平均ニ往クト云フコトハ申シ惡クイカト思ヒマス、譬ヘテ申シマス、今申上ゲマシタヤウナ成績ヲ舉ゲマシタノハ、或ル特定ノ品種ニ付テ、又決マツタ栽培法ヲ以テ其成績ヲ舉ゲタノデアリマシテ、若シ肥料ニ對シテ收穫ヲ舉ゲル率ノ多イ品種ヲ用ヒ、或ハ栽培法ニ多少改良ヲ加ヘルコトニナルト、是レ以上ニナルカモ知レヌト云フコトガ言ヘマス、ソレハ的確ニドウト云フコトハ申上ゲ惡クイカト思ヒマスガ、御參考ノ爲ニ、モウ一ツ申上ゲテ置キタイノハ、現在ノ我國ニ於キマスル米ノ一段步當リノ收穫高ハ、大雜駁ニ申シマシテ、是ハ北海道ガ脱ケテ居リマスガ、一石九斗六升、先ヅ二石ニナツテ居リマス、色々面倒ナ計算ヲ致シマシテ、從來増シテ來テ居ル傾向カラ、將來相當力ヲ注イデ行クナラバ、從來ノ傾向ヲズツト延バシテ行クモノトシテ、ドウ云フ風ニナリマスカ、併シ是ハ相當ノ力ヲ注グモノト云フ假定ノ下デアリマスガ、先ヅ三十年ノ後ニハ、全國ノ平均ヲ二石三斗以上ニスルコトガ出來ヤシナイカト云フ風ナ、計算ヲ立テテ居リマス、是ハ唯從來ノ傾向カラ計算ヲシテ見タモノニ過ギマセヌ或ハ品種ノ改良ナリ、或ハ肥料ノ遣リ方ノ改良ナリ、今私共ノ攻究シテ居リマス以上ニ進歩シテ來マス、是レ以上ニナルダラウト思ヒマス

○山本會長 今鈴木サンガ朝鮮ノ例ヲ引カレタヤウナ具合ニ、全國ニ亘ツテ例ヘバ肥料ヲドレダケ一段歩ニ付テ餘計施セバ、全國ノ面積ノ上デドレダケ増スカ、ソレハ無論栽培法或ハ品種ノ關係ガア

ツテ、其通りニハ實際ノ所デハ行キマスマイガ、同一ノ品種、又同一ノ栽培法ト看做シテ置イテ、肥料ト云フモノノ效能ヲ「エキストラ」シテ、一段歩當リ幾ラノ增收ト云フコトヲ假定シテ之ヲ全國ニシタナラバ、ドレダケノ米ノ收穫ガアルカト云フコトハ、是ハホンノ假定的デスガ、サウ云フヤウナ算盤ハ取レマセヌカ

○間部幹事 ソレハ假定ダケニ依ツテハ取レナイコトハアリマセヌ

○吉植委員 過去五年ナリ十年デモ宜シイノデアリマセヌガ、肥料ノ増加シテ來タ率ト、今貴方ノ調べル増産、主ニ米ナラ米トスレバ、其増産シテ來タ率、過去三十年ナリニ一割五分、三斗増スト云フ御話ヲサレタガ、其傾向ト云フモノハ單純ニ増産ヲシタト云フ以外ニ、肥料ガ段々増加シテ來タ、肥料ノ増加シテ來タ率ト、其率ノ割合ハドウ云フコトニナリマセヌカ、ソレヲ一寸比較シテ見タナラバ、殆ド肥料ト云フモノノ能率ガ、ドレダケニナルカト云フコトガ御分リニナルダラウト思ヒマス

○安藤委員 今ノ問題デ私ハ一寸申上ゲタイト思ヒマス、肥料ガドノ位ノ效能ガアルカト云フコトハ、是ハ前カラ統計ニ依ツテ計算ヲシテ見タノデアリマシテ、實際ニ一部分ノモノデハアリマセヌケレドモ、單ニ計算ノ結果ニ過ギナイノデアリマセヌ、ソレデ私ノ計算シマシタノハ米ダケデアリマセヌガ、米作ガドレダケ進歩シタカ、總體ノ産額ヲ申シマセヌ、平均一段歩當リノ收入ニ付テ、明治十六年カラ最近迄ノ計算ヲ取リマシタ、ソレニ繼イデ技術ノ非常ノ進歩ト云フコトヲ調査シマシタ中デ、肥料ガドレダケ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マシタ、計算ノ仕方ハ明治十六

年カラ肥料ノ使用量ガ殖エテ來テ居ル、技術モ進歩シテ來タ、肥料取締法ガ明治三十六年ニ出マシテ以來、精確ノモノガ出來テ、其以前ノコトハ分ラヌガ、先ヅ三十八年頃迄ノ一段歩ノ米ノ增收ノ趨勢ヲ計算シマシタ、三十八年以後ニ於キマシテハ、販賣肥料モ段々數量ガ殖エテ來タノガ明カニナツテ居リマス、三十八年前ノ趨勢デ、假ニ肥料ガ殖エナイモノトスレバ、ドノ位ニ收穫ガ殖エテ來ルカト云フコトヲ計算シマシテ、今度ハ肥料増加ニ付テドノ位ノ肥料ヲヤルニ從ツテ、増加ガアルカト云フコトヲ計算シマシタ、此計算方法ニ付テハ或ハ自分勝手ノ計算方法デアリマセヌカ、之ニ付テ御意見ガアルカモ知レマセヌガ、扱自分ノ計算シマシタ所デハ、明治三十八年ヲ土臺ニシマシテ、十四年迄ノ統計ニ依リマセヌ、三十九年カラ平年作ニシマシテ、豊凶ガアリマセヌカ、其年ニ直グ取レマセヌデ、其年ヲ中心トシテ前後三年、即チ七年間ノ收穫ヲ平均シテ計算シタノデアリマス、明治三十九年カラ最近迄ノ平均デハ、是ハ販賣肥料ダケニ付テ計算シタノデアリマス、普通ノ自給肥料ハ變ラヌモノトシテ、販賣肥料ノ約六割ト云フモノハ、稻作ニ使ハレルト云フ假定ノ下ニ計算シタノデアリマス、ソレニ依リマセヌ、三十九年カラ大正十一年迄ノ平均ニ於キマセヌト云フト、一圓ノ肥料ヲ使ツテ平均米ノ收入ガ二圓ノ增收ハ得テ居ル、一圓ノ肥料ヲ使ツテ倍ノ收穫ヲ得テ居ルト云フ計算ヲ得タノデアリマス、是ハ無論增收シタ米ノ分量ヲ計算シタ、ソレニ依ツテ其當時ノ價格ヲ掛ケタノデス、ソレニ依リマシテ推算ヲシテ見マセヌ、三十九年カラ大正十一年迄ノ間ニ於キマシテ三十八年ト較ベマシテ約千萬圓ノ肥料ヲ餘計稻作ニ使ツテ居リマス、ソレデ百四十二萬石ノ增收ノ計算ガ出テ居ル、平年ノ收穫ニ於キマシテハ、三十八年ニ較ベマシテ、一億圓ノ肥料

ヲ使ツテ五百四十萬石ノ增收ヲ得テ居ル、斯ウ云フ計算デ値段カラ申シマス、ソレガ一億八千萬圓ノ增收ヲ得テ居ルト云フ自分ノ計算デアリマス、是ハ以前カラノ農林省ノ統計ニ依リマシテ、全國平均收入ヲ計算シタノデアリマス

○矢作委員 一寸伺ヒマス、先程三十年経ツト、今迄ノ通りデ行クト收穫ガ殖ヘルト仰シヤイマシタノハ、矢張土地改良デアルトカ、品種ノ改良ナドヲ皆ナ加ヘテノ御計算デスカ

○間部幹事 サウデアリマス

○山本會長 大體ニ於テ肥料ヲ使ヘバ使ツタダケノ效能ガアルノデセウネ、ソレダケハ確カドラウト思ヒマス

○大河内委員 此調査會デハ土地改良デアルトカ、品種改良モ附隨シテ居ルモノトシテ、矢張御調査ニナルノデアリマスカ、或ハ別問題ニナリマス

○山本會長 ソレハ別問題ニナリマセウ、ソコ迄ハ手ガ届キマセヌカラ、矢張肥料ダケデセウネ

○矢作委員 私ハ専門家カラ御話ヲ御願ヒシタイト思ヒマスガ、段々大豆粕ヨリモ硫酸「アンモニヤ」ノ使用ノ割合ノ方が、近年殖エテ居ルヤウデスカ、ソレカラ盛岡デ聞キマシタノデハ、硫酸「アンモニヤ」ヲ今度ハ水出ノ水肥ニ使フト云フコトニシマシテ、成功シタト言ツテ居リマスガ、大豆粕ト硫酸「アンモニヤ」ヲ較ベマス、値段ニ付テハ十ト六ノ割合ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ドノ位ノ所迄硫酸「アンモニヤ」デ以テ、大豆粕ヲ補ヘルコトガ出来マスカ、大體ノ御見込ガアルナラバ、ソレヲ伺ヒタイ

○間部幹事 只今ノ問題ハ或ハ麻生委員安藤委員カラ御聞キヲ願ツタ方が、寧ロ的確カト存ジマス、近來硫酸「アンモニヤ」ノ使用ガ段々殖エテ來マシタ、併ナガラ大豆粕ノ消費ハ絶對ニ減リマセヌ、減リマセヌガ兎ニ角硫酸「アンモニヤ」ノ消費ノ割合ノ方が、大豆粕ヨリモ殖エテ來テ居リマス、見方ニ依リマス、大豆粕ノ代用ニサレツツアルト云フコトガ分リマス、大豆粕ノ絶對量モ減ツテ來ルヤウニナツテ來ルモノドラウト考ヘテ居リマス、ソレハ全ク今日ハ値段ノ關係デアリマシテ、先刻御話ノアリマシタヤウニ、大豆粕ト云フモノト、硫酸「アンモニヤ」ト云フモノノ中ニアル、窒素ノ値段ノ比較ヲ致シテ見マス、大豆粕ノ方が割高ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ段々割安ノモノヲ使フト云フヤウニナツテ、ソレガ即チ農業ノ改良ト云フコトニナルノデアリマスガ、段々其傾向ガ多クナツテ參リマス、併ナガラドノ位ノ程度迄、大豆粕ニ代用サレテ行クドラウカト云フコトハ、是ハ豫測ガ付キマセヌ、結局ハ値段ノ比較ノ問題デアリマシテ、硫酸「アンモニヤ」ト云フモノト釣合ノ取レルモノ、値段ニ於テモ大豆粕ノ價格ガ下ルモノト致シマス云フト、矢張大豆粕ノ需要モ相當アルドラウト思ヒマス、殊ニ大豆粕ハ昔カラ使ヒツケル居ルモノデアアルガ故ニ、特ニ値打ヲ付ケテ宜イ性質モアルノデス、値段ノ「バランス」ガ取レルコトニナルト、相當大豆粕モ宜イモノト思ヒマス、將來假ニ硫酸「アンモニヤ」ノ値段ガ段々下ツテ來ルモノト致シマス、從ツテ大豆粕モ下ル、斯ウ云フ値段ヲ以テシテ、滿洲ニ於テ大豆粕ガ生産サレテ來ルヤ否ヤト云フ問題モ考ヘテ見ナケレバナラス、或ハ大豆ノ生産ガ、ソレデハ引合ハナクナツテ來ルト、大豆ノ用途ガ外ニ振向ケラレテ來ル、サウスルト肥料ニ向ハナクナルト云フコトモ考ヘラレル、即チドノ位迄ト云フ具



體的ノコトハ申上ゲラレマセヌガ、恐ラク可ナリ多クノ部分ハ、現在ノ大豆粕ノ消費ハ、硫酸「アンモニヤ」ニ變ハルベキモノデハナカラウカト思ツテ居リマス、是ハ餘談デアリマスガ、先刻盛岡デ硫酸「アンモニヤ」ヲ段々元肥云々ト云フ御話ガアリマシタガ、今日ハ硫酸「アンモニヤ」ノ使用法ガ段々進歩致シタト申セマセウガ、昔ハ硫酸「アンモニヤ」ト云フモノハ危険ダト言ツテ使ハナカツタガ、段々使用ニ慣レマシテ餘程百姓ガ土肥ト申シマスガ、苗ヲ移植シタ當時ニ於テハ早ク養分ヲ供給シナケレバナラス、ソレニハ早ク利ク肥料ガ必要ダト云フコトデ、硫酸「アンモニヤ」ヲ元肥ニ使フコトガアリマス、併ナガラ一段歩ニ必要トスル所ノ窒素肥料ヲ、始メカラ元肥ニ使フト云フコトハ、是ハ無論ナイコトデアラウト思ヒマス

○野口委員 私ハ肥料ヲ造ルコトカラ伺ヒタイノデアリマスガ、硫酸「アンモニヤ」ニ付キマシテハ、最近各所デ硫酸「アンモニヤ」ヲ餘計使フト、米ガ弱クナルト云フ非難ガアリマス、殊ニ朝鮮ノ總督府ノ如キハ硫酸「アンモニヤ」ヲ成タケ使ハヌヤウニ協定サセテヤツテ居ルヤウナ形モアル、所ガ私共「アンモニヤ」ヲ造リマシテ色々ナ肥料ニ使フノニ一番便利ナノハ硝酸「アンモニヤ」デアリマシテ歐羅巴デモ硝酸「アンモニヤ」ガ一番餘計使ハレテ居リマス、次ニ磷酸「アンモニヤ」ト云フモノハ安ク出來ル、硫酸「アンモニヤ」ノ方ガ、日本ノ今ノ事情カラ賣リ易イノデアリマス、賣リ易イヤウデスカラ硫酸「アンモニヤ」ヲ主トシテヤツテ居ル、併シ若シ硝酸「アンモニヤ」ガ宜イト云フコトデアレバ、ソレハ一番簡單デ、又磷酸「アンモニヤ」ノ方ガ宜イト云フコトデアレバソレモ出來マス、又モウ一步進ンデ尿素ト云フモノモ獨逸ノ方デヤツテ居リマスシ、私ノ方デモ造ツテ居リマスガ、經

濟的ニ商品トシテ出スト云フコトニハナツテ居リマセヌノデ、肥料窒素ノ價值ハドウ云フモノガ宜イノデアルカト云フヤウナ御調べガゴザイマシタナラバ、一ツ御示シヲ願ヒタイ

○間部幹事 無機質ノ窒素肥料トシテ、ドウ云フモノガ宜イノデアルカト云フ問題ニ付キマシテ、是ハ後デ麻生委員ニ私カラ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○麻生委員 硝酸「アンモニヤ」ノ御話ガアリマシタガ、硝酸「アンモニヤ」ハ歐羅巴デモ大變宜イサウデアリマスガ、日本デハ稻作ヲ主ニシテ居リマスカラ、硝酸鹽ガ使ヘナイ、硝酸ヲ使ヒマシテモ効カガナイ、ソレデ日本デハ硝酸「アンモニヤ」ハ水田ニハ不適當デアルト云フノデアリマス、硫酸「アンモニヤ」ハ矢張結構デアリマスガ硫酸「アンモニヤ」ハ適當ノ注意ヲシマセヌト、土地ガ荒レルヤウニナリマス、是ハ水田ヨリモ畑地ノ方ガヒドイ、デ、成ベク硫酸「アンモニヤ」、硝酸「アンモニヤ」デナク、其他ノ適當ノモノヲ見付ケテ戴キタイ、尿素ナドハ一番結構ダラウト思ヒマスケレドモ、是ハ製造スルニハ金モ餘計掛リマスカラ、値段ガ高クナル、安ク造ツテ戴ケバ結構ダト思ヒマス、是モ使用ニ付テハ特別注意ヲ要スルノデアリマスガ、併シ安ク出來サヘスレバ結構ト思ヒマス、ソレカラ磷酸「アンモニヤ」モ近頃輸入サレテ居リマスガ、磷酸「アンモニヤ」ハ宜カラウト思ヒマス、是モ亦實際肥料ノ上ニ於テハ、窒素ト磷酸ノ割合ト云フモノハ必要デアアル、肥料ヲ構ハズ澤山ヤレバ宜イトシテモ、餘計ヤツテハ收穫ガ減ツテシマイマスカラ、使用ト云フコトニ付テハ注意が必要デアアル、其點ニ於テハ硫酸「アンモニヤ」ノヤウナモノヲ造ツテ、段々ニ窒素ノ多イモノヲ配合シテ、色々ノモノヲ適當ニ用ヒタナラバ、宜イデヤナイカト考ヘテ居リマス、是ハ尙ホ研究ヲ要

スルコトト思ヒマス

○山本會長 空中窒素ト云フノハ硫酸「アムモニヤ」ダケシカ出來ナイノデアリマスカ

○麻生委員 只今ノ硝酸「アムモニヤ」、尿素デモ何デモ出來マス、「アムモニヤ」ダケヲ造リマシテ、ソレヲ原料ニシテ色々ノ形ノモノヲ造リマス

○山本會長 朝鮮ニ硫酸「アムモニヤ」ハイケナイト云フコトニナツタノハ

○間部幹事 私人ノ憶測デハゴザイマスガ、朝鮮ハ御承知ノ通り燃料ニ乏シイ所デ、苟モ燃ヤシ得ルモノハ燃料ニ使ハナケレバナラヌト云フヤウナ状態デアリマス、隨テ厩肥デアルトカ堆肥デアルトカ云フヤウナ肥料ヲヤル、サウシテ土壤ノ性質ヲ良クスル、一口ニ譬ヘテ申シマス、日本ノ土壤ハ大體ニ於テ軟カ味ヲ持ツテ居ル、朝鮮ノハ硬イト云フコトガ言ヘルト思ヒマスガ、ソコニ硫酸「アムモニヤ」等ノ如キ無機質ノ所謂化學肥料ヲヤルト云フコトニナリマス、一層土壤ヲ悪クスル、ソレハ硬クスルト云フヤウナ意味ニ於テモ、或ハ化學的ノ反應ト云フ意味モアリマセウガ、デ朝鮮ノ如キモ或ハ綠肥ノ如キモノヲ栽培ヲ致シマシテ其肥料ヲ土壤ニ施スト云フコトニナリマスレバ、必ズシモ硫酸「アムモニヤ」ノヤウナモノヲヤツテイカヌト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマス

○野口委員 朝鮮モ禁止シテ居ル譯デアリマセヌガ、成ベク硫酸「アムモニヤ」デナイ肥料ヲ使ツタ方ガ、宜イト云フコトニナツテ居リマス

○間部幹事 朝鮮ノ土地ノ問題ナリ、色々ノ事情等ヲ考ヘテ見ルト、サウ云フコトモ言ヘヤシナイカ

ト思ヒマス

○安藤委員 朝鮮デハ非常ニ直グ利クヤウデスガ、動々モスレバ使ヒ過ギル傾向ガアル、モウ一ツ朝鮮ノ肥料取締ノ實行サレマセヌ結果、殊ニ又經濟ガ小サイ結果、市場デ樹賣リヲヤツテ居ル、ソレニ形ガアノ通りデアリマスカラ、食鹽ヲ混ゼテ賣ツテ居ルモノガ随分見付カツタ、農家ハ知ラヌモノデスカラ、使ツテ見ルト稻ガ枯レテシマツタト云フヤウナコトモアルシ、朝鮮總督府トシテ今日肥料ヲ取締ルト云フコトニ付テハ、硫酸「アムモニヤ」ハ藥ト思ツテ居ル、デ少シ悪クナルト餘計無暗ニ蒔散ラス、ソレモ市場ニ行ツテ、鹽ノ入ツテ居ルモノヲ知ラズニ買ツテ來ルト云フ危険ガアル、朝鮮總督府ニ於テハ使フ上ニ於テ、サウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

○大河内委員 肥料ノ種類ニ付テ質問ガ出マシタガ、電氣ノ照明、或ハ紫外線ニ依ツテヤル一種ノ光線ノ肥料ノコトニ付テ、御調査ニナリマシタ材料等ガゴザイマシタラ、一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○間部幹事 持合シテ居リマセヌ

○大河内委員 安藤博士ニ一寸伺ヒマスガ、何か材料ハゴザイマセヌカ

○安藤委員 農事試験場ニ於テ色々試験シタコトガアリマス、是ハ近來外國デモサウ云フコトガアリマス、照明ヲヤリマスト云フト作物ニ依リマシテハ非常ニ成績ガ良クナリマス、詰リ炭酸瓦斯ノ淨化作用ニ依ツテ、良クナルト云フコトハ多少アリマスガ、併シ日本ニ於テハ多少反對ノ結果ガアリマス、是ハ今カラ五年バカリ前ニ、亞米利加デ初メテ研究ノ結果、發表シタノデアリマスガ、作物

ヲ分類シテ照明ヲヤツテ、色々ノ試験ヲシテ見タ所ガ、是ハ日光トノ關係デアリマスガ、日ノ短イ方ガ早ク實ガ出來ルト云フ説ト日ノ長イ方ガ宜イト云フ説ト二タ色アリマス、ソレハ稻ノ方カラ申シマスト、稻ニ照明ヲ與ヘマスト云フト成育ハ良クナリマスガ、非常ニ收穫期ガ遅レルノデアリマス、稻自身ハ日ノ短イ方ガ良イ性質ヲ持つテ居リマス、吾々ハ夏日ノ長イ折ニ成育スル作物ニ、照明ヲ與ヘレバ宜イト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、吾々ノ方デ夜電氣ヲ與ヘテ、成育ヲ良クスル爲ノ實驗ヲシテ見マスト、何時マデ經ツテモ穂ガ出ナイ、極クヒドイ例ヲ申シマスト、照明ヲケリマシテモ九月ニナツテモ穂ガ出ズ、十月ノ末ニナツテ穂ガ出ルノデ、實際稻作ニ實驗ヲスルト云フコトハ危険デアアル、ソレニ反シマシテ今頃收穫致シマス麥類ニ致シマスト云フト、日ノ短イ間ニ成育スルノデアルカラシテ、ソレナニ日ノ長イコトハ要ラヌノデヤナイカト考ヘラレマスガ、全ク反對デアリマス、夜、電氣ヲ與ヘルト非常ニ早く穂ガ出テ、性質ガ日ノ長イコトノ要ルコトガ分リマス、十二月初メカラ一月モ與ヘマスト、十二月ノ末ニハ穂ガ出テ實ガ成ルト云フ狀況デアリマス、作物ノ種類ニ依ツテ電氣ノ照明ニ依ツテ、生産ヲ増スコトガ出來マスガ、稻作ニハ電氣ヲ應用スルコトハ少シ困難デナイカト思ツテ居リマス、勿論其事ガ分リマシタ以來、此問題ハ研究中デアリマスケレドモ、種類ヲ改良シマス上ニ於テ吾々ガ始終困ツテ居リマシタノハ、早稻ト晩稻ノ合ノ子ヲ作りタイト云フコトデ、ソレニ非常ニ困難ヲシテ居ツテ、或ハ遅熟ニシテ見タリ、晩稻ハ早く蒔イテ見タリシテ居ルノデアリマスガ、其心配ハナクナツテ、非常ニ都合好クナリマシタ、早稻ニ電光ヲ與ヘテ日ノ當ル時間ヲ長クスル、又反對ニ今度ハ晩稻ノモノヲ暗室ニ入レテ置イテ、日ノ

當ル時間ヲ短クスルト云フコトニハ、役ニ立ツノデアリマスガ、生産ヲ増加スルト云フ風ナトキニハ少シ困難デナイカト思ヒマス、今續ケテ試験ヲシテ居リマスケレドモ、大體ノ傾向ハ斯ウ云フ風ニナツテ居リマス

○小寺委員 一寸伺ヒマスガ、大抵電力ト云フモノハ、ドウ云フ割合ニ使ヘルモノデスカ

○安藤委員 亞米利加デハ非常ニ簡單ナコトヲ言ツテ、三燭光デ宜イト云フコトヲ言ツテ居リマス

○大河内委員 非常ニ安イヤウデス、僅カノ電力デ以テ、英吉利ナドハ十一割何歩ト云フヤウナ増收ヲシテ居リマス

○安藤委員 尙ホ一寸電氣ノコトニ付テ申添ヘテ置キタイト思ヒマスガ、電氣ヲ高イ所カラ引イテ、高イ所ト云ツテモ七八尺ノ所カラ引イテ、高壓ノ電氣ヲ使用シテ、其下ニ作物ヲヤルト云フト、非常ニ成育ガ宜イト云フ實驗成績ガ英吉利デハ出テ居ルノデアリマス、是ハ今カラ二十五六年前、芬蘭ノ物理學者ガ言ヒ出シタコトデアリマシタガ、今マデ良イ成績ヲ出シテ居ルノハ英吉利ダケデアツテ、他ノ國ハ一向良イ成績ガ出テ居ラヌ、日本デモ今カラ二十年前ニ試験ヲシテ見タノデスカ、ドウ云フ譯カソレニ依ツテ收穫ヲ増シタト云フ成績ヲ得ナイノデアリマス、理科大學デモ澁澤博士ガ理科大學植物園ニ設備ヲサレテ、色々實驗ヲセラレテ居リマスガ、唯々一時的ニ成育ガ良クナルト云フ面白イ結果ガ得ラレテ居ルヤウデアリマスガ、收穫ノ方ハ理科大學デ吾々ガ十年以上ヤツテ見マシタケレドモ、ソレヲ償フダケノ成績ハ今日マデ得テ居リマセヌ

○矢作委員 霧ガ多クテ空氣ガ濕ツテ居ルカラ、電氣ヲ掛ケルト宜シイノデセウ、英吉利デハ……

- 安藤委員 英吉利デハ素晴シイモノガ出来テ居リマス、大麥、人參、「ポテト」等ニ非常ニ良イ成績ヲ擧ゲテ居リマス
- 吉植委員 丁度野口君ノ肥料ヲ造ル方ノコトニ付テ、今、日本デ輸入シテ居ル硫酸「アムモニヤ」或ハ大豆粕トカ色々ナ輸入シタモノヲ全部日本デ造リ、空中窒素デ間ニ合セテ戴クト云フト、現在ノ状態デ今野口君ノヤツテ居ルヤウナ按配ニスレバ出来ルノデスカ、現状ダケナラバ……
- 矢作委員 今幾ラ輸入ガアリマスカ
- 大河内委員 調査數量ハ非常ニ少ナイヤウニ思ヒマスガ、一昨年ノデスト窒素ガ四萬七千噸、現在ハ二十五、六萬噸ニナツテ居リマセウネ此統計デハ十五年ガ二十萬噸
- 小寺委員 昨年ハ獨逸ガ急ニ殖エテ居リマス
- 吉植委員 ソレデ今日本デ造ルノガ輸入ヲ防遏シ得ナイト云フノハ、日本ノ生産高ガ少ナク、獨逸カラ入ルモノガ多イ爲メデスカ
- 野口委員 日本デ出来マスモノガ足りナイ、年々多少ハ殖エマセウケレドモ、一昨年ガ二萬六千噸、昨年ハ是ノ五倍多クナツテ即チ十三萬噸、今年當リガ十五萬噸位デアリマセウネ、ソレデスカラ年々幾ラカ殖エテハ行キマスケレドモ、日本デ出来ル倍ハ輸入サレテ居リマス
- 吉植委員 日本デマダ製造能力ハ十分アリマスネ
- 野口委員 空中窒素ヲ固定スルト申シマスト、一寸窒素ヲ取ルヤウニ聞エマスガ、水素ヲ取ルコトデス、空氣ヲ酸素ト窒素ニ分ケマスコトハ、極メテ簡單デ、値段ニシマシテモ數字ニ上テ又位安イ

ノデス、其固定スルニ付テ窒素ト水素ヲクツ付ケナケレバナラス、石灰窒素デアルノハ「カーバイト」デアルノデスカラ電氣デアル、ソレカラ「アムモニヤ」合成法デアリマスト、水素ト窒素ガナヤレバナラス、空中窒素ノ事業ハ空中窒素工業デハナクシテ、水素工業デアアル、歐羅巴ノ如ク石炭カラ取ツテ居ルノハ鑛山業デアアル、ソレカラ日本ノヤウウニ石炭ガ高く、數ノ乏シイ所デアリマスト、已ムヲ得ズ電氣デ分解シテアル是ハ日本バカリデハナイ、英吉利、獨逸、瑞西、デモヤツテ居ル、サウシマスト是ハ電氣事業ニナル、窒素工業ト云フモノハ鑛山業デアアルガ、水素工業ハ電氣事業デアアル、ソレデアアルカラ如何ニ金ヲ積ンデモ、物質ガ完全ニアツテモ、水力電氣ガアツテモ、安イ石炭ガナイ限リハ、如何ニシテモ造リヤウガナイ、即チ水素事業デアアル

○山本會長 此以上日本ノ製造能力ヲ増ス爲ニハ、現在ノ日本ノ状態デハ安イ水力電氣ヲ十分ニ得ラレルカ、ドウカト云フコトガ問題ニナルノデスネ

○野口委員 サウデス

○吉植委員 貴下方玄人ノ御見込ハ、得ラレル御考デスカ

○野口委員 私共ハ十何年モ空中窒素固定法ヲヤツテ居リマスガ、日本ノ内地デハ有力ナ水力ト云フモノハ、誰カガ認可ヲ得テ居ル、尤モ許可ヲ得テ仕事ヲシナイ水力ガ五、六十萬馬力位アリマスガソレカト言ツテ吾々ガ仕事ヲシャウト言ツテモスルコトガ出来ナイ、偶々許可ニナラヌモノガアツマシテモ、ソレヲ願出レバ私ニ、私ニト言ツテ出テ糶合フカラ、五年モ十年モ掛ルソレデハ良イ水カガ残ツテ居ルカト云フト、良イ水力ハ殆ド全部誰カガ許可ヲ得テ居ル、ソレデハ其人達ガヤルノ

カト申シマス、仕事ハヤラナイ、命令デハ許可ヲ得テカラ一年位デ工事ニ着手シナケレバ消滅スルコトニナツテ居リマスガ、事實ハ十年経ツテモ十五経ツテモヤラナイ人モアルガ、權利ハ消滅シナイ、結局自分モシナケレバ人ニモヤラセナイト云フコトニナルソレデ私ハ已ムヲ得ズ朝鮮ニ行ツタ、朝鮮デ近ク纏マツタ水力ノ工事ヲ始メテ居リマス、内地デハ餘程政府デ氣ヲ付ケテ許可ヲシテモ、仕事ヲシナ者ハ取上ゲルト云フヤウニシナケレバ如何ニ金ヲアルカラヤレト言ハレテモ、種ガナイカラ出来ナイノデアリマス

○山本會長 サウスルト、マダ輸入ヲ仰イデ居ル分ヲ全部國內デ供給シヤウトスルト、之ニ要スル電カハドノ位要スルモノデスカ

○野口委員 先ヅ一「キロワット」ノ電力デ、一ケ年ニ二噸出来ルト御思ヒニナツタラ宜イデセウ、尤モ日本ノ電氣ハ水ガ減ルカライカヌ、一萬「キロワット」ノ發電所ガ出来マシテモ、六千「キロ」位シカ使用出来マセヌ、ソレデ使用出来ルノハ六千「キロ」デ、一ケ年ニ六割シカナイ、ソレデ利用出来マス電氣一年一「キロ」ワットニ對シテ、モウ少シ餘計出来マセウケレドモ、先ヅ二噸デス

○山本會長 サウスルト今不足ノ分ハ幾ラデスカ

○野口委員 彼レ是レ三十萬噸バカリノ不足ニナツテ居リマス

○山本會長 サウスルト一「キロ、ワット」デ二噸、十五萬「キロ、ワット」要スル譯デスネ

○野口委員 水ガ減ツタリ、殖エタリシマス、先ヅソレラ六デ割ラナケレバナラヌ、二十五萬「キロ」アツテ、十五萬「キロ」ダケノ役ヲスルモノデアル

○山本會長 二十五、六萬「キロ」ノ六掛デアリマス、殘ル所ハ十五萬「キロ」ワットデスネ

○田中委員 野口君ノ方デヤツテ居ラレル朝鮮ノ事業ガ完成サレルト、先ヅ以テ現在ノ自給力ヲ生ズル、蓋シ年々需要ノ増加スルノガ著シイ、之ニ件フニハ尙ホ益々ヤラナケレバナラム、ソレデ日本ノ窒素ノ供給ニ付テハ殆ド絶無デアツタモノガ、野口君アタリノ完成ニ依ツテ段々……ト申シマシテモ二十年間位掛ツテ居リマセウガ、十三・四萬噸ノ自給力ヲ生ジタ譯デアリマス、ソレカラ硫「ア」ノ需要ガ益々増シテ參リマシタカラ、矢張今度非常ニ大奮發ラシテ、朝鮮デ仕事ヲサレヤウトシテ居ラレル、私共モ小サナ仕事デスケレドモ、富山縣デ二、三萬噸ノ仕事ヲシテ居リマス、幾ラカテ御手傳ニナルカト思ツテ居リマス、唯々先刻來偉イ方バカリ揃ツテ居ラレルノデ、口ヲ開クコトヲ憚ツテ居リマシタ、所ガ肥料ノ事業ニ付テ先程會長カラ御挨拶ガアツタ時ニハ、私共肥料製造業ニ從事シテ居ル者ニ取ツテハ、少シク肩身ガ廣クナツタヤウニ思ヒマシタ、農業ノ大切デアリ隨テ肥料ノ大切デアルト云フコトハ當然分ツテ居ルニ拘ラズ、製造業ト云フモノニ對シテハ、矢張餘リ一般ノ人ハ重要視シテ呉レナイ、新聞ナドニ書カレマシテモ、何ダカ特殊扱ヒニサレルヤウナ氣分ガ時々致スノデアリマス、此席デ先刻ノ御話ヲ伺フト、大ニ肩身ガ廣クナツタヤウニ思ハレマス、蓋シ化學肥料ト云フモノニ付テ、濫澤サンガ四十年モ前ニ矢張此事ヲ憂ヘテ高峰君ト相談シテ肥料ガ初メテ出来タ、併シ藥品ノヤウニ思ツテ、ドンドン買ツテ呉レル人モナカツタヤウナ状態デシタ、其後戰爭ガアル度ニ肥料ノ必要ヲ感ジ、其當時此事業ハ大分儲カルト云フコトカラ、雨後ノ筈ノ如ク戰爭度ビニ出来タガ、其中ニハ不良ノモノモ出来テ、マダ此事業ハ完全ニ發達シナイ、ソレナ結

果ガ世間ノ投資家カラ見ルト、危險性ニ見ラレテ居ル恨ガアルガ、兎ニ角私共ガ主ニヤツテ居ルノハ磷酸肥料ノ方デアリマス、是ハ現在デハ一ケ年金額ニシテ三千萬圓位ノ生産ヲ致シテ居ル、然ルニソレガ全部内地ノモノデ自給シテ居ルカト云フト、遺憾ナガラ現狀通り、肥料ハ外國品ヲ仰ガナケレバナラヌ唯々歐洲戰亂ノ關係デ、例ノ南洋「ノアンガウル」一燐礦ト云フモノカラ、幾分供給サレツツアルノデアリマスガ、是デモ矢張外國品ヲ二十四、五萬噸ハ輸入シナケレバナラナイノデアリマス、三千萬圓ノ中、約二千三、四百萬圓ガ内地ノ自給ニ依ツテ爲シ得ルノデアリマシテ、六百萬圓ガ外國品ヲ使ツテ行クヤウナ勘定デアリマス、一寸三千萬圓ノ中二割ガ外國品ノ輸入ヲ仰イデ、八割近クハ日本ノ自給力デヤツテ居ラレルト云フ性質ノ肥料デアルカラシテ、今ノ硫酸「アムモニヤ」モ僅ニ十三、四萬噸シカ出來マセヌデ、アトハ外國カラ仰イデ居ルノデアリマス、是ハ今、野口吾ノ力ニ依ツテ、來年當リカラ成ダケ早ク輸入ヲ防遏スルコトニ願ヒタイト思ヒマス、私共ガヤリマスノハ、來年ノ夏頃迄ニハ幾分ノ御手傳ガ出來ヤウカト思ツテ居リマス、唯々遺憾ナノハ、豆粕ノ肥料、有機性ノ肥料、是ハ支那ニ一億圓近クノ金ヲ取ラレル、之ニ代ルベキ性質ノ肥料ヲ造ラナヤレバイケナイ、兎ニ角窒素ト云フモノガ、現ニ無機性ノモノデモ、今申上ゲタ通りノ需要ガアルノデアリマスカラシテ、先ヅ之ヲ先キニシテ、防遏スルト云フコトガ、吾々ノ努メナケレバナラヌコトデアラウト思フ、是ハ先ヅ野口君當リノ力ヲ籍リルヨリ外ナイノデアリマス、有機性ノコトニ付テハ、及バズナガラ研究致シテ居リマス、ソコデ先刻農業方面ニ御研究ノ御話ヲ承ルト、丁度吾々共營業ニ從事シテ居ル者ニ取ツテハ、少シ頭ヲ搔筆ラレルヤウナ嫌ヒガアル、硫「アン」ノ前途ニ付

テハ斯ウ云フ持病ガアリヤシナイカ、ソレデ少シ贅澤過ギルト云フ風ナ話ヲ聞クノデ、ソナニ資本ヲ投ゼラレテ、餘リ贅澤ヲヤラレルト氣味ガ惡イト云フヤウナ、素人ハ感ジガアリマス、大体此問題ハ廣汎デアツテ、吾々ガ一部ノ肥料ヲ造ルト云フ職業ノ上カラハ、オ醫者サンガ處方ニ依ツテ其途ハ盡クサレルデアリマセウカラ、其原料ヲ造ルコトヲ吾々ハ職分トシテ居レバ宜イノデアリマス、或ル程度ノ問題ニナリマス、資本ヲ若シ無用ナ方面ニ使フト云フコトハ、是ハ禁止シナケレバナリマセヌ、故ニ先ヅ現狀ニ於テハ現在ニ用ヒラレテ居ル所ノモノヲ自國デ供給スル、持續スルト云フコトヲ目的ニヤラナケレバナラヌデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ今日迄考ヘテ居リマス、此食糧問題ニ付テハ、先此處ニ居ラレル、安藤君、麻生君カラ、肥料ノ撰擇ニ依ツテ尙ホ增收ノ途ガアル、ソレハ即チ肥料ヲ餘計使フ、肥料ヲ餘計使フト云フト中毒スル、之ヲ大ニ防止シナケレバナラスト云フヤウナ御話デ、勞資ノ掛合セヤ何カニ付テ、此肥料ヲ餘計使ヘバ約現在ノ收穫ニ對シテ米ナラバ六千萬石ニ對シテ二割ノ增收ヲ得ラレル、斯ウ云フ風ナ御話ヲ承ツタ、當業者トシテハ益々此肥料ノ製造ニ力ヲ入レテ、ヤツテ行カナケレバナラヌト云フ風ナ、一層觀念ガ起ツタノデアリマス、之ニ對シテハ今カラ四十年前ニ、既ニ濫澤博士ノ御同意ヲ得マシテ、博士モ喜ンデ居ラレタヤウナ次第デアリマス、尙ホ私共ハ激勵ヲ受ケテシツカリヤレト云フヤウナコトデ、先ヅ自分ノ持ツ居ル資本ニ對シテハ「及バズナガラ出來ルダケノ力ヲ盡サウト思ツテ居ルノデアリマス、尙ホ朝鮮、北海道ノ方面ニ付テモ、政府デハ大分力ヲ入レラレテ居ルヤウデアリマスガ、朝鮮デハ餘リ肥料ヲ使ツテ居ラヌヤウニ聞イテ居リマス、此等ノ所モ開拓ト同時ニ肥料ヲ使ヒサヘスレバ、相當ノ收穫ヲ増ス

デアラウト思ヒマス、先ヅ遠イ將來ハ知ラヌコト、ココ十年、二十年ハ食糧問題ニ付テハ、肥料ヲ自給シナケレバ、益々外國ノ品物ヲ餘計使フト云フ結果ニ相成ルカラシテ、ドウシテモ經濟ノ上カラ肥料ヲ根本的ニ處置シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシタ所ガ、今回ノ調査會ノ御事ガアリマシテ非常ニ結構ナコトト思ヒマス、甚ダクダラヌコトヲ申シマシタガ、私共ハ寧ロ肥料ノコトニ付テハ實行的ニヤリタイト思ツテ居リマス、蓋シ私共甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマスノハ、此處ニ居リマス鈴木サンヤ、麻生サンニモ時々苦情ヲ申シタノデアリマスガ、吾々ハ肥料ノ原料ヲ造ルノガ職分デアアル、然ルニ賣藥ノヤウニ自分カラ效能ヲ説イテ廻ルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、即チ必要ナル所ノ要素ヲ造ツテ之ヲ提供シ、而シテ後ハ其筋ノ方々……オ醫者様ガ處方ヲ作ツテ此地方ニハドウ、此方面ニハドウ云フモノヲ造ツタラ宜イ、此耕作物ニハ之ヲ使ヘバ宜イト云フ風ニ、是ハ分業的ニ一ツヤツテ戴キタイ、蓋シ農民ノ智識ハ御承知ノ通デアリマスカラドウモ中々骨ガ折レマスガ、自ラ賣藥屋ノヤウニ自家ノ肥料ヲ使ヘバ斯ウ云フヤウナ效能ガアルト云フコトヲ言ツラ廻ルノハ、甚ダ自分達トシテハ恥カシク考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ方面ニ向ツテハ一層ノ御努力ヲ仰ギ、吾々モ鞭撻ヲ受ケ、同時ニ唯々肥料ヲ造ツテ仕事ヲヤツテモ、却テ好イ結果ヲ收メラレナイト云ケ風ナコトデ、肥料ノ關係ヲ遠ザカルコトガ、少クナイヤウデアリマスカラ、今回ノコトニ至ツテハ、大切ナ事柄ニ對スル處置ヲ御研究ヲ希ヒ、同時ニ國民一般ヲシテ、農事ノ大切ナコトト、同時ニ又我田引水ナドハセヌガ、肥料ノ大切デアルト云フコトモ獻身的ニヤツテ欲シイト、私共ハ思ツテ居リマス、惡イ肥料會社モアリマスノデ、資金ノ調達ニ向ツテモ、ドウモ

肥料ニ資金ヲ入レルノハ餘リ喜ンデ呉レヌ、此間モ斯ウ云フ風ナモノハ國家大切ナ仕事デアアルカラ、斯ル事業ニ對シテハ先ヅ公債證書ヲ持ツタ位ナ氣デ、損ヲサセテハ相成ラヌガ、低度ノ配當デ甘ンジテ少シ入レテ欲シイ、斯ンナコトモ叫ンデ居リマスケレドモ、中々實行シ難イコトデアリマス、故ニ政府ハ此仕事ニ向ツテハ、モウ少シ立入ツツタ處置ヲシテ戴クト云フ風ニシナケレバ相成ラヌデハナイカト云フコトモ考ヘテ居リマス、甚ダ貴重ナ時間ヲ取リ、ツマラヌコトヲ申上ゲマシテ恐入リマスガ、吾々ガ多年苦心ヲシテ居リマス一端ヲ茲ニ申上ゲテ、併セテ當業者ガドウ云フ風ナ事情ニアルカト云フコトモ申上ゲテ置キマス

○齋藤委員 私ハ肥料調査ヲ進ムル上ニ於テ、最モ必要ノ條件デアルト考ヘテ居リマス一ツノ點ニ付テ申上ゲマス、先刻野口サンカラ色々ノ事情ヲ承リマシテ、只今田中サンカラ御話モ拜聽致シタノデアリマスガ、私ハ多少方面ガ違ツテ、此問題ノ主要ノ點トナルベキモノハ空中窒素ニアルヤウニ推察致スノデアリマス、ソレニ付テ政府デ以前持ツテ居リマシタ「パテント」ノ「ハーバー」式ト云フモノハ、現在ドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ東洋窒素組合……現在デハ東洋窒素肥料株式會社トナツテ居リマスガ、其方ノ所有ニ屬シテ居ルト云フコトモ聞キ、或ハ前申上ゲマシタ組合ノ方デ持ツテ居ルヤウニモ聞キマシタガ、ソレハ構ヒマセヌガ、ドウシテモ明瞭ニ御承知ヲ願ツテ置キタイノハ、最近獨逸カラ硫酸「アムモニヤ」ガ十三萬噸入ツテ居リマスガ、「パテント」ノ關係デ矢鱈ニ持ツテ來ルコトガ出來ヌト云フコトデ、神戸ノ「アーレンス」商會ガ、硫酸「アムモニヤ」ニ對シテ、一噸ニ付テ二歩ト云フ口錢ヲ以テ取ツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、果シテサウ云フ事實ガア

ルデアリマセウカ、茲ニ肥料調査會ヲ設ケテ經濟的ニ合理的ニ調査シテ指導獎勵シナケレバナラヌト云フ一方ニ於テハ、肥料ト云フモノハ元來原則トシテ無稅デ入ツテ居ルト云フモノニ、口錢ヲ取ツテ居ルト云フコトハ、甚ダ矛盾シタコトデハナイカ、「ハーバー」式ノ所有ハ何レニナツテ居ルカト云フコトヲ、御當局ニ伺ツテ置キタイ

○山本會長 政府ノ方デハ何カ分ツテ居リマセカ、詰リ齋藤君ノ御質問ハ斯ウナノデセウ、「ハーバー」式ノ「バテント」ヲ日本ノ製造業者ガ持つテ居ル、獨逸デ製造サレタ品物ヲ日本ニ輸入シテ來ルト、日本デ「ハーバー」式ノ「バテント」ヲ持つテ居ル者ニ對シテ、若干ノ口錢ヲ拂ハナケレバナラヌ形ニナツテ居ルガ、ソレハドウカト云フノデアリマセウ

○齋藤委員 ソレノ所有ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、政府トノ關係ハドウナツテ居ルカ

○間部幹事 「ハーバー」式ノ特許權ガ、戰時中ノ所謂敵國財産ノ沒收デ、日本ノ政府ノ手ニ歸シテ東洋窒素組合ニ讓渡サレテ居リマス、併シ今日ハ東洋窒素組合ト云フモノハ、東洋窒素工業株式會社會社ト云フコトニナツテ、其特許權ト云フモノハ、其會社ニアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ「ハーバー」法ニ依ツテ製造サレタ所ノ空中窒素固定肥料ガ獨逸カラ入ル場合、今御話ノヤウニ一種ノ名前ニ依ツテ金ヲ取ツテ居ルカドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ所謂「ロヤリテイ」トシテ從來取ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、併シ此問題ハ田中サンカラ詳シク御聽キニナツタ方ガ明瞭ニナルヤウニ思ヒマス

○齋藤委員 政府ガ貸下ヲシタ時ニ、幾ラカ代價ヲ取ツテ居ルノデスカ、無償デナスツタノデスカ

○間部幹事 確カ一萬圓ト思ツテ居リカス

○齋藤委員 年限ハ決ツテ居リマスカ

○間部幹事 決ツテ居リマセヌ

○小寺委員 是ハハツキリ覺エテ居リマセヌガ、特許權ハアト五箇年間延長シタヤウニ思ツテ居ルノデアリマス

○田中委員 今ノ問題ニ付テ私ノ存ジテ居ル範圍ダケヲ申上ゲマス、今五年、十年デナイカト云フ疑問ガアリマシタガ、私ハ五年ト思ツテ居リマス、今間部サンカラ、私ニ聞イタラ宜イダラウト云フ御話ガアリマシタガ、私ハ餘リ詳シク知リマセヌ、戰時中ニ獨逸ノ特許權ヲ政府カラ貰ツタト云フコトニ付テハ、各方面カラ各種ノモノニ付テモ同ジヤウナ状態デアツタノデアリマス、其時分ニ吾々モ先刻申上ゲマシタヤウニ、窒素問題ニ付テハ苦心シテ居ル關係カラ、其時分ニ私共ノ會社デ一部ノ權利ヲ……尤モ能ク覺エテ居リマセヌガ、往友三井關係ノモノガ、何デモ六七軒デスカ、十人バカリノ連中ガ、各々特許權ノ使用ヲ許サレタノデアリマス、然ルニ戰爭ノ終熄後、此特許ヲ應用スルト云フコトニ付テ相談致シマシタガ、倍テ特許ト云フモノハ書イテアルモノダケヲ見テ、サウシテ實際ノ仕事ガ出來ルモノデナイ、ソレデ之ヲ實行スルト云フコトニ付テ研究ヲシ協議ヲシテ居ツタ、斯様ニ申スト如何デヌガ、是ハ當時ノ政府カラ話ガアツタヤウニ聞イテ居リマスガ、茲ニ持つテ居ル權利ヲ一緒ニシテ、東洋窒素組合ト云フモノヲ組織シタ、蓋シドウ云フ行動ヲスルカト云フコトニ付テハ申々議論ガアツテ、實行ニ着手スルマデニ至ラナカツタ、決シテ私共ハ此組合ト



云フモノニ關係ガナク、サウ云フモノノ資料ヲ得タ以上ハ、努メテ之ヲ研究シタイト云フヤウナ意味デ空中窒素ノ研究ヲ始メテ、其結果先ヅ品物ハ出來ルヤウニナリマシタガ、經濟的ニハ算盤ガ持テナイ、私及ビ渡邊勝三郎ト云フ男ガアリマシテ、其人ノヤツテ居ル渡邊研究所ト云フモノガアリマシテ、兩者ノ間ニ協議シテ費シタ金ガ七十萬程ニナツテ居リマス、現在ハ休ンデ居リマス、今ノ齋藤君ノ御質問ノヤウナコトニ付テハ、金ヲ各自ガ勝手ニ分配シテシマウト云フコトハ相成ラヌト思フノデ、金ハ積立テテアリマスノデ、將來ノ事業ヲ達成スルコトニ付テ、幾分デモ助ケニナルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ現在デハ色々此事業ニ關スル二三ノ技師ヲ外國ニ派遣シテ居リマスサウ云フヤウナコトデ、現在ノ東洋窒素會社ト云フモノハ進ンデ居リマス、ソレカラ特許權ガ消滅スルト云フ問題ニ付テハ政府ニ對シテモ、御願ヲシテ、延期シテ戴クト云フヤウナコトモ致シタコトガアリマシタ、其際長瀬サンモ居ラレテ、其話ヲ聞イテ戴イタコトガアリマシタ、一ツノ特許ガ十年間延期サレマシテ、斯ウ云フ成行ニナツテ居リマス、モウ一ツ露骨ニ申スト、今日空中窒素固定ト云フコトニ付テハ、私共ハ特許權ト云フモノヲ持ツテ居リマシテモ、ソレヲ實行スルト云フマデノ研究ガ積マナイ、私共ハ富山縣デ幾分ノ仕事ヲシテ居リマスガ、英吉利ノ「フアーザー」ト云フ人ノ特許ヲ買ヒマシテ、ソレデ實行スルコトニナツテ居リマス、其貫ツタ特許ハ役ニ立ツカドウカハ、私共素人デ知リマセヌガ御蔭ニ與ツテ居ラヌト云フ譯デアリマス、ソレデ特許問題ニ付テ藤山サント、野口サンノ方デ大分長イ問題ガアツタヤウニ思ヒマスガ、是ハ當時サウ思ツタ、今デモサウ思ツテ居リマス國ガ外國ノモノヲ多量ニ買ツテ居ルト云フ場合デアルカラ、仲好ク一ツニナ

ツテ外國ニ當ルト云フ觀念デアルノガ宜イデハナイカト云フ意味ヲ、兩君ニ申上ゲタコトモアリマシタガ、是ハ餘計ノコトデアリマス、齋藤サンノ御質問ノ如キハ、私モ今實行シテ居リマスガ、聞キヤウニ依ルト旨イ汁ヲ吸ツテ居ルト云フ風ニ思ハレテハ困ルカラ、御互ニ御察シテ願ヒマス、甚ダドウモ露骨ノコトヲ申シテ相濟ミマセヌ

○野口委員 今田中サンノ苦シイ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、實ハ窒素肥料ニ付テハ獨逸ノ硫安ガ安ク來マスノデ、非常ニ吾々ハ苦シンデ居リマシタ、所ガ幸カ不幸カ知ラヌガ、田中サンナドガ税金ヲ課シテ居ラレル爲ニ、無稅デアツタ肥料ガ關稅デ保護サレルヤウニナツテ居ル、是ハ田中サンガ取ラレナイデ、寄附デモサレタラ宜イヤウニ思ヒマス、此肥料調査會邊リニ全部寄附サレルト云フコトニナレバ、今ノヤウナ苦シイ答辯ヲサレナクテモ宜カラウト思ツテ居リマス、ソレデ出來ルナラバ政府ガチャント取ルヤウニスレバ、内地ノ事業ヲ獎勵スルコトニナル、ソレヲ懷中ニ入レズニ出シサヘスレバ宜イノデス、成ベクサウ云フ風ニサレルコトヲ……

○田中委員 頗ル野口君ハ苦シイト云フ御話デアリマシタガ、私ハ苦シイ答辯ノ積リデナイ、私ハ東洋窒素組合ト云フモノニ藤山サンガ居ラレルガ、一度モ出タコトガナイ、私ガ組合員デ何ガシカノ手問ヲ掛ケテ吾々素人デアルモノガ、アノ特許ヲ頼リニアレダケノ研究ヲシタ申上ゲル通りノ僅カデアリマスケレドモ、約七十萬ノ金ヲ棒ニ振ツタ譯デアリマス、ソレ等ノコトハ、特許ヲ得タ所ノ關係ト同時ニ、幾分カ口錢ヲ取ツテ、場合ニ依ツテハ分ケテ呉レルカ知リマセヌガ、マダ一文モ取リマセヌ、ケレドモ、サウ云フヤウナ問題ハ追々分ル問題トシテ今野口サンガ言ハレタ通り、ソレ

ヲ言フト甚ダ苦シイ問題ニナリマスカラ默ツテ居リマシタガ、獨逸邊リノ製品各國ニ是カラ先キド  
 ウ云フ風ニ世界的ノ窒素ノ關係ガナツテ來ルカ知リマセヌガ、自給ト云フコトヲ「モットー」トシナ  
 ケレバナラヌト思ヒマス、現狀ニ於テハ外國品ガ「ダンピング」ト云フヤウナ向キニナツテ尤モ「ウ  
 エアチーブ」勞資的問題ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ我田引水ニナルカ言ハズニ居リマシタ  
 ガ、私ハ農商務省時代カラ申シテ居ルノデアリマスガ、肥料ト云フモノハ無稅デアアル、農業ト云フ  
 モノハ大切ニシナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居リマス、ケレドモ若シ多額ノ資本ヲ投ジテ  
 内地デ以テ自給シ、其供給ガ完全ニナツタ場合ニ於テ、外國カラ安イモノガヤツテ來テ脅威ヲ與ヘ  
 ル、斯ウ云フ場合ガ生ジタ時ニハ、此肥料問題ニ關係スル關稅問題ナドハドウナルト云フコトヲ二  
 三回伺ツテ見タコトガアル、御當局ノ方モ其當時ノコトヲ覺エテ居ラレルト思ヒマスガ御返事ガナ  
 カツタ「サウダナ」ト云フ位デアッタデアリマス、デ吾々今後大イニ肥料問題ヲ達成シヤウト云フ  
 トキニ、野口君、藤山君、ナドハドウ御考カ知ラヌケレドモ、尠クモ何千萬圓ト云フ金ヲ掛ケナケ  
 レバ、現在ニ於テモソレヲ實行スルコトハ出來ナイ、サウシテ一方ニ資本ヲ投ジテ行キ、外國カラ  
 來ルモノハ明ケ放シデ通シテ行クト云フコトデ、果シテ將來ノ肥料自給ノ途ヲ付ケルコトガ出來ル  
 カドウカト云フコトハ、一ツ考ヘテ見ナケレバナラヌ問題デアルト思フ、此調査委員會ノ進行ニ伴  
 レテ、皆様ノ意見ヲ一ツ伺ツテ見タイ、是ハ言ヒ惡クイ問題デスガ、肥料ノ供給ト云フコトハ、損  
 ハシテモ供給ノ途ヲ續ケテ行カナケレバナラヌ、故ニ之ニ對シテハ相當ノ處置ヲ取ラナケレバナラ  
 スト思ツテ居リマス、肥料ニ税金ヲ掛ケル、ソレ故ニ肥料ガ高クナリ、一般ノ生活ニ脅威ヲ與ヘル

ト云フ問題デ、ソレニ關聯シテ大キナ問題デアリマスカラ、無暗ニ言フベキ筋合ノモノデナイノデ  
 スカラ、今日ノ場合デハ同業者モカヲ入レ、國民舉ツテ此仕事ニカヲ致サナケレバナラヌヤウナ場  
 合デハナイカ、斯ウモ考ヘラレマスカラ、一言申上ゲテ置クヤウナ次第デアリマス

○山本會長 野口君ノ先刻ノ、御話ノ朝鮮ノモノガ出來レバ現在ノ不足ハソレデ補フコトガ出來ルト  
 云フヤウナ御話デアリマシタガ、其事業ノ完成スルノハ何年頃デスカ

○野口委員 私ノヤツテ居リマス事業ハ、發電所ガ主デアリマス、鴨綠江ノ上流ヲ堰切リマス、朝鮮  
 ト云フ國ハ御承知ノ通りニ東海岸ニ非常ニ高イ山ガアリマス、西ニ向ツテハ原野ニナツテ居ル、鴨  
 綠江ノ日本海ニ近イ所ノ上流ヲ堰切リマシテ、其水ヲ日本海ニ落ス、サウシテ二千六百尺バカリノ  
 落差ヲ造リマス、其處ニ二百五十尺ノ堤ヲ築イテ水ヲ落シマスカラ、一年中不動ノ十八萬「キロワ  
 ット」ノ電氣ヲ起シマス、ソレヲ全部肥料ニ使ヒマスト餘程割合ハ安クナリマスガ、一億程ノ金ガ  
 要ル、ソレハ三十六、七萬噸又ハ四十萬噸程ノ肥料ガ出來ルノデアリマスカラ、現在ノ肥料ヲ増加  
 シテ旨ク往クデセウガ、併シ私ノ會社ガソレヲ一度ニヤルダケノ力ガナイモノデスカラ、今ハ三分  
 ノ一ヲヤルコトニシテ居リマス、ソレデ本年ナドハ半分ト云フ程ニ往キマセヌカラ、二百五十尺ノ  
 堤ヲ先ヅ百八十尺マデヤル、ソレデ優ニ六萬「キロ」ノ電氣ヲ起シマシテ、六萬「キロ」デ肥料ヲ造ル  
 工場ヲ昨年ノ八月カラ造リ始メマシテ、ソレガ出來マシテ其作業ヲ始メマスト利益モ出來増資モ出  
 來、金モ借リラレルト云フコトガ出來ルノデアリマス、六萬「キロ」ノ事業ハ再來年ノ夏マデニ出來  
 マス、後ノ十二萬「キロ」ハ段々ヤツテ行ク考ヘデアリトス

○山本會長 今窒素肥料ノ消費ノ増加ト云フモノガアルカドウカ、ソレハ何カ此方デモ調ベテアリマセヌカ、是カラ五年先ニハドレダケニナルカト云フ増加率ガアルデセウ

○齋藤委員 其方ハオアリノコトト察シテ居リマスガ、私カラ御參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ概算デアリマスカラ、對照ヲ願ヘバ宜イノデアリマス、私ノ調ベニ依リマス、大正十一年カラ昭和五年マデニ、野口サン、田中サンノ經營ヲ參酌シテ書イテ見マシタ所ニ依リマス、約四十三萬八千四百噸、遡ツテ昭和二年……本年カラ申上ゲマス、本年ガ二十萬四千四百噸、昭和三年ガ二十四萬九千四百噸、昭和四年ガ三十四萬八千四百噸、昭和五年ガ四十三萬八千四百噸、更ニ今後七箇年位ノ内地ニ於ケル肥料ノ合計ヲ調査シテ見マス、百二十九萬噸要ル豫定ニナツテ居リマス、勿論臺灣、朝鮮ヲ含ミマス、私ノ調査ヨリシテ、現在ノ計畫ヲ以テ假ニ行クトシマス、七年間ニ於ケル不足ハ幾ラアルカト云フト、八十四萬噸アリマス

○山本會長 今後七年後ニ、一箇年ニ八十四萬噸ノ不足ガ出テ來ルノデスカ

○齋藤委員 サウデス、ソレハ今ノ野口サン邊リノ御計畫ノコトハ含ミマセヌ、サウスルト是カラ減ツテ來ル譯デアリマス

○田中委員 十二、三年前ニハ十萬噸デシタガ、何デモ十萬噸ノモノガ四十萬噸ニナツタノガ、十五年位掛ツテ居リマス、此四、五年間ニ非常ニ著シイ急激ナ勢デ殖エタノデス

○山本會長 此方ニハ何カ調べガアリマセヌカ

○野口委員 此前、帝國經濟會議ノ時ニ出マシタ議案ハ百萬噸デシタカ、農商務省デスカ、アノ時確

カ出マシタ

○間部幹事 將來ノ硫酸「アムモニヤ」ノ使用ハ、考ヘ方ハ色々アリマス、デアアルカラ從來ノヤウナ増加ノ割合ヲ以テ段々増加スルモノトスレバト云フ計算モアリマスシ、或ハ急激ニ大豆粕モ使ハナイデ、硫酸「アムモニヤ」ニ變ヘルト云フコトモアリマスガ、其計算ダト違ヒマス、假ニ從來三、四年間ノ硫酸「アムモニヤ」ノ増加ノ割合カラ計算シマス、昭和五年ニハ需要ノ總量ガ内地ダケデ六十萬噸、ソレニ對シテ内地ノ生産ガドウアルベキカト申シマス、先ヅ二十六七萬噸デアリマスカラ、約三十萬噸、昭和五年デハ不足スル、斯ウ云フコトニナルノデス

○安藤委員 今ノ勘定デアリマスガ、將來ノ計算ヲ一寸シテ見マス、御參考迄ニ申上ゲマス、私ハ此「肥料要覽」ニ依リマシテ、大正十四年ノ此要覽ニアルモノダケノ肥料カラ、現在消費サレテ居ル肥料ノ生産ヲ、一、二大體ノ所ヲ取ツテ計算ヲシテ見テ、ソレカラ一段歩當リ、ドノ位ニナツテ居ルカト云フコトヲ計算ヲシマシテ、先キノコトハ分リマセヌガ、將來擴張サレルベキ土地ノ面積モ計算ニ入レ、又先刻申上ゲマシタヤウニ餘計取レル、ソレニ對スル肥料ノ増加率ノ計算モ單ニ見込ヲ付ケタダケノ御話デアリマスカラ、精確ナコトハ申上ゲラレマセヌガ、大正十四年ノ數字ニ依リマシテ、販賣肥料ト自給肥料ノ成分ヲ勘定シテ見マス、窒素ガ一億五千五百萬貫、磷酸ガ七千四百五十萬貫、加里ガ四千萬貫ト云フ數字ヲ得タノデアリマス、之ヲ大正十四年ニ於ケル水田、畑ニ割リマシテ、二毛作ガアリマスガ水田ニハ麥類ガ宜イト云フヤウナコトデ、其段別ガ六十七萬町歩アリマシテ、水田ノ三百萬町歩ニ加ヘマシテ、約三百七十萬町歩位ナ全面積ニナツテ居ル、畑ガ

二百九十六萬町歩、是ハ果樹桑園ガアリマシテ、假ニ畑ガ此以外ニ出來テモ、此平均先ヅ二作ハ取レルモノトシテ、ソレノ延段別ヲ計算シテ見マス。約現在ノ果樹ハ二倍ニナツテ居リマスガ、九百六十萬町歩位ノ計算ニナルノデアリマス、ソレデ今ノ數ヲ割リマス。窒素ガ一段歩當リ一貫六百目、燐酸ガ八百目、加里ガ四百目、此數字ヲ根據ニシテ將來ヲ推算シテ見タノデアリマス、併シ將來ノ問題ニナリマス。開墾ガドレダケ出來ルカ、ソレ等ノコトモ一向分ラナイノデアリマスガ、兎ニ角古イ農商務省ノ調査ニ依リマス。將來ノ開墾面積ハ約二百萬町歩ト唱ヘラレテ居リマス、其中デ畑ノ二十萬町歩デ田ニナルト云フ計算ニナツテ居ル、實際ノ面積ハ百八十萬町歩デ、其中ニ道路河川或ハ家屋或ハ鐵道等ノ爲ニ、潰レル面積ガ相當多イノデアリマス。カラ、ソレ等ノモノヲ差引キマシテ將來ドレダケニナルカト云フコトヲ、現在ト同ジヤウナ計算デ、ソレカラ水田ノ耕作サルベキ面積、其中ニハ小麥ノ耕作面積ノ増加モ出來ルト云フコトヲ見込ミ、又畑ノ方モ大ニ見込ミマス。約自分ノ計算デハ栽培面積ガ今日ノ九百六十萬町歩ニ對シテ、千百七十萬町歩位ニナツテ居ル約二百萬町歩ノ土地ガ殖エルモノト計算シタノデアリマス、サウシテ一方ニ於キマシテ、栽培法ノ改良ハ、ドウシテモ肥料ヲ餘計ヤラナケレバナラス、其肥料ノ用量ガ二割五分増スト云フ風ニ考ヘ、加里ノ方ハ今日ハ更ニ少ナイ、或ハモツト收穫ヲ増ス上ニ於テハ入レナケレバナラナイト云フノデ、約五割位増サナケレバナラスガ、是モ概算デアリマス、斯ウ云フ風ニ計算シテ見マス。將來ノ需要額ト云フモノハ、窒素ガ約五千五百萬貫、燐酸ガ二千二百萬貫、加里ガ二千百萬貫位ノモノガ要ルノデアアルマイカ、先刻間部サンカラ段々硫安ガ大豆粕ニ代ル御見込デアルト云フ御話ガア

リマシタガ、サウナラウトハ思ヒマスガ、自分ノ考カラ申シマス。綠肥、油粕ニ較ベテ及バナイノデアリマス。カラ、中々サウ急ニハナルマイト思ヒマス、ナルカ知レマセヌガ、現在入ツテ居リマス大豆粕ト云フモノハ、内地ニ於ケル關係等ニ於キマシテ、急ニ代ハルベキモノデハナイト思ヒマス。斯ウ云フ考ヘデ其計算ヲシテ見マス。硫酸「アムモニヤ」トシマスレバ窒素ガ約百三十萬噸、ソレカラ燐酸ガ百萬噸、加里ガ十八萬噸位デアリマス、デアリマス。カラ將來殖ヤサナケレバナラス分量ハ、硫酸「アムモニヤ」ガ約百萬噸燐酸四十萬噸加里ガ十七、八萬噸ト云フモノト要ルノデアアルマイカ、是ハ極ク概算デアリマシテ、自分ダケデ計算シタ數デアリマス。

○田中委員 安藤サンニ伺ヒマスガ、綠肥ノ栽培ヲ努メナケレバナラスコトト思ヒマスガ、綠肥ノ栽培ト云フコトニ付テハドウデアリマセウ

○安藤委員 無論將來ハ一層力ヲ込メナケレバナラス、殊ニ硫安ヲ使フヤウニナル時ニハ努メナケレバナラス、ソレデ綠肥ノ栽培ハ無論糞トカ不用品ヲ出來ルダケ肥料ニシテ、モツト利クヤウニスルト云フコトノ研究ヲ大ニシナケレバナラス、ソレカラ私ハ綠肥ノ數ノ殖エルコトヲ計算ニ入レマセヌノハ、其位ノモノガ段々殖エテ來テモ、收穫ヲ増ス爲ニ要ルノデヤナカラウカト、假ニ綠肥ノ方ハ考ヘズニ計算シタノデアリマス

○田中委員 綠肥ノ栽培ヲ獎勵スル、今度ハ耕作物ノ收穫ノ減ルコトカラ、土地ガ疲レルト云フ關係ハドウデス

○安藤委員 差支アリマセヌ

○野口委員 永久ニデスネ

○安藤委員 私ハ假ニ現在ノ段別ガ、ドレダケ開墾ガ出來ルカ分リマセヌガ將來二百萬町歩ト云フ此合計面積ヲ標準ニシタラ是ダケニナル

○山本會長 ソレデハ是デ一先ヅ休憩ヲ致シマス

午後十二時四十分 休憩

午後二時十分 開議

○東會長代理 一寸申上ゲマス、會長ハ今二階デ來客ト話中デスカラ、私ニ代理ヲシテ開會ヲシテ呉レト云フコトデアリマシタノデ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス、是ヨリ開會致シマス、只今ノ諮問事項ハ午前中色々名論卓説ガアリマシテ、非常ニ參考ニナツタコトガ多カッタヤウニ考ヘマスガ、尙ホ御腹藏ナク意見ハ成ベク御交換ヲ願ヘレバ、結構ト考ヘテ居リマス、ソレデマダ盡キナイ議論ガ澤山アラウト思ヒマスガ、大體御發議ヲ願ヒマシテサウシテ、其後ニ特別委員デモ選ビマシテ、御纏メヲ願フト云フヤウナ順序ガ、相當デナイカト考ヘテ居リマスガ、サウ云フ順序デ尙ホ御發議ガアリマシタラ、ドウカ御腹藏ナク御發表ヲ願ヒマス

○柵瀬委員 議事ノ進行ノコトニ付キマシテ、極メテ無理ナ希望カモ存ジマセヌガ、一言申上ゲタイト思ヒマス、諮問事項ヲ拜見致シマス、事柄ハ頗ル廣汎ニ亘ツテ居リマス、之ヲ具體化スルト云フマデニ築キ上ゲマスコトハ、容易ナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、ソコデ私ノ希望致シタイ、事柄ハ農林省ガ指導監督ノ立場ヨリ、所謂高處大所ヨリ見マシタ肥料ニ關スル現在ノ出來ル

ナラバ既往モ加ヘ、既往及現在ニ於テ配給ノ狀況、モウ一ツ細カク申上ゲマスナラバ、原料ノ製造、販賣及ビ使用、此狀況ニ對シテ現在如何ナル缺陷ガアルト認メラレテ居ルノデアリマスカ、ドウ云フ風ニシタナラバ此肥料配給ノ圓滿ナル方法ヲ立テルコトガ出來ルカ、ドウシタナラバ肥料界ニ於ケル一切ノ支障暗礁ヲ取除ケテ、農村ノ振興及ビ農家經濟ノ確立ヲ期スルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ缺陷ガアル、斯ウ云フ支障ガアル斯ウ云フ暗礁ガアルト御認メニナツテ居ル點ガアテノデアアルマイカ、高處大所ヨリ御覽ニナツテ、現在ノ肥料界ニ於ケル狀況ヲ見ルト是々ノ缺陷ガアル、是々ノ支障ガアル、斯ウ云フ暗礁ガアルト云フコトヲ原料ノ點カラ見テモ、販賣ノ點カラ見テモ、或ハ使用ノ點カラ見テモ、ソレニ關聯シテ金融ノコトモアリマセウ、ソレニ關聯シテ共同購入若クハ共同販賣ト云フヤウナ方法モアリマセウ、要ハ如何ナル事柄ガ缺陷ト思ハルル點デアアルカト云フコトヲ、具體的ニ御示シテ願ヒタイノデアリマスガ、若シ御差支ガアリマシタナラバ、ソレ等ニ關スル缺陷矯正方法ノ點ニ付テ、理想的ト爲サル所ノモノヲ、書中記シテ御示シテ願ヒマシタナラバ、此諮問事項ヲ研究調査スル上ニ於テ、極メテ便宜ガ多ク、隨テ特別委員ニナラレタ方モ、其調査ノ範圍ヲ稍々限定ニスルコトガ出來ルト云フ、非常ナ利益ガアルト思フノデアリマスガ、若シモ私ノ希望ヲ御容レ下サツテ、農林省ガ現在ノ肥料界ニ對スル缺陷、支障、暗礁ト認メラレル事柄ヲ御示シテ願フコトガ出來マシタナラバ、議事進行ノ上ニ頗ル便利デアルト、斯様ニ思フノデアリマス

○矢作委員 私ハ大體柵瀬委員ト同様ナコトヲ考ヘテ居リマスガ、柵瀬委員ノ御發言ガ若シ御相談ガ

付キマスナラバ、少シ角ヲ取ツテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ農林省ガ斯ウ云フ點ガ支障ガアル、斯ウ云フノデアアルカラ斯ウ云フ方法ヲ取レバ宜イ、斯ウ云フ支障ガアルト云フコトヲ農林省ノ腹案トシテ申サレマスレバ、當業者ノ方ニ於テハ不快ニ感ゼラレルコトガアルカモ知リマセヌ、前ニ田中委員カラモ、ドウモ特殊扱ヒニサレテ甚ダ遺憾デアルト云フヤウナ御發言モアツタノデアリマスシ、廣汎ノ諮問案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、先ヅ斯ウ云フ風ナ項目ヲ調べタイト云フヤウナ御腹案デモゴザイマスナラバ、調査致シマスノニ特別委員モ其調査ノ方法ガ具體的ニナツテ宜シイト思フノデアリマスガ、サウ云フ形ニ角ヲ取ツテ戴イテハイケマセヌデセウカ

○柵瀨委員 御注意ノコトモ御尤デアリマスガ、私モ其處ヲ多少懸念ヲ致シマシテ、理想デモ宜シイト思ツテ申上ゲタノハ其處デアアル、現在ニ即シテ申シマス、色々ノ支障ガアルノデアリマス、理想案デモ宜シイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノハ、其點ヲ顧慮シタ積リデアリマス、其事ハ一向差支アリマセヌ

○大河内委員 只今特別委員ノ問題ニ付テ柵瀨君カラ御提案ガアリマシタガ、洵ニ御尤ト思ヒマス、私ハ此諮問事項ヲ審議シテ行キマス上ニ於テ、大體ニ於テ是ハ二ツニ分ケテ調査或ハ審査ヲ進メテ行カナケレバナラナイト思フノデアリマス、即チ第一ガ今柵瀨君ノ言ハレマシタヤウナ肥料ノ消費ニ關係シテ居ル案デアリマス、第二ガ此肥料ノ工業ニ關係スルモノデアリマス、如何ニスレバ日本ニ於テノ肥料工業ヲ發達或ハ盛ナラシメルコトガ出來ルカ同時ニ其生産費ヲ安クスルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ二ツノ問題ニ諮問事項ハ大別サレルト思フノデアリマス、若シ特別委員ト云フモノガ

出來マスナラバ、此問題ヲ考慮ニ入レテ戴キマシテ、場合ニ依リマシテハ三ツモ四ツモ特別委員ガ出來ルカモ知レマセヌガ、先ヅ大體ニ於テ二種類ニ分類シテ戴キタイト思ヒマス

○東會長代理 大體差支ナイ程度ニ於テ何かゴザイマスナラバ、農務局長カラ

○松村農務局長 只今ノ御話デゴザイマシタガ、此度ノ諮問事項ハ非常ニ廣汎ニ亘ル概括的ノ事柄ニナツテ居リマスノデ、結局肥料ニ關スル全般ノ問題ノ中カラ、何處ニ重要點ヲ置イテ御答申ヲ願フカト云フコトニ歸着スルノデナイカト思ヒマス、御手許ニ差上ゲテ置キマシタ肥料問題考察上注意スベキ事項ト云フコトハ、殆ド全部網羅シテ居ルノデアリマス、此注意スベキ事項ニ基キマシテモウ少シ之ヲ具體的ニ、是ハ單ニ表ニナツテ居ルノデアリマスガ、御調査ヲ願ヒマス際ニ於テノ項目ニ纏メテ見マシタモノハ別ニ參考案トシテ肥料調査事項ト云フヤウナコトデ、或ル項目ヲ作ツテ居ルノデアリマス、ソレデ便宜御配付致シマシタガ、此ノ方ガ宜カラウト思ヒマス、此表ノ外ニ具體的ノモノガゴザイマスカラ、便宜御配付致シマシテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス

### 肥料調査員會調査事項參考案

#### 一、肥料ノ供給増加ニ關スル事項

##### (一) 自給肥料ノ供給増加ニ關スル事項

最近我國ニ於ケル肥料ノ年消費額約六億圓ノ中綠肥及堆肥等ノ如キ農家ノ生産ニ係ル自給肥料

ノ消費額ハ殆ンド其ノ半ヲ占ムルノ狀況ナルガ農業ノ發達ニ伴ヒ肥料ノ需要ハ益々増加シ而モ販賣肥料使用ノ割合著シク遞加シツツアル趨勢ニ鑑ミ肥料ノ給源ヲ能フ限リ自給肥料ニ求メ以テ國內ニ於ケル肥料ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト共ニ地力ノ維持並農産物生産費ノ節減ニ資スルハ農業經濟上極メテ緊要ナル事項ナリトス殊ニ將來硫酸「アムモニア」ノ如キ無機質肥料ノ施用増加ニ伴ヒテ發生スルノ虞アル土質惡變ノ弊害ヲ防止スル上ニ於テ斯ノ種有機質肥料ノ供給問題ハ特ニ重要視スベキ價值アリ而シテ自給肥料ノ中綠肥ノ如キハ全國ニ亘リ増殖ノ餘地頗ル大ナルモノアルヲ以テ方法宜シキヲ得ハ其ノ實績ヲ舉グルコト敢テ困難トナサズ故ニ之等ニ關シ適當ナル方策ノ講究ヲ必要トス

## (二) 販賣肥料ノ供給増加ニ關スル事項

最近ニ於ケル販賣肥料ノ年消費額ハ約二億八千萬圓ニシテ中約一億六千萬圓ハ海外ヨリノ輸入ニ係レリ而シテ今後農業ノ發達ニ伴ヒ斯種肥料ノ需要ハ益々増大スルニ至ルベキガ故ニ現狀ヲ以シ推移スルトキハ其ノ輸入ハ一層多キヲ加フベシ爰ヲ以テ國內ニ於テ之ガ供給ノ増加ヲ圖リ食糧及其ノ他農産物ノ生産資源ヲ確保スルト共ニ進ンデ其ノ價格ヲ低廉ナラシムノ方法ヲ講ズルハ國策上極メテ緊要ニシテ當ニ肥料問題ニ關シテノミナラズ國際貸借改善ノ見地ヨリスルモ亦最モ注意スベキ事項ナリトス

### 1 空中窒素固定肥料ノ供給増加ニ關スル事項

各種販賣肥料中農業上最モ重要ナル地位ヲ占ムルハ窒素質肥料ニシテ我國ニ於テハ現在油粕

類ヲ以テ主要ナルモノトシ硫酸「アムモニア」魚肥等之ニ亞ギ消費總價額二億三千万圓ニ達セルガ中約一億五千万圓ハ輸入ニ係レリ而シテ各種窒素質肥料ノ需要ノ趨勢ヲ觀察スルニ近時硫酸「アムモニア」等ノ如キ空中窒素固定肥料ノ消費ハ著シキ増加ノ傾向ヲ示シ大正元年ニ於テ九萬噸ナリシモノ大正十四年ニ於テハ三十三萬噸トナレルガ元來斯ノ種肥料ハ價格又ハ肥効等ノ點ニ於テ在來肥料ヨリモ使用の價值比較的大ナリトセラルルノミナラズ油粕類ノ如キ將來其ノ利用方法ノ研究ニ依リ肥料以外ノ用途ニ轉換セラルベキ運命ニ在ルモノ少カラザル等ノ事情ニ鑑ミ以上ノ傾向ハ今後倍々顯著トナルベキハ疑ヲ容レズ翻ツテ我國ニ於ケル空中窒素固定工業ノ狀態ヲ觀ルニ近時相當ノ發達ヲ遂ゲツツアリト雖猶甚ダ幼稚ノ域ヲ脱セズ製品ハ未ダ現在需要額ノ半ヲ充スニ足ラザルガ如キ狀況ニシテ而モ今後ニ於ケル海外ノ壓迫測リ知ルベカラザルモノアリ故ニ肥料及軍需品トシテ本製品ノ將來ノ需要ニ應ジ國內ニ於テ之ガ自給ヲ圖ルト共ニ農業者ノ爲安價ナル肥料ヲ供給スルノ目的ヲ達セント欲セバ國家ハ之ニ對シ特殊ノ政策ヲ樹ツル所ナカルベカラズ仍テ之ニ關シ充分審議スルト共ニ關係諸事項ニ付研究ヲ行フヲ必要トス

### 2 魚肥ノ供給増加ニ關スル事項

在來ノ魚肥類ノ中ニハ將來其ノ原料及製品ノ利用方法ノ改善ニ依リテ他ノ用途ニ供セラルルニ至ルベキモノヲ生ジ從テ肥料トシテノ供給ニ減少ヲ來スコトアルベシト雖一面水産業ノ發達ニ伴フ一般魚獲物ノ増加等ニ依リ其ノ供給ヲ豊富ナラシムルコト必ズシモ不可能ニ非ザル

ベキヲ以テ之ガ方策ニ關スル講究ヲ必要トス

### 3 磷酸肥料原料ノ供給増加ニ關スル事項

燐礦石ハ磷酸肥料ノ主要原料ニシテ内地ニ於ケル需要年額三十五萬噸ニ達ス而シテ本邦ニ於ケル燐礦石ハ從來既ニ發見セラレタルモノ乏シカラズト雖過磷酸石灰ノ原料トシテ使用シ得ベキハ僅ニ二、三ノモノニ止マリ其ノ産額モ年十二、三萬噸ニ過ギズ而モ其ノ蓄積量豊富ナリト稱スルヲ得ズ故ニ燐礦石ハ勿論其ノ他ノ磷酸化合物ノ探究ヲ爲スト共ニ低度燐礦石其ノ他ノモノニツキ其ノ利用方法ヲ研究スルハ諸種ノ點ニ鑑ミ極メテ緊要ニシテ之カ方策ニ付講究ヲ必要トス

## 二、肥料ノ品質保全ニ關スル事項

我國ニ於ケル販賣肥料ノ種類ハ頗ル雜多ニシテ各種ノ油粕類魚肥類化學肥料及其ノ他ニ亘リ之ヲ類別スルトキハ百數十種ニ上リ若シ名稱別ニ之ヲ算フルトキハ五、六千種ヲ下ラズ而モ之等肥料ノ需要ハ逐年増加シ肥料業者ノ競争ハ年ト共ニ劇甚ノ度ヲ加フルヲ以テ不正又ハ粗惡肥料ノ市場ニ現ハルルモノ倍々増加ノ傾向ニアリ然ルニ市販肥料ノ品質ヲ保全シ農家ヲシテ之ガ購入上損失ナカラシムル目的ヲ以テ制定セラレタル現行肥料取締法ハ既ニ二十年前ノ改正ニ係リ現下ノ實狀ニ鑑ミルトキハ取締ノ徹底ヲ期スル上ニ不備ノ點尠カラズ仍テ法規ノ適當ナル改正ト共ニ取締ニ關係ヲ有スル各種施設ノ改善ニ付講究スルヲ必要トス

## 三、肥料ノ配給改善ニ關スル事項

### (一) 肥料ノ取引並運輸ノ改善ニ關スル事項

農家ノ肥料ニ關スル知識ハ未ダ一般ニ幼稚ニシテ之ガ購入上ノ標準ハ肥料ノ名稱形狀色澤等ノ嗜好條件ニ依ルモノ多クシテ眞價ヲ判知スルノ明ニ乏シク爲ニ購入上不利ニ陥ル場合尠カラズ且購入ニ多クノ手數ト時間ヲ空費スルノ現狀ニアルヲ以テ共同購入等ニ依リ此ノ弊ヲ除クト共ニ生産者等ト直接取引ノ方法ヲ講ズルハ緊要ノ事項タリ鐵道運輸ニ關シテハ肥料ノ種類ニ依リ運賃等級ヲ異ニシ爲ニ肥料取引上不利不便尠カラザルモノアリ仍テ之等各般ノ事項ニ關シ改善上必要ナル方策ニ付講究セムトス

### (二) 肥料金融ノ改善ニ關スル事項

肥料業者間ニ於ケル肥料ノ取引ハ近年ニ至リ主トシテ現金取引トナレル結果農家對業者間ノ取引モ亦漸次之ニ倣ヒツツアリト雖資金等ノ關係ニ於テ今猶販賣肥料總消費額ノ五割餘ハ掛賣ニ依ル狀況ニシテ爲ニ農家ニ割高ナル肥料ノ購入ヲ餘義ナクセラルルノミナラズ生産物ノ交換等ニ依リ不利ヲ招キツツアルコト尠カラズ仍テ肥料資金ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ必要トスル施設改善ノ方策ニ付講究セントス

## 四、肥料ノ施用改善ニ關スル事項

### (一) 肥料施用法ノ研究ニ關スル事項



肥料ハ作物ノ種類及土地ノ天然的要素ノ差異ニ應ジ適切ナル施用ヲ爲スベキモノニシテ施用スベキ肥料ノ種類分量成分配合及施肥時期等ニ關シ技術上誤ナキヲ得ルト否トハ肥料ノ效果ニ至大ノ關係ヲ有シ其ノ農家經濟上ニ及ボス影響ハ肥料價格ノ廉否ニ因ル利害ノ比ニ非ザル場合多シ故ニ施肥改善ハ肥料問題考察上極メテ重要視スベキ事項ノ一タリ

施肥ノ改善ヲ圖ル爲ニハ先ヅ之ニ關スル技術的研究ノ完全ヲ必要トス而シテ施肥上ノ研究ハ或ハ基礎的ニ應用的ニ或ハ全國的ニ地方的ニ施行スベキ事項頗ル多岐ニシテ從來本省及地方農事試験場ニ於テ之ガ實施ニ務メ相當ノ成績ヲ擧ゲ來リタリト雖猶未ダ盡サザル所多ク加フルニ時世ノ進歩ニ伴ヒ新ニ研究ヲ必要トスルモノ續出セントス之ヲ例ヘバ刻下農業者竝肥料業者間ニ一大衝動ヲ與ヘツツアル水田ニ於ケル磷酸肥料ノ肥效問題ノ如キ或ハ在來肥料ノ代用トシテノ空中窒素固定肥料ノ使用方法問題ノ如キ何レモ肥料ノ供給問題ニ關聯セル重要ナル研究項目ナリ而シテ之等施肥改善上ノ研究ハ研究施設ノ擴張充實ヲ圖ルニ非ザレバ其ノ完成ヲ期スルコト能ハザルヲ以テ之ガ方策ノ講究ヲ必要トス

### (二) 肥料ノ施用法ノ改善普及ニ關スル事項

農家ノ肥料ニ關スル知識ハ今猶幼稚ノ域ヲ脱セズ施肥ノ現狀ニ付テ觀ルモ徒ニ舊慣ニ因ハレ肥料ノ配合宜シキヲ得ズ施肥ノ方法亦拙劣ナルモノ多ク之ガ改善ノ普及ヲ見ルニ於テハ農家經濟ノ改善ハ勿論食糧及其ノ他農産物ノ増殖上齎ストコロノ效果甚大ナルモノアルヲ疑ハズ仍テ農家知識ノ啓發改良施肥法ノ普及等ニ關シ適當ナル方策ヲ講究スルヲ必要トス

○大河内委員 頂戴致シマシタ此表ノ中デ、農林省ニ於ケル施設ハ分ツテ居リマスガ、窒素固定工業ニ對スル商工省ノ施設ハ出テ居ラナイノデアリマス、是ハ商工省關係ノ方デ材料ヲ提供シテ戴キタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○東會長代理 御尤デス、如何デセウ商工省ハ……

○四條委員 窒素固定ノ方法ニ付テ、商工省ニハ材料ニナルモノガ随分アラウト思ヒマスガ、今直チニト云フ譯ニハ行カナイデセウガ、適當ノ時期ニ特別委員デモ出來マシタナラバ、成ベク材料ヲ提供スルコトガ出來ヤウト思ヒマス

○東會長代理 會期中ニ出來マスカ

○四條委員 ソレハ勿論出來マス

○東會長代理 隨時適當ノ材料ヲ提供スルト云フコトデアリマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○大河内委員 宜シウゴザイマス

○東會長代理 如何デアリマセウ、中々此問題ハ廣汎デ、御意見ノ發表ヲ願ヘバ益々宜シイ譯デアリマスガ、盡キル問題デナイト思フノデアリマス、仍テ此程度ニ於テ特別委員ヲ御願ヒ申シマシテ、サウシテ特別委員ニ更ニ御審議ヲ御願ヒ申シタナラバ、只今大河内委員ナドノ御説モアリマシタガ之ヲ二ツナリ三ツナリニ分類致シマシテ、更ニ小委員ヲ作ル、ソウシテソレニ依ツテ調査研究ヲ願フト云フコトノ方法ニ致シテハ、如何デアラウカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、特別委員ヲ御願ヒヨスルト云フコトニ、御異存ハアリマセヌデセウカ

○柵瀬委員 特別委員ノ設定ハ無論必要デアルト存ジマスケレドモ、此調査項目ダケヲ見マシテモ相當重大ナ意義ヲ持ツテ居ル事柄バカリデアリマス、之ヲ唯特別委員ニダケ付託致シマスト其ノ委員ノ方々ノ御苦勞ハ如何ニモオ氣毒デアリマスカラ出來得ルナラバ之ヲ三委員會位ニ初メノ分屬主義ヲ採リマシテ、委員ヲ全部三ツニ分ケテ適當ニ按配サレテ調査ヲ御委託スルト云フ方法ガ一番宜イト思フノデアリマス

○東會長代理 只今柵瀬君ノ御説ハ至極御尤ノヤウニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスカ、サソ致シマスト全體ノ委員ヲ三ツ位ニ分ケテサウシテソレニ依ツテ特別委員ノ設定ヲ願ヒマシテ、全員委員ト云フコトニシテ、分類ヲスルト云フ御發案デアリマスカ、ソレニテモ宜シイノデス、其積リデモアリマシタノデスガ、ドチラガ、宜イカ、或ハ追ツテ委員ヲ特ニ何名カ選ビマシテ、サウシテ其中デ三人ナリ四人ナリノ分科ヲ拵ヘテ御相談ヲ願フカ、或ハ全員委員ニスルカト云フ考ヲ持ツテ居リマシタガ、只今柵瀬君ノ御説ガ宜イヤウニ吾々モ考ヘテ居リマスカ、多數ノ御方ガ御異存アリマセスケレバ、サウ云フコトニ致シタイト思ヒマス

○松村農務局長 私モ特別委員トシテ決ツタ意見ヲ持ツテ居ル譯デハアリマセヌガ、御忙シイ御方モゴザイマセウシ、色々専門ノ御方ガアルヤウニ考ヘマスノデ、私共ハ總會ノ委員會ニ出席サシテ戴キタイト思ツテ居リマスカ、全體デナク適當ニ御選ビヲ願ヒマシテ、是ハ總會ニ懸ケテ皆様ノ御意見ヲ承ルヤウニナリマスノデ、具體的ノ御意見ヲ伺フト云フコトニナレバ、専門家ノ中ノ又専門家ニ分レルヤウニナルト思ヒマスカ、概括論ニ適當ノ御方モ居ラレマスカ又専門ニ詳シイ御方モ居ラ

レマスノデ、委員會デハ専門的ニ詳シク御研究ヲ願ツテ又皆様ガ御集リ下サイマスト云フ趣旨デ全部委員ニナラレナイ方ガ宜クハナイカト思ヒマスカ、専門ノ方ダケデ御集リヲ願フト云フコトニシテ初メハ専門ノ方々バカリデヤル、又専門ノ方ハ三ツニモ四ツニモ委員ニナル御方モアラウト思ヒマスシ、ソレニ御忙シイ方モアラウト思ヒマスカラ、私ノ方デハサウ考ヘテ居ツタノデアリマスカ、ドチラデモ御都合デ宜シウゴザイマス

○東會長代理 ドチラデモ皆様ノ多數ノ御意見ニ依ツテ、決定致シタイト思ヒマス、ドウカ皆様ノ御意見ヲ御腹藏ナク御發表ヲ願ヒマス

○田中委員 如何デアリマセウ、御忙シイデモゴザイマセウガ、此問題ハ中々重大ナ問題デアリマスカ、假令委員會デ案ヲ立テルト致シマシテモ、大事ナ時ニ缺席スル人ガアリマストイケマセヌカラ、矢張柵瀬委員ノ御説ノヤウニ、全委員ヲ三分シテ委員ヲ作ルサウシテ會合シタ時ニ又ソレゾレ其中カラ小委員ヲ選ンデ、研究シテ貫フト云フコトモ出來ルダラウト思ヒマス、柵瀬君ノ御案ニ賛成致シマス

○東會長代理 多數ノ御意見ガ、全部ノ委員ヲ三分ニスルト云フコトノヤウデアリマスカラ、サウ云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○東會長代理 ソレデハサウ云フコトニ決定致シマス……而シテ指名分類ノ方法ハ如何ニ致シマセウ  
(「會長一任」ト呼ブ者アリ)

○東會長代理 ソレデハ會長一任ニ致シマシテ、後ニ銓衡致シマシテ、書面ヲ以テ御通知スルヤウナ  
コトニ取計ヒタイト思ヒマス

○柵瀬委員 尙ホ委員ノ分類ハ會長一任スルコトニ致シマシテ、茲ニ丁度調査項目ガ一ヨリ四マデ  
アルノデアリマス、ソレヲ三科ニ分チマスト、一ツハ何レニシテ宜シイカト云フコトニナル譯デ  
アリマスガ、是モ會長ノ方ニ於キマシテ、適宜下ノ科ニカ併託スルト云フコトヲ合セテ御考慮ヲ願  
ツテ置キマス

○東會長代理 承知致シマシタ……ソレデハ洵ニ今日ハ御多忙中ノ所御出席ヲ得マシテ、非常ニ有益  
ナル御研究ヲ仰グコトヲ得マシタ、洵ニ此上ナキ満足ノ至リデゴザイマス、今日ハ會長ニ代ツテ御  
挨拶申上ゲマス、是デ閉會ヲ致シマス  
午後二時四十分 散會

### 九 肥料調査委員會第一特別委員會議事要録

一、第一特別委員會 (第一回第一日)

(イ) 「協議事項」 販賣肥料ノ供給増加ニ關スル事項

(ロ) 日時及場所 昭和二年六月二十三日木曜日午前十時四十分開會、於農林省次官室

(ハ) 出席委員(○印ハ第一特別委員)

- |        |        |
|--------|--------|
| ○東 武   | ○小寺房治郎 |
| ○鈴木梅太郎 | ○矢作榮藏  |
| ○大河内正敏 | ○齋藤藤四郎 |
| ○野口 遵  | ○藤山常一  |
| 阿部 壽 準 | 松村真一郎  |
| 吉植庄一郎  | 麻生慶次郎  |

「互選ノ結果東委員委員長ニ決ス」  
「議事ニ入ル」

○東委員長 昨日總會ノ申合セニ依リ特別委員會ニ於テモ總テ懇談的ニ意見ヲ發表セラレタシ  
茲ニ販賣肥料ハ總テ一括シテ議スルカ又ハ分類的ニ議スベキカ

○大河内委員 一括的ニ議スルガ宜シ

將來窒素質及磷酸質肥料ニツキ如何ナル種類ノモノヲ如何程必要トスルカノ調査アリヤ

○野口委員 何年後ニ於テ如何ナル肥料ノ如何程ヲ要スルヤノ問題ナルカ

○大河内委員 然リ

○間部幹事 將來如何ナル肥料ノ如何程ヲ必要トスカハ未ダツノ調査ガナイ、昨日安藤委員ノ說ハ一  
ツノ見方デアルケレドモ然シ現在ヨリハ大豆粕ノ消費量ハ減ルモノト考ヘル

(「参考表」ヲ提示説明ス)

七六

○大河内委員 或地方ニハ硫安ガ適シ或處ニハ不適ト云フ様ニ適所ニ適種ノ肥料ヲ選ブ時ニハ各種肥料ニツキツノ必要量如何ナリヤ

○矢作委員 岩手縣農會ニ於テ堆肥ト硫安ヲ共用セバソノ肥效ガ大豆粕ノ肥效ト劣ラヌト云フ、斯クスレバ大豆粕ハ硫安ニ置換ヘラレルモノデアル、大豆粕ハ他ニ利用ノ途アリ、又支那ノ勞働問題等ノタメ大豆ノ栽培費ガ高クナル、智利硝石ノ發掘ハ五十年ノ後ニハ終ルトノ調査アレド智利硝石製造ノ際ノ廢棄物ヲ利用シ又輸出税及「シンジケート」ノ天引スル經費ヲ除ケバ智利硝石ハモット安價ニ提供サレルモノト思フ  
是等ニツイテノ資料アリヤ

○大河内委員 智利硝石モ段々合成「アムモニヤ」ニ壓セラル傾向アリ天然資源ハ「サイエンス」ニハ勝タレヌ

○鈴木委員 將來窒素肥料ノ需要量ヲ考ヘルニハ大豆粕ノ問題ガ重要デアル、滿州ニハ實見スルニ硫安一噸ノ價格一三〇圓、大豆粕一枚ノ價格二〇・一〇圓トシ窒素ノ價格ハ硫安三〇〇圓ニ對シ大豆粕五〇〇圓デアル、即チ六割以上大豆粕ノ方ガ高シ

大豆粕ヲ硫安ニ代ヘル事ニナレバ「アムモニヤ」一〇〇萬噸ニナル、肥效試験ニヨレバ二、三年ノ成績デハ大豆粕ト硫安トノ肥效ニハ大差ナク之ニヨレバ大豆粕ハ割高デアル、之ヲ硫安デ置換ヘレバ農家ノ肥料代ハ安クナル、又場ニ依リ例ヘバ寒イ所デハ硫安ノ方ガ效ガ多イ様デアル、硫安施用法ノ

指導ニ注意スレバ大豆粕ヲ硫安デ置換スル事ガ出來ル

大豆ハ油一圓ニ對シ粕代二圓デ粕ノ代ガ安クナレバ製油業者ハ困ル、故ニ大豆粕ノ製造業者ハ大豆粕ヲ他ノ用途ニ向ケルヲ可トス、大豆油業者ノ打撃ヲ除クタメ大豆粕ヲ他ニ利用スル方法ノ他ノ利用法ヲ研究シ一方硫安ノ施用ニ注意セバ昨日ノ安藤委員ノ說ヨリ硫安ノ必要量ガ多クナル、硫安ノ施用ヲマスト共ニ大豆粕ノ用途ヲ研究スレバ一舉兩得デアル、

大豆粕ノ蛋白質ト米ノ蛋白質ハ相似タモノデアル

肥料トシテ硫安ノ弊ハ之ヲ注意シテ施用スル事ニ依テ除カレル、之ガ早クナレバ窒素肥料ノ將來ガ明ニナル

滿洲ノ大豆粕ノ蛋白質ト高粱ノ澱粉ヲ混ズレバ食用トシテ可デアル、大豆粕ノ利用ハ一面ハ畜産ノ獎勵ニモナル

○矢作委員 清水港ノ抽出大豆粕ガ食糧トナリ含水量モ一定デアル、滿洲大豆粕ハ含水量不定デアル、故ニ前者ヲ有利ニ導キ滿洲大豆粕ノ水分ヲ取締ツテホシイトノコトモ考慮ニ入レラレタイ

○小寺委員 豆粕問題ハ興味アリ、豆粕ヲ窒素肥料トスルトキハ六、五%ノ窒素ヲ利用シ他ハ無駄ニス、出來ルダケ蛋白質ハ蛋白質トシテ役立テル事ヲ考ヘタイ

大正十五年昭和元年度ノ硫安一噸ノ價格ハ平均一五二圓、大豆粕一噸價格八七圓デアル大豆粕ノ總數量ハ一、二六六、六四一噸デ之ハ約硫安三八萬噸即五、七七六萬圓ナリ然ルニ豆粕代ハ一〇、九七七萬圓トナリ大豆粕ノ施用ハソノ價格ノ半分ノ損ヲスル肥料トシテ效果ニ劣リガナケレバ大豆粕ヲ硫

七七

安ニカヘタイモノデアル、カクスレバ五〇噸近クモ餘計ニ硫安ガ必要ニナル

○鈴木委員 大豆粕ノ磷酸加里モ多少見積レバソノ價格ノ比ハ硫安三、大豆粕五ノ割合ニナル

○小寺委員 大豆粕ノ利用上此中ノ糖分ハ一〇%ニテコノタメニ微ヲ生ジタリ鼠ニ喰ハレルノデア  
ル、依テ糖分ヲ分離スレバ精製サレ蛋白質ニナル、此ノ蛋白質ハ大變ニ役ニ立ツ事ニナル

工業試験場デ嘗テ此蛋白質ヲ二〇%入レタ「ビスケット」ヲ作り試食シタルニ見分ケガツカナカツ  
タ、豊年製油會社ニ於テモ糖分ヲトル研究中デアアル、カクスレバ大豆粕ノ問題ハ早ク解決サレル

○矢作委員 工業試験場ヲ參觀スルノ便ヲ與ヘラレタイ

○間部幹事 硫安ト大豆粕ノ窒素ノ價格ノ割合ハ參考表ニノセテオキマシタ

(「調査資料」提示説明)

○野口委員 今迄ハ現在日本デ施用シテ居ル量ノ他ニ更ニ如何程ノ肥料ヲ必要トスルヤノ話ナレドモ  
將來日本ニ於テ全量トシテドレ程ノ肥料ヲ必要トスルカヲ知リタシ

○鈴木委員 何レモ輸入スルモノナレバ安イモノヲ欲シイ

○野口委員 將來ノ必要全量ガ判レバ其中デ如何程ヲ増加スベキカノ量ガ判明スル

○間部幹事 現在窒素ノ施用量二九萬噸ソノ中販賣肥料一八萬噸、自給肥料一一萬噸、販賣肥料ノ中  
大豆粕ノモノ八萬噸、硫安ノモノ六萬噸、ソノ他四萬噸ナリ。此販賣肥料ノ中稻作ニ約六割施用サ  
ル

將來ノ所要量ハ算定困難デアアルガ或計算ニ依レバ(參考表提示説明)

○大河内委員 ソノ數字ノ中ニハ畜産ノ計畫ヲ見込ムヤ

○間部幹事 見込ンデ計算シタ、大豆粕ヲ硫安デオキカヘルタメニ硫安ノ施用法ニ注意ヲ要ス之ニハ  
自給肥料ノ増加ヲ必要トス

○矢作委員 將來ノ窒素ノ所要量ヲ知ルハ政策上必要ナリ、現在農民ノ負擔ヲ減スタメニ一億圓ノ大  
豆粕ガ六千萬圓ノ硫安ニオキカヘラルレバ大ナル利益デアアル依テ硫安ノ適當ナル施用法ノ研究ヲ必  
要トス

○鈴木委員 之ハ肥料ト共ニ食糧問題上ニモ必要デアアル

○小寺委員 人間ハ一日一〇〇瓦ノ蛋白質ヲ必要トス、之ガ凡テノ問題ノ基礎デアアル、此蛋白質ヲ得  
ルタメニハ動植物ニ俟タナケレバナラヌ、滿洲ノ豆粕ノ一噸中ノ蛋白質ハ一日一萬人ノ必要量トナ  
ル

○鈴木委員 ソノ數ハ多過ギル

○東委員長 人間ノ食糧トシテソノ蛋白質ノ利用法如何デアアル

○大河内委員 現在ノ硫安ノ生産量ヲドウシタナラバ下ゲ得ルカ、野口、藤山委員ノ説明及意見ヲ伺  
ヒタシ

○野口委員 硫安ノ製造費ハ安イ、獨逸ニ於テハ二〇%硫安トシテ窒素一担ガ九〇圓乃至一〇〇圓デ  
製造シ得ル、日本ノ生産費モ同様デアアル、日本ニ於テハ硫安ノ内地生産量丈ハ不足デアアル、之ガ外  
國カラ來レバ運賃、荷造賃、保険料等ニ二〇圓乃至二五圓ヲ要スル依テ内地品ハ二〇圓乃至二五圓

ノ「ハンデイキャップ」ガアル、日本ガ輸出國ニナレバ獨逸ト同様ノ「ベース」ニナル即チ一〇〇圓トナル、之ヲ安クスルニハ日本ガ外國カラ買ハナイ様ニスルガ必要デアアル

○大河内委員 硫安ヲ作ルニ各別ノ製造費ハ如何

○野口委員 製造原價ハ電氣ノ値段ノ立テ様デアアル

○大河内委員 酸素等ノ副産物ノ代等ハ如何デスカ

○野口委員 酸素ハ相當多量ニ生産スルガ之ノ利用法ニ困ル

硫安ノ製造原價ハ安シ、硫安ハ電氣ノ代ヲミナケレバ大變安シ、硫安ノ生産費ハ電氣、水、空氣、硫化礦(硫酸一噸ニ付二二—二三圓位) (之ハ此二、三十年ハ大丈夫)ノ經費ニヨルノデアアル

○矢作委員 硫酸ハ獨逸ニ於テハ日本ニ比シテ安クナキヤ

○野口委員 獨逸ニ於テハ硫酸ヲ石膏ト炭酸瓦斯ヨリ作り生産費ノ上カラ見テ大差ナシ

○間部幹事 販賣肥料ノ窒素十八萬噸ノ中大豆粕及硫安等トシテ十二萬噸ノ窒素ガ輸入サレテキル、

尙諸外國ノ窒素ノ需給關係ハ差上ゲマシタ參考表ノ様デアリマス

(參考表提示)

現在ニ於ケル大豆粕ノ消費ハ三億一萬貫、ソノ價格一億一千万圓ナリ、此ノ大豆粕ノ眞價ハ六千七百萬圓ナレバ四千三百萬圓ヲ割高ニ支拂ツテキルノデアアル

○矢作委員 昨年ト一昨年ト比シテ大豆粕輸入ノ金額ハ減ジ硫安ノソレハ増加シテキル、殊ニ獨逸製硫安ノ輸入額ガ殖ヘテキル、ソノ理由如何

「ハー、アーレンス」ノ宣傳ニ依ルモノト考ヘラレルケレドモ他ニ又獨逸ガ日本ヲ自國硫安ノ輸出相手トシテ有利ナルモノト認メタルタメニ依ルナランカ

○野口委員 要スルニ需要量ガ多クナツタ爲デアラウ

○矢作委員 獨逸硫安ノ値段ハモツト安クナル見込アリヤ、日本ニ於テ二十圓ノ運賃ノ「ハンデイキャップ」ヲミテ之ニ對抗出來ルカ

○野口委員 對抗出來ズ、輸入税デモカケナケレバ致方ナシ

○大河内委員 日本デ獨逸ヨリモ安クスルコトハ不可能デナイ

○矢作委員 少シ位相場ノ差異ヲ生ジテモ朝鮮ノミナラズ内地デモ萬一ノ場合ヲ考ヘテ硫安ヲ製造シテホシイ

尙電氣バカリニ依ラズ「ハーバー」式ニヨルモノモ考ヘテ欲シイ、尙窒素研究所デ創製サレタ油ノ様ナモノノ副産物ノ價モ考ヘレバ却ツテ安クナルカラ此ノ生産モ考ヘテ欲シイ

○野口委員 無水アムモニアノ製造費ハ安イ

水素ト窒素トノ合成ハ大規模ナレバ一「キロワット」二〇圓カラ二五圓デ、一「キロワット」デ硫安二噸トシテ十一圓カラ十二圓位デアアル硫安一噸ノ「アムモニア」ノ合成ニ電力三百カラ三百五六十「キロワット」ヲ要ス、無水「アムモニア」一噸ノ生産費ハ電解ノ電力代ヲミナイデ十圓カラ十五圓、故ニ硫安一噸ニ要スル「アムモニア」ノ代ハ二・五〇圓カラ四・〇〇圓、電力代ヲ一錢トスレバ三・五〇圓故ニ「カザレー」式デハ硫安ノ中ノ「アムモニア」ノ價ハ水素、窒素ヲ別トスレバ七—八圓デアアル、壓

力ノ高低ハ一利一害デ高壓ナレバ「アムモニア」ガ液體トナリ低壓ナラバ「アムモニア」水トシテ得ラル

「アムモニア」ノ代ガ二分ノ一ニナツテモ四圓位デアル故ニ合成費用ハ僅カデ今日ノ硫安ノ生産費ノ五%デアアル、合成費ニ建設費ヲアハセテ十圓位デアル、硫酸ノ費用ハ十圓カラ十五圓、依テ二十五圓トシテ安全、ソノ先ノ費用ハ水素ノ費用デアル即電氣ト電氣ノ償却トデアル、硫安一噸ニ要スル全部ノ電力ハ三、五〇〇—四、〇〇〇「キロワット」デアル、石灰窒素モ同様、荷造運賃十圓、電氣ガ安クテ工場ノ建設費一「キロワット」二百五十圓カラ三百圓トスレバ硫安一噸百二、三十圓カラ百五十圓位ニナルソノ利子償却七十圓ソノ他販賣費十圓ヲ加ヘテ八十圓トナル、ソレカラ先ハ主トシテ電氣代デアアル、假ニ百圓デ賣ルトスレバ二十圓ガ電氣代デアアル、日本デ電氣ガ一「キロワット」七厘五毛デ得ラルトシテ硫安一噸百圓内外デ引合フ獨逸ガ工場ノ償却ヲミレバ現在ノ如クアンナニ安クナシ、處ガ資本家ガ政府ナレバ之ヲミナイ

○小寺委員 「ハーバー」式ノ本當ノ生産費ハ不明デアアル

「アムモニア」合成ノ水素窒素ノ代六—七割、他ハ合成費デアアル、「ハーバー」法ハ惡質石炭ヲ使用シ水素ヲトリ原料ヲ安ク且ツソノ利用ノ方法ガ巧デアアル  
日本デモ水素窒素ノ代ガ六—七割トシテ電力サヘ安ケレバ獨逸ニ近ク行クダラウト考ヘラル、電氣ガ一「キロワット」六厘ノ程度ニナレバ「ハーバー」法ニ似タ所迄行キ得ルト考ヘラル

○大河内委員 電氣協會ニ於テ私ノ考ヘル發電案ニツイテ述ベテ見タガ一昨年「ルイジヤナ」デ二〇

「キロワット」ノ電氣ヲ天然ガスヲ燃料トシテ發電シタ之ハ日本ノ越後ニ於テ不可能デナイ、越後ノ高町ハ瓦斯ノ壓力ガ七百「ポンド」アリ臺灣ニハ何萬「ポンド」ノ瓦斯ガ出ル

「ルイジヤナ」ノ瓦斯ハ日本ノ瓦斯ヨリ火力弱シ、即チソノ窒素ヲ含ム量ガ多イ丈火力ガ弱イ、一時間ニ十八立方呎アレバ一「キロワット」ノ電力ガ起ル、一千萬立方呎ノ瓦斯カラハ二萬三千「キロワット」ノ電力ガ起ル一「キロワット」二厘ノ燃料デ百十石ノ油ト同様、ソレヲ今閉鎖シテイル瓦斯ハ段々弱ルガ段々井戸ヲ掘レバヨイ、油井ハ平均一石デ百石ハ大當リデアアル、火力發電所ノ一「キロワット」ノ建設費百五十圓位デアアル、償却運轉ノ經費ガ四厘デ、前ノ二厘ト合セテ六厘トナル  
依ツテ石油業ト電力業トノ提携ヲ必要トス

臺灣ハ到ル處瓦斯ガ出ル

○東委員長 瓦斯給源ノ移動ハ如何

○大河内委員 遠方ヨリ瓦斯ヲ得ルニハ一里當リ一萬圓位ナリ

○小寺委員 只日本デハ瓦斯ノ減ル事ガ氣遣ハレル、依ツテ使用量ノ「ユニット」ヲ少クスレバ可ナラ

○野口委員 水力電氣モ自家發電トシテソノ側ニ合成工場ヲ起セバ五厘位デアアル

○東委員長 臺灣ノモノヲ利用スレバ譯ナク出來ル

○野口委員 日本内地ハヨイ水利權ハ皆誰カガ獨占シテ利用シナイデソノ儘ニナツテキル

○東委員長 窒素固定事業ハ日本デヤレバ出來ル獨逸デモ戰時中國家デ助成シテヤツタ故ニ今安價ニ出來ル

日本ハ小工業ノ分立デ大工業ガ速進セナイソレデ外國ニ壓セラレル是ガ肥料問題ノ根本デアル。官營問題ノ根本ヲ議シタイ、國營ニスルカ又ハ助成方法ニスルカ何レモ一方法デアル依テ根本問題ヲ専門家ノ力ニ俟ツテ審議シタイ  
國營デ電力ガ不足ナレバ電力ノ安價供給法如何、電力國營モ一法デアル、又電力ヲ合同シソレヲ助成スルコトモ一法デアル、之等ニ依リ輸入品ヲ防遏スル事ハ必要デアル、之等ノ方法ヲ定メル事ハ國家永遠ノ問題デアル

○吉植委員 從來民間ノ工業ハ儲ケ過ギタ、要スルニ問題ハ大河内委員ノ理想論ハ後デ先第一問題ハ外國カラ輸入スルモノヲ驅逐スルコトデアル、ソノ問題ハ現在施用スル丈ヲ一刻モ早ク考ヘタイ、次ニ外國ト競争シテ賣出ス研究ヲシタイ、之ハ特別ノ研究機關ヲ商工審議會ト共ニ合一連絡シ繼續的ニ大ナルモノニシテ研究ヲ進メテ理想ニ進メルガヨイガ、不取敢輸入ヲ防遏スルニハ現在ノママ放任スルカ、又ハ助成スルカノ問題ニ歸ス、日本デ研究ガ進ンダ後ニハ政府ガ助成スル

○東委員長 輸入及内地生産ニヨリ硫安ガ殖エルガ之ヲコノ儘營利會社ニ一任スベキカ  
○矢作委員 政府ノ金ハ六分デ株式會社ハ一割デナケレバ資金ノ融通ガ出來ヌ社債ハ七―八分デナケレバ募集ガ出來ヌ政府ノ保證ガアレバ六分五厘位トナル、建設費ニ多額ヲ要スルトセバ政府ガ保證スル丈デ國家ノ負擔ニナラスニ有利ニ向フ、ソノ點ハ政府デ考慮セラレタイ、技術ノ改良ノ餘地ア

ルモノハ私立會社ニ任セ改良ノ餘地ナキモノハ國營ガ安上リデアル

○齋藤委員 研究ヨリモ國策如何、カカル研究ニハ限りガナイガ要スルニ民間デモ此程度ニ於テ國策ヲ必要トス

今ハ民間ニ於テ特許權ノ買収ニ多額ノ料金ヲ要ス

先「ハーバー」式ノ特許權ハ國家ガ戰爭ノ代償トシテ得タモノデ之ガ不問ノ中ニ何處ニアルカワカラヌ故ニ「ハーバー」式特許權ノ事情ヲ明カニスル必要ガアル

○矢作委員 三井、三菱、住友、三共等ガ手ニ入レテキル以前ハソノ研究費ニ犧牲ヲハラツタガ今ハ之デ儲ケテキル

○小寺委員 組合ガ「ハーバー」氏法ヲ得ルニハ相當ノ費用ヲ要シテキル始メ高峰氏がGC法ノ宣傳ニ依リ調査ニ出カケ之ヲ調査シタガ大シタモノデナカツタ、之ニモ相當ノ費用ガカカツテイタ

○齋藤委員 「ハーバー」式ノ特許ニ關スル件ハ國民ノ疑問デアル、但アノ當時補助金ヲツケタノハ合理的デアルガ今ノ事情如何

○矢作委員 「ハーバー」氏特許權ノ如ク今一種ノ財産權ニナツタモノヲ只デ取上ゲルハ不當デアル、相當ノ植設デ買取ルベシ

○小寺委員 東洋窒素組合デ「ハーバー」ノ權利ヲ買取ツタガ先ニ期間ガキレタ爲ニ更ニ期間ヲ延シタ、之ハ總テ窒素事業ニ關係ノアル人ノ手ニアルカラ此ノ上政府デ關係スル必要ナシトシテ今ソノ特許ニハ政府ハ關係ガナイ



- 東委員長 今政府ニ關係ガナイト雖然シ今組合ガ獨逸酸安ニ對シテ行フ如ク私立會社ガ關稅的ノモノヲ徵スルハ不可デアル
- 齋藤委員 國民ガ戰爭ノ代償トシテ得タモノデ共カシテ完成スベキニ拘ラズ期間ガ來テモ事業ヲ始メズシカモ外國品ニ稅ヲカケルハ不當デアル
- 矢作委員 「ハーバー」式ヲ實行スルタメニ拂下ゲタルモノトスレバ實行セザルノ理ニ依ツテ取上ゲテシマフガヨイ
- 野口委員 實施セザルノニ期間ヲ延シタノガ問題デアル
- 小寺委員 口錢ヲカケナクトモ獨逸ハ安クセナイトイフ
- 齋藤委員 「ハーバー、アーレンス」ガ獨占シ口錢ヲトツタタメニ一般輸入肥料ガ高クナル  
(尙窒素工業ニ關スル談議ヲ繼續シ一時半閉會ス)
- 第一特別委員會(第一回第二日)
- 昭和二年六月二十四日午前十時三十分 農林次官室ニ於テ開催ス
- 出席委員

- 東 武
- 鈴木梅太郎
- 大河内正敏
- 恒藤規隆
- 小寺房次郎
- 矢作榮藏
- 湯地幸平
- 齋藤藤四郎

- 野口 遵
- 阿部壽準
- 安藤廣太郎
- 麻生慶次郎
- 藤山常一
- 松村眞一郎
- 吉植庄一郎

東委員長席ニ着キ直チニ議事ニ入ル

○間部幹事 十年後ニ於ケル内地ノ窒素ノ需用量ニ就テ説明ス

(參考案提示)

- 大河内委員 ソノ資料ヲ騰寫ニセラレタシ
- 齋藤委員 朝鮮、臺灣ノ分モ調査報告アリタシ
- 東委員長 (新任臨時委員湯地孝平君恒藤規隆君ヲ紹介ス)  
將來ノ硫安需要推定量ハ方々カラノ推算ニヨリ大體五六十萬噸トナル、現在民間ノ會社ガ已ニ着手シテイルガ是丈デ我國ノ需要量ガ自給出來ルヤ否ヤ野口委員ノ意見ヲ求ム
- 野口委員 窒素肥料丈ニツイテ考ヘレバ日本内地ノ需要ハ十年後五四・五萬噸之ニ朝鮮臺灣ヲ加ヘ七十萬噸、又大豆粕ガ食糧トナレバコノ代品四十萬噸、練粕ノ代ガ十萬噸、硫安ノ需要總量百二十萬噸位ニナル、十年後ニハ人口モ増スカラ百三十萬噸ノ硫安ヲ要スルコトニナル、是ガ給源ヲ空中窒素ニ俟ツトシソレニ要スル水素ヲ石炭カラトルコトモ一法デアアルガ然シ之ハ日本ノ經濟關係及資源ノ關係カラ不適當デアル、依ツテ之ヲ水力電氣ニ俟ツ事トシテ、硫安百三十萬噸ニ六十萬「キロワ

ツトノ電力ヲ要ス、然ルニ内地ニ於テハ有利ナ電力ハ總テ誰カノ獨占ニ歸シ一般民間會社ノ利用ニ供セラレナイ、又六―七厘ノ安イ電力ガ供セラルルトセバソレデ他ノ輸出品ノ生産ヲ増加シソレデ他ノモノヲ購入シタ方ガヨイ

日本デ未ダ使用サレテ居ナイ電力ヲ窒素肥料ノ生産ニ使フ事ハ困難デ、殊ニ民間會社ニ於テ然リ、依ツテ此事業ヲ民間ニ任ス事ハ不適デアル、有利ナ水力ガ他ノ事業ニ廻サレバ建設費及水力ガ高クナル、米國デハ「カザレー」式デ「ゼネラルエレクトリック」會社ハ二百五十萬噸生産スル會社ヲ作リ五十萬馬力ヲ起シ「アムモニア」ヲ多量ニ生産セントス、佛國ハ佛國ノ「コークスシンジケ―ト」ノ廢棄水素デ「アムモニア」ヲ生産セントス、佛國ハ戰爭ノ代償トシテ「ハーバー」法ヲ獲得シ「クロード」法モ「ガザレー」法モソノ權ヲ有シ研究ノ結果「カザレー」法ニヨリテ一日ニ三百噸ノ無水「アムモニア」、年ニ四十萬噸ノ硫酸ヲ造ラント計畫シ一部ハ設備運轉ス廢棄「ガス」カラ水素ヲ得ルハ廢物利用デアル

製鐵事業ノ盛ナ所ハ「コークス」ノ廢棄「ガス」カラ「ドンドン」作り世界ノ「アムモニア」ハ安クナリ、日本ハ之ニ對抗出來ヌ、又内地産ヲ保護スルタメニハ從ツテ關稅ヲカケルコトニスレバ肥料ノ代ハ高クナル、且民間會社デアルノハ困難ナ事デアル、民間ノ事業殊ニ株式會社ハ利益ガ眼目デアル、利益ノタメノ研究デアル、依ツテ不利益ニ安イ肥料ヲ出ス事ハ出來ヌ、外國カラ肥料ガ輸入サレル間荷造運賃等ノ「ハンディキヤツプ」ヲミテ賣ル、今ハ之ガ二〇圓カラ二五圓ナレド今後ハ三〇圓カラ三五圓ノ「ハンディキヤツプ」ヲオクカモ判ラヌ、東洋窒素組合ノ私設關稅ノ様ナモノハ此實例デア

ルツシテ今民間會社ハ間接ニ之カラ利益ヲ受ケテイル、カカルモノニ人口食糧問題ヲ伺フハ無益デア

アル  
カカル根本問題ヲ民間營利會社ニ一任スルハ不當デ宜シク國營ニスベキデアル、然シ國營トスルニハ現今幼稚ナ本邦ノ窒素工業ヲソノママ國營トスルカ又ハモウ少シ實ラセテ是ヲ國營トスルカハ時機ノ問題デア

○安藤委員 國營トスルト安價ニナル様ニ伺ヒマスガソノ理由ハ如何デスカ

○野口委員 國營トナレバ缺損ハ總テ國民ガ之ヲ負擔スルコトニナリマス又電氣カラ奪ヒ低利ナ資金ヲ融通スルノ便ガアリマス、生産費ハ現在本邦モ獨逸ト同様ニ安價デア

現在ノ硫酸ノ生産費ヲ重ネテ言フコトニ致シマス、無水「アンムニア」一噸ノ製造費十圓カラ十五圓デアツテ硫酸一噸ニソノ中ノ「アムモニア」ニ要スル電力ハ三百カラ四百「キロワツト」、「一」キロワツト一錢トシテ三、四圓先ヅ併セテ十圓以下デア

アル、水素窒素ヲ別トスレバ硫酸一噸ノ生産費ハ二十四五圓以下デア

アル、其ノ他荷造運賃等ヲ見テ硫酸一噸ノ生産費ハ併セテ五十圓トミテ安全デア

アル、他ハ水素ト窒素ニ要スル電力費デア

アル、ソシテ水素ヲ製造スル電力モ總テ併セテ電力ハ三千カラ四千「キロワツト」ヲ要ス

○藤山委員 石炭窒素モ硫酸ト同様デア

アル、石炭窒素ハ安價デア

アル、施用法ノ研究ガ必要デア

- 東委員長 野口委員國營トセバ窒素固定事業丈ヲ磷酸及加里ト別ニ切りハナシテスルカ國營ニスルハ道程ハ簡單ノ様デナカナカ六ヶ敷イ、助成ノ方法ハ如何デスカ、現在輸入ノタメニ高價ダトスレバ輸入防遏ノタメ民間事業助成ハ如何
- 野口委員 生産増加ノコトハ金次第ドウモ出來ルガ然シ直チニ出來ルモノデハナイ
- 吉植委員 窒素固定事業ガ現在促進サレヌハ如何ナル理カ、窒素固定事業ハ相當有利ナ事業ナルニ民間ニテ促進サレヌ、ソノ妨グトナルモノ如何
- 野口委員 儲カル範圍内ニ生産スル故ナリ
- 大河内委員 生産制限以外ノコトハ如何カ
- 野口委員 水力電氣ガ自由ニ使ヒ得ザル事、然シ之モ他ノ工業ニ廻ス方ガ有利カ否カハ問題デアル
- 吉植委員 水力デ未ダ利用セラレナイモノハ如何程カ
- 大河内委員 九百幾萬馬力ガ未ダ手ガツカヌ
- 吉植委員 立法ニ依ツテ窒素工業ニ電力ハ有利ニ廻シ得ル
- 大河内委員 黒部川電力ハ「アルミニウム」工業ヲ起スタメニ優先權ヲ許シタ、此様ナコトハ窒素工業ニ對シ出來ヌモノカ
- 吉植委員 電力ノコトハ具體的ニ立法的ニ研究スルコトガ出來ル、肥料代ヲ安クスルコトガ必要デアル
- 野口委員 電力事業ニ付テハ一ツノ水利權ニ五人十人ノ出願者ガアル、表面地方長官ガ認可ヲ與ヘ

- ルガ内面ハ内務、遞信大臣ニ相談スル、出願後六ヶ月以後ニ設計明細書ヲ出シ、認可後六ヶ月以内ニ起工シナケレバ失權ス、處ガ不完全ナ設計書ヲ出シ、ソレノ未決ノ中ニ十年、十五年ハ經ツ
- 吉植委員 野口氏ノ國營論ハ理ハタタヌ、電力ノコトハ立法上ノ手段ニ依テ解決出來ル
- 野口委員 安イ肥料ヲ多ク供給スル問題ニ於テ、安クスルコトハ私立會社デハ出來ヌ、外國品ノ來ル間ハ高價デアル
- 東委員長 窒素會社ノ資本如何
- 間部幹事 (會社考課表提示)
- 吉植委員 特許權ガ獨占的デアルノガ一因デアル、特許權ガ自由ニ使ハルレバ安ク行ク
- 東委員長 日本ハ窒素固定工業ガ初期デアル故ニ之ニ對スル色々ノ方策ハ比較的容易ニ遂行スルコトガ出來ル
- 野口委員 私ノ特許ハ日本ト支那デ後十年位ナリ
- 小寺委員 電力ノ内譯ヲ調査シソノ中窒素ニ向ケル分ハ如何
- 大河内委員 大抵ハ高價ナモノナラン
- 矢作委員 臺灣ニ於テハ電力ハ増加シ需要ハ少イ
- 大河内委員 窒素工業ニ對シ建設費一「キロワット」三〇〇圓以下ニ止ムベキデアル
- 東委員長 電力ノ取得ニ先取權ヲヤルトシテモ既成ノ會社ニ對シテ如何ナル方策ヲ講ズルカ、今ノ中ニ何カ方策ヲ講ズレバ比較的安クテモヤレルコトニナル

- 吉植委員 窒素固定工業ハ資本家ノ羨望ナレドモ特許權ヲ得ナケレバ出來ヌ之ガ發達ヲ阻止スル、コノ對策如何
- 矢作委員 獨逸デハ餘程安ク行ク
- 野口委員 「トラスト」ハ世界的ニ行フ傾向ニアル、獨逸カラ内地ノ企業者ニモ「シンジケート」ニ加入ヲ希望スル向モアル
- 矢作委員 世界的「シンジケート」ヲ作ル對策トシテ政府ノ管理ヲ必要トス
- 大河内委員 政府ガ窒素研究所ノモノヲ基ニシテ、製鐵所ノ様ニ少シデモ作り出スコトハ如何
- 東委員長 今民間工場ノ買收ハ易シ、又窒素研究所ニテ工場ヲ作り之デ牽制スルノモ一法デアアル
- 野口委員 政府デヤツテ民間デモ儲カル様ニスレバ可
- 小寺委員 時期ノ問題ガ大切デアアル、多量ニ早ク作ルハ考ヘモノデアアル
- 矢作委員 今ノ輸入物ヲ防グタメ今迄ノモノハソレトシテ今カラ急速ニ生産増加ヲ必要トスルトキ如何ナル方法保護ヲ必要トスルカ
- 野口委員 電燈電力ハ拂込金ノ倍ノ社債ガ出來ル、窒素工業ノモノハ拂込丈デアアル、同電力デ此ノ様ナ据置ハ困ル
- 矢作委員 電燈ニ對シ行政的ニハ政府ガ制限スルコトガ出來ル、窒素ハ然ラズ
- 野口委員 民間會社ノ社債ハ据置ノ期間ガ短イ、政府ガ損シナイ範圍デ相當低利ノ金ヲ長期ニ融通出來レバ可

- 吉植委員 具體的ニ云ヘバ
- 野口委員 慥カナ擔保ニ融通スル様ニスルガ可
- 東委員長 然ラバ之ハ金融問題デアアル
- 吉植委員 當業者ノ意見ヲ充分ニ述ベテ欲シ、然ラザレバ政府案ガ定メ難シ  
午後(遞信省電氣局長村井次郎吉臨時委員ニ任命サレ出席)
- 村井委員 電力ノ安價供給ヲ考ヘテ居ル
- 遞信省前原技術課長 水力ハ大體ハ遞信統計ニ依ル、平水時一四〇〇萬馬力、渴水時一〇〇〇萬馬力、之ハソノ時ノ經濟事情ニ依リ時々異ル、之ハ流水丈ノ調査デアツテ貯水池等ノ調査モ進メタ  
イ
- 大正十四年末完成二七六萬「キロワット」工事中一四七萬「キロワット」現在電氣事業向電力賣買價ハ二・二・五錢
- 野口委員 大日本電力ガ大日本人造ニ送ルトキハ一・一錢位ト考フ
- 吉植委員 「アミニウム」工業ニ對シ水利權ノ先取權ヲ與ヘタ事ガアルガソノ他ノ例ハアルカ
- 村井委員 ソノ例ハ知ラヌ
- 吉植委員 窒素工業ニ對シソノ例ヲ當テハメレバ有利デアアル此ノ事ハ國家ノ立法手段ニ俟ツカ又ハ行政の手加減デ出來ルカノ問題ニナル、依テ研究セラレタイ
- 村井委員 水利權ハ河川法ノ適用デアアルガ、電氣事業ハ遞信省デヤル故ニ關係ヲモツ

- 東委員長 出願者多キトキニ水利權ガ少シナレバ如何ナルモノカラ先ニ與ヘルカ許可ヲ得テ未着手ノモノヲ尙繼續シテ許可スルハ如何
- 村井委員 ソノ邊ハ知ラヌ、然シ是ニハ相當ノ理由ノアルコトト思フ
- 野口委員 (不完全ナ設計書ニ依ル前言ヲ繰返ヘス)
- 技術課長 之ハ縣廳ノ實施認可ノ問題デアル、實施認可ニナレバ六ヶ月以内ニ着手シナケレバナラヌ
- 矢作委員 遞信省ハ電氣事業ニ對シ二倍ノ社債ヲ募集シ得ル立法例ノ調査アリヤ
- 村井委員 他日調査ヲシテオ目ニカケル
- 東委員長 窒素研究所ハ研究モ出來タ之ヲ何時迄モ研究所トセズ之ヲ國立ノ工業トスル場合ガ考ヘラレル、此時市場市價ノ電力ヲ買ハザル可カラザルヤ、御意見如何
- 村井委員 今ノ狀態デハソレニ依ル外已ムヲ得ナイ
- 技術課長 鐵道省ガ信濃川ノ水利權ヲ長野縣廳カラ得テイル、此例ニ農林省モ倣ヘバヨイ
- 吉植委員 先取權ノ問題如何
- 東委員長 之ハ法律デ水利權ヲトリ上ゲルハ不當ナリ
- 矢作委員 一「キロワット」ノ値段ノ調査ナキヤ
- 技術課長 ナシ
- 矢作委員 未着手ノモノデ可ナリ安イ水力アリヤ

- 技術課長 實則セザレバ安イカ否カ不明デアル
- 矢作委員 企業認可出願シテシカモ未着手ノモノヲヤメル意思ナキヤ、水力ノ量ニ依テ或物ハ地方長官、或モノハ中央官省デ取締ル意志ナシヤ
- 村井委員 不明
- 矢作委員 公有團體ノ電力買上ノ先例ノ調査アリヤ
- 村井委員 四、五縣アリ
- 東委員長 恒藤委員燐酸ノ方面ノ研究及國家ニ對スル意志ナシヤ
- 恒藤委員 窒素問題ガ或程度迄關聯スル故ニ之ガ濟ンデカラ決セラレタイ、現狀等ハ書面デ返答スルコトニシタイ
- 東委員長 野口委員、藤山委員當業者トシテノ希望助成發達ノ御意見及將來ノ意見不安懸念等ニ就テ項目條件ヲ一ツ書ニシテ書面ニテ御提出ヲ乞フ、特別委員ノ審議ハ此程度ニシテ五人位デ小委員會ヲ開キ答申案ヲ作成シ此會ニカケ本會議ニカケタイ、尙他ノ委員モ小委員會ニテ意見ヲ述ベテホシイ

一同賛成

小委員指名

- 小寺委員 矢作委員 大河内委員
- 湯地委員 齋藤委員 野口委員

散 會

三、第一特別委員會小委員會議事錄

一 小委員會(第一回)

一 協議事項「無機質窒素肥料ノ供給増加ニ關スル事項」

二 日期六月二十七日 午前十時二十分開議

三 場所農林省會議室ニ於テ

四 出席委員 (○印ハ小委員)

○小 寺 委 員

○矢 作 委 員

○大 河 内 委 員

○湯 地 委 員

○齋 藤 委 員

○野 口 委 員

阿 部 委 員

松 村 委 員

安 藤 委 員

○矢作委員 小委員長トナル

○野口委員 當業者ノ意向ヲ開陳センニ結局現在ノ發達ハ遅々タルヲ以テ之カ急發展策ヲ講スルノ要アリ之ガ然展策トシテ硫安一噸ニ對スル建設費一五〇圓、發電所建設費一五〇圓、コノ計二〇〇圓ノ全額ノ助成ハ困難ト認メラルルヲ以テ其ノ半額位ノ助成ヲ爲サレタシ

○矢作委員 ソレハ低利資金ニ依ルカ又ハ社債ノ發行ヲ資本金ノ倍額迄認メヨト云フノカ

○野口委員 何レニテモ可ナリ

○矢作委員 低利資金ナラハ如何程ノ利子ニテ可ナリヤ

○野口委員 現在ノ社債ナラバ七分五厘位ナルモ手取八分位ニナル可キヲ以テ六分位ノ手取リシテ三年以上据置ナラバ可ナラム

○湯地委員 國産振興會ヨリノ答申ヲ參酌スルガ便宜ナラズヤ

○齋藤委員 野口委員ノ助成案ニ大體賛成ナルモ尙諸機械ノ購入ニ對シテ相當ノ便宜ヲ計リ且ツ低利資金融通ノ條件ヲ出來得ル限リ便宜ナラシメ而シテ低利資金融通メ會社製品ハ其ノ數量ヲ管理局(肥料ノ)ニ通知シ管理局ハ適當ナル價格ヲ決定シ之ニ依リテ販賣セシムルヲ可トス(本件ニ關シテハ書面ヲ以テ左ノ意見書ヲ提出ス)

齋藤委員提出

空中窒素固定工業ニ關スル卑見

一、空中窒素固定工業ノ國營ハ時機尙早シ

(A) 現在ノ民間工業ヲ買收シ此レヲ國營ニ移ス可シトノ意見モ在ルガ余ハコレニ對シテ乍遺

憾時機尙早シト斷セザルヲ得ズ

理(一)由

現在民間會社ニテ「パテント」ヲ所有シ居ルモノ左ノ如シ

- (イ) カザレー式 (日本窒素肥料會社) 電力
- (ロ) クロード式 (鈴木商店關係) 石炭
- (ハ) ファウザー式 (大日本人造肥料會社) 電力
- (ニ) ハーバー式 (東洋窒素會社) 石炭
- (ホ) フランクカロー式 (電氣化學肥料會社) 電力
- (ヘ) ハーバー式ノ變形 (窒素研究所ニテ中間工業トシテ研究中)

以上

フランクカロー式(石灰窒素法)ヲ除キテモ現在五種ノ製法アリ然シテ此等ハ何レモ一長一短アリテ今直チニ何レガ優リ何レガ劣ルト云フコトヲ輕々ニ斷ズルヲ得ズ故ニ本問題ヲ決定スル迄ニハ今少ク借スニ時日ヲ以テシ只一概ニ國家的事業ナリトシテ輕々ニ移シ杯ノ事ハ餘程慎ム可キ事ト思フ肥料ヲ國營トセバヤガテ農作物少クトモ米ノ專賣問題起ラン米專賣ノ後ハ必ズ土地國有問題ヲ誘發シ來ラン此レ畢竟スルニ肥料ハ農家ノ最大資本ナレバナリ故ニ斯ル問題ニ就キテモ充分徹底的ニ調査研究ヲ極メタル後ニ非ラザレバ容易ニ肥料ノ國營ハ成シ能ハザル事ナリト信ズ

(B) 「パテント」ハ一ツニテ足ル故ニ前記ノ内又ハ其他ニ於テ充分調査研究ノ上此レナラバト認メラルル優秀ナルモノ一ツヲ得テソレヲ基礎トシテ企劃スレバ足ル而シテ幾多「パテント」ノ内其優秀ナルモノヲ撰擇買収シ他ヲ省ミザル時ハ民業ヲ撲滅又ハ壓迫スルコトニ陥ル

事ナキヤノ懸念アランモ此レニ就テハ其當時ノ價格ヲ認メ買収シテモヨシ其方法ハ容易ニ立案成シ得ルコトヲ確信ス

(C) 以上ノ如キ理由ニ依リ今日之レヲ國營ニセント其計畫ヲ進メンカ其優劣眞價ヲ決定スルニ頗ル困難ニシテ稍々トモスルト優劣混同シテ其不利尠少ニ非ラザルノミナラズ從テ其ノ買收價格ハ非常ニ巨額ニ如何ニ有利有望ナル基礎工業モ此ノ出發ヲ誤ランカ遂ニハ取返シノ附カザル禍根ヲ殘スコトニ成ルベシ此點特ニ注意ヲ要スル最大事ナリ

二、窒素研究所ヲ國營トスルコトモ時機尙早ナリ  
理由

現在研究シツツアル窒素研究所ノ製法ヲ以テ國營ニ移シ一ヶ年安母尼亞二萬噸位ノ生産計畫ヲ爲シテハ如何トノ意見ニ對シテ余ハ之レ時期尙早ナリト思フ

(イ) 同製法ハ目下中間工業トシテ研究中ナリト承知ス果シテ然リトセバ此レヲ實際工業トシテ多量生産ヲナス確信ヲ得ル迄ニハ尙相當ノ時間ヲ要スル事ト思ハル

(ロ) 斯ル不安定ノモノヲ基礎トシテ企劃ヲ成シ萬一失敗シタル時ハ此レニ參畫シタルモノハ國民ニ對シ其責任ヲ負擔セザル可ラザルノミナラズ本工業ノ發達ニ就キ大ナル支障ナリト且ツ國家ノ基礎工業ヲ誤ラシムル虞レアリ

而シテ安母尼亞二萬噸ノ生産ヲ成スニ約二、三千萬圓ノ資金ヲ要ス可シ其財源ヲ何レニ求ムルカ此ノ點大イニ考慮ヲ要ス

(ハ) 以上述べタル如ク窒素研究所ノ製法ヲ以テ直チニ國營ニ移スコトハ危險多ク其効疑ハシ故ニ更ラニ研究ヲ重ネ場合ニ依リテハ研究ノ名目ニテ尙數百萬圓ヲ投ジ例ヘバ一ケ年ニ硫安二千噸ナリ二千噸ナリ實際ニ製造シ原價採算等ヲ精細ニ調べ然ル後ニテ決行スルモ敢テ遅カラザル可ク又斯クスルガ當然ノ事ト思フ

三、空中窒素工業ノ對策

空中窒素工業ヲ現在ノ儘ニ放任シ置クフ不可ナルハ今更ラ申ス迄モナシ而シテ此ノ國家的政策ノ確立ヲ期スル方法トシテ

- (イ) 農林省内ニ空中窒素管理局ノ一局ヲ設クルコト
- (ロ) 管理委員ハ相當ノ人員ヲ官民ヨリ撰ブコト
- (ハ) 現在ノ民間會社ガ新ニ生産計畫ヲ爲ス場合此レニ要スル資金ニシテ比較的低利ニ且ツ長期ノモノヲ求ムル際ニハ管理委員會ノ決議ニ基キ政府ハ便宜ノ形式ニヨリ此レニ援助ヲ與フルコト新設會社ノ起ル場合ニモ又同ジ
- (ニ) 資金ニ對スル擔保物件ハ前記管理委員會ニテ決定スルコト
- (ホ) 電力其他企業上必要ナル條件ニ付キテハ管理委員會ノ決定ニヨリ本工業振興止能フル限リノ便宜ヲ圖ルコト
- (ヘ) 製造會社ハ右資金ニ由リ企劃シ生産シタル製品ハ管理局ニ通知スルコト

(ト) 管理局ハ生ニ原價及此レニ對スル利潤販賣價格等極メテ公平ニ査定シ苟モ一方ニ偏スル

コトナク飽迄本業ノ助長發達ヲ圖ル精神ニ則リ又一方ニ於テ低廉ナル肥料ヲ潤澤ニ供給スル

方針ヲ以テ即チ生産ト需要者ノ満足スル様ニ努ムルコト

(チ) 本工業ニ使用スル諸機械ノ輸入税ハ此レヲ免除スルコト

(リ) 優秀ナル「パテント」ト認メタル場合ハ管理委員會ノ決議ヲ經テ政府ハ此ノ權利獲得ニ付

キ援助ヲ與フルコト

(ヌ) 此ノ工業ヲ政府ニ於テ管理スルコトハ一朝有事ノ場合ニ國防上必要ナルニ勿論本工業ノ

發展上對外對内ヲ問ハズ種々惹起スル諸問題ヲ解決スルニ都合ヨキ爲ナリ

其他ノ細目ハ別ニ定ム

以上大體述べタル如ク直チニ國營トスル時ハ時機尙早ナレドモ去リトテ現在ノ儘ニ放任シ置キ

難キヲ以テ政府ニ於テ助成シ管理シ大量生産ヲ圖リ低廉、潤澤ニ供給シ以テ農產物増收、農家經

濟ノ緩和國際貸借ノ有利ヲ來タシ有事ノ際國防上ニモ其効ヲ及ボサントスルモノナリ

○野口委員 低利金融通ノ場合ニ於ケル條件如何、外國品ヨリ廉價ニ販賣セシムルノ意カ

○齋藤委員 外國品ヨリ廉價ニ販賣セシムルノ意ニ非ズ

○大河内委員 鹽專賣ノ如ク肥料管理局ヲ置キ國家自ラ販賣ヲ爲ス斯クスルトギハ價格ノ安定ヲ來シ

需給兩者ノ利益トナル又製造者ニ對スル資金融通上利便多シ尙主要肥料ノミニ付テ之ヲ行フモ可ナ



- 齋藤委員 斯クスレバ現金取引トナリ農家ハ困難ヲ來サズヤ
- 大河内委員 農民ノ組合ノ發達ヲ來スヲ以テ差支ナシ
- 野口委員 現今ノ配給狀況ハ頗ル複雑ナルヲ以テ管理局ガ出來テ全國均一ノ價格ニテ販賣セラルル  
トセバ大ニ可ナリ
- 湯地委員 大河内委員ノ趣意賛成ナルモ本問題ハ要スルニ窒素肥料ノ増加ニアルヲ以テコノ件ニ付  
テハ資金ト動力ヲ解決セラルルトニ依テ成功ナリ  
電力ニ付テハ

一、出願ノトキハ窒素工業ニ優先權ヲ與フルコト

二、從來許可シタルモノニ付テハ一定期間經過後ハ直チニ失效トシ窒素工業ニ權利ヲ附與スルコ  
ト

尙肥料ノ國營ハ金高二億ノ輸入アルノ理由ヲ以テ局ヲ設ケテマデ實行スルコトハ困難ナリ

○大河内委員 本問題ノ解決ハ實ニ農村振興ノ要諦デ單ニ金額ノ多少ノ問題モアラズ

○矢作委員 窒素ノ價格ハ外國人ニヨリテ支配セラルルハ不滿ナリ依テ内地ニ於テ窒素工業ノ發展ニ  
依リ右ノ支配ヲノガルルコトガ國家トシテ必要ナリ

○安藤委員 本問題ハ單ニ生産増加ノミノ問題ニアラズ同時ニ價格ヲ低廉ニスルノ必要アリ

○齋藤委員 内地ノ生産ヲ増加スレバ自然價格ハ低下スルモノト認ム

○田中委員 内地工業ニ對シ保護策ノ樹立ニ依リテ生産ハ増加スベシ

○野口委員 凡テノ問題ヲ解決スルニハ國營ヲ可トス大河内氏ノ意見ハ國營ノ前提トシテ頗ル面白キ  
案ナリ

○矢作委員 大河内委員說ニ賛成ナリ

○野口委員 内地事業ハ自由貿易ニテハ恐ラク大ナル發達ヲナシ得ザルベシ故ニ内地ニ發展セシムル  
ヲ可ナリトセバ國ガ助成ヲ計ルコトヲ可トス、尙獨逸ノ硫酸價格六〇圓ハ荷造費ヲ含マザルヲ以テ  
之ニ荷造費運賃ヲ加算スルトキハ一〇〇圓位ニ相當シ資本金等ヲ考フルトキハ一二〇圓見當ナラ  
ン

○小寺委員 價格ハ外國品ト同等位ニスルコトニシテ審議ヲ進メテハ如何

○湯地委員 價格ヨリ輸入ノ防遏スルヲ必要トス

○大河内委員 大體意見ノ開陳ニ依リ承知セリ、更ニ審議ヲ進ムルモ案ノ作成ハ困難ナリト思惟スル  
カ故ニ矢作委員ニ案ノ作成ヲオ願ヒシテハ如何

○矢作委員 然ラバ私ニ於テ案ヲ作成スベシ

散 會

二、小委員會(第二回)

一 協議事項「製造助成及販賣管理方策」案

二 日時八月二十日午前十時半

三 場所農林省會議室

四 出席委員 (○印ハ小委員)

- 小寺 委員
- 大河内 委員
- 齋藤 委員
- 松村 委員
- 安藤 委員
- 恒藤 委員
- 矢作 委員
- 湯地 委員
- 阿部 委員
- 村井 委員
- 鈴木 委員
- 田中 委員

○矢作委員長 立案ニ至ル經過報告

立案ノ爲十數回幹事ト合議シ安藤委員ハ關係官トシテ出席シ有益ナル意見ヲ加ヘラレタ  
 小委員ノ意向ニ從ツテ立案シタモノデアアルガ盛夏炎暑ノ爲メ能率ノ進マナカツタ事ト外國ニ於ケル  
 空中窒素固定肥料ノ生産費ノ調査及固定窒素肥料ト對抗スル智利硝石ノ價格、販賣組織調査ニ時日  
 ヲ要シ且不肖ハ技術上ノ知識ナキ爲メ委託ヲ受ケテヨリコノ方面ノ研究ヲ要シタルタメ案ノ作成ノ  
 遅クレタノハ(幹事ノミニ任ズレバモツト早ク立案シ得タデアラウガ)不肖ノ責任デアアル  
 (草案配布)

無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策(案)

肥料ノ價格ヲ低廉ナラシムト共ニ之ガ安定ヲ期スルハ現下我國農家經濟ノ實狀ニ徴シ焦眉ノ急務

トスル所ナリ而シテ各種肥料ノ中無機質窒素肥料ノ需要ハ輒近特ニ著シキ増進ヲ示シ最近三ヶ年  
 平均ニ於テ其ノ量三十七萬噸ノ多キニ達シ之ガ窒素含有量ハ全販賣肥料中ノ窒素總量ノ四割餘ヲ  
 占ムルノ狀況ナルガ斯種肥料ハ從來一般ニ使用セラルル有機質肥料ニ比スレバ現在ノ市價ヲ以テ  
 スルモ尙低廉ナルヲ以テ其ノ需要ハ今後ニ於テ益々増大スルニ至ルベキハ疑ヲ容レズ而シテ之ガ  
 將來ニ於ケル需要ノ程度ハ食糧其ノ他農産物ノ増殖ニ伴フ肥料消費ノ増加及經濟的肥料ノ選擇ニ  
 因ル消費割合ノ變化等ヲ考察シ近ク十年後ニ付テ之ヲ見ルモ其量八十萬噸ヲ下ラザルベク更ニ其  
 ノ後ニ於ケル需要量ノ莫大ニ上ルベキハ想像ニ難カラズ故ニ之ガ價格ヲ低廉ニシ且ツ安定ナラシ  
 ムルコトハ實ニ夫レ自體重要ノ事項タルノミナラズ本肥料ノ價格ガ一般窒素肥料ノ價格ヲ支配ス  
 ルノ作用ニ徴シ特ニ意義アルモノト謂ハザルベカラズ  
 翻ツテ我國ニ於ケル無機質窒素肥料供給ノ狀況ヲ見ルニ其ノ國內生産ハ現在僅カニ十七萬五千噸  
 (空中窒素固定肥料十五萬五千噸副生硫酸安母尼亞二萬噸)ニ過ギズシテ需要ノ過半ハ之ヲ外國ノ  
 生産ニ依頼シ年々獨、英、米ノ諸國ヨリ巨額ノ輸入ヲナシツツアリ然ルニ世界ニ於ケル無機質窒  
 素肥料ノ價格ハ斯種肥料ノ供給ノ大部分ヲ支配スル智利ニ於ケル智利硝石ノ國家的大「シンジケ  
 ート」竝ニ獨逸ヲ中心トスル歐洲諸國及米國ノ一部ヲ包容スル石灰窒素及硫酸安母尼亞ノ販賣聯  
 盟ノ獨占的勢力ニ依リテ決定セラルルガ故ニ我國ニ於ケル斯種肥料ノ價格ノ低下ト安定トヲ庶幾  
 スル上ニ於テ右ハ甚シキ障害タリ而モ我國生産者ハ今日未ダ此等販賣聯盟ニ加盟スルニ至ラズト  
 雖歐米ノ製品ノ我國ニ於ケル販賣價格カ歐米ニ於ケル夫レニ比シ之等諸國ヨリ我國迄ノ運賃其ノ

他ノ經費丈高價ナルヲ利用シテ其ノ生産業ヲ營メントスルガ如キ消極的態度ヲ持スルヲ以テ現狀ニ依リ推移スルニ於テハ之等肥料價格ノ低下及安定ノ目的ヲ達スルコトハ到底之ヲ望ミ難シ故ニ適當ナル方策ヲ講ジ斯業ノ健全ナル發達ヲ期スルハ刻下ノ急務ニシテ獨リ農業上ノ立場ニ於テノミナラズ國際貸借ノ改善主要工業振興ノ上ヨリスルモ將又國防上ノ見地ヨリスルモ右ハ極メテ肝要ノ事項ト謂ハザルベカラズ

而シテ今我國ニ於ケル無機質窒素肥料生産増加ノ可能性ニ付考察スルニ其ノ最重要ナル空中窒素固定肥料ノ製造事業ニ在リテハ製品ノ主要原料タル空氣及水ノ無限ニ利用シ得ラルルノ點ハ勿論製造工程上缺クベカラザル電力又ハ石炭等ノ如キハ有利ニ之ヲ使用シ得ルモノ少シトナサズ但低利長期ノ資金ヲ得ルノ困難ナルガ如キ機械工業ノ進歩未ダ充分ナラザルガ如キ多少不利トスベキ點アルヲ免レズト雖國家的政策ニ依リテ之等不利ノ事情ヲ除去スルニ於テハ我國ノ優秀ナル事業經營者及技術者ノ力ハ能ク本事業ヲ世界の標準ノ下ニ成立セシメ得ベク從テ近キ將來ニ於テ本肥料ノ生産ハ國內自給ノ域ニ到達シ得ルハ勿論更ニ進テ國外輸出ノ餘力ヲ養ヒ以テ有事ノ際多額ノ固定窒素ヲ一時軍需ノ爲メニ收容セララルルモ尙國內ノ肥料供給ヲ確實ニスルヲ得ルノ程度ニ之ヲ發達セシムルコト敢テ至難ニ非ザルベシ

爰ヲ以テ此ノ際本事業ノ經營ヲ助長スルト共ニ肥料價格ノ低下及安定ノ目的ヲ的確ニ達成センガ爲左記要項ノ實施ヲ必要ト認ム

## 記

- 一、新ニ空中窒素固定肥料ノ製造ヲ開始シ又ハ之ガ從來ノ規模ヲ擴張セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト
- 二、政府ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ許可ヲ受ケタル事業ニ對シ低利資金ヲ貸付ケ又ハ其ノ事業ノ爲發行スル社債ノ償還ニ付保證ヲ爲シ得ルコト
- 三、空中窒素固定肥料ノ製造ヲ爲ス株式會社ハ政府ノ許可ヲ得テ拂込資本金ノ二倍迄社債ヲ發行シ得ルコト
- 四、新ニ發電ノ爲水利權ヲ許可スル場合ニ於テハ第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ對シ優先的ニ之ヲ附與スルコト既得ノ發電水利權中事業未着手ノモノニ付テモ適當ノ整理ヲ行ヒ同様優先的附與ノ途ヲ開クコト
- 五、空中窒素固定肥料ノ製造裝置ニ必要ナル機械類ノ輸入税ヲ免除スルコト
- 六、空中窒素固定肥料、副生硫酸安母尼亞及智利硝石ハ之ヲ政府ノ專賣トスルコト
- 七、前項ノ物件ノ輸入、輸出、移入又ハ移出ヲ爲サントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト
- 八、政府ハ必要アリト認ムルトキハ第六項ノ物件ヲ輸入シ又ハ商人ヲ指定シテ之ヲ輸入セシムルヲ得ルコト
- 九、政府ハ第六項ノ物件ノ製造者トノ間ニ豫メ一定ノ期間内ニ買入ヲ爲スベキ數量ヲ協定スルコト
- 十、國內生産品ノ買入價格ハ生産費及世界的市價等ヲ斟酌シ政府ニ於テ適當ニ之ヲ定ムルコト

十一、買入代價ハ政府直接ニ外國ヨリ輸入ヲ爲ス場合ヲ除クノ外一年内ニ償還スベキ證券ヲ以テ之ヲ交付シ日本銀行ヲシテ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ割引カシムルコト

十二、賣渡ハ政府自ラ之ヲ爲シ又ハ政府ノ指定スル元賣捌人及小賣人ヲシテ之ヲ爲サシムルコト

十三、政府ノ賣渡價格ハ買入原價ニ貯藏及配給上必要ナル經費ヲ加算シタル額トシ元賣捌人及小賣人ノ賣渡價格ハ各其ノ買入原價ニ一定ノ營業利益及運賃諸掛等ヲ加算シタル額ヲ基礎トシ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ムルコト

十四、政府ハ第六項ノ物件ノ製造業者及販賣業者ノ業務及財産ニ對シ検査監督ヲ爲シ得ルコト

○大河内委員 御調査ニ依ル内外國ノ空中窒素固定肥料ノ生産費ニツキ調査ノ結果ヲ伺ヒタシ

○矢作委員長 「ビステリツク」 「コルソー」等ノ石灰窒素工場ハ一九一五年調ニヨルト硫安ノ形トシテ窒素一「キロ」ニツキ七〇「ペニヒ」ニテ、「バジツシユ、アニリン、ソーダ」工場ニ於テハ硫安ノ形トシテ窒素ハ一「キロ」七〇「ペニヒ」ヨリ以上ナルコトハナカツタト云フ。

ソレト比較シテ智利硝石、「ノルエー」硝石ハ戰前ノ卸賣値段ハ窒素ガ一三〇「ペニヒ」デアツタ序デニ申上グルガ空中窒素固定工業ニ關スル技術ノ進歩ハ既ニ山頂ガ見エ最近ニ於テハ出來上ツタ窒素ヲヨリ以上使用ニ便ナル形ニ作り上グルコトヲ研究スルニ在ツテ此ノ工業ニツイテハ危惧スル必要ハナイト云ハレテ居ル

○小寺委員 矢作氏調査報告ノ出所如何、又コレハ矢作氏一人ノ意見ナルカ、或ハ又總テノ人ノ意見

○ナルカ

○矢作委員 戰時ノ監理員ガ獨乙ノ工場ヲ詳細ニ調査シコレヲ外國ノ化學雜誌ニ報ジテキルモノガアル、コレヲ纏メタモノデ秘密ハナイ、「ウエーゼル」氏ノ著書ニ依ツタノデアアル

○大河内委員 ソノ本ハ少シ杜撰デアアル

○矢作委員 他ノ本デモ「オツパウ」工場デハ窒素一基六〇「ペニヒ」デアアルト書イテアル

○大河内委員 此ノ種工業トシテハ、ロイナ工場ガ最も重要視スベキモノデアアル

○矢作委員 案文ヲ朗讀シマス

○横山幹事(案文朗讀)

○鈴木委員 肥料ノ製造ハ會社ニヤラセ政府ハコレヲ買上ゲ販賣シ國內生産デ不足ノトキハ外國カラノ買入ハ政府ガ行フヤ

○矢作委員 政府ガ直接買フカ又ハ商人ヲシテ買入セシム

○鈴木委員 輸入スルトキニ價格ヲ決メルニ不便ハナイカ

○矢作委員 煙草專賣ノ如ク内外國ノモノヲ混ゼテ政府ガ賣レバ支障ナカラウ

○鈴木委員 煙草ハ少量ナルモ肥料ハ輸入ガ多ク内地産ガ僅少故外國相場ノ影響ガ大キイ故ニ内外品ノ關係如何

○矢作委員 英國ハ戰中智利硝石ノ買入ニ於テ商人ヲシテ行ハシメタガ政府ヨリモ安價ニ輸入シ得タ

例ガアル

獨乙ノ販賣組合ニテハ價格ハ政府ガ委員會ニテ決定シ豫メ公表シテキル爲掛引ノ困難ガナイ

○鈴木委員 買上値段ハ何ヲ標準トシテ定ムルカ

○矢作委員 獨乙デハ又工場ノ擴張ニ依リ固定窒素肥料ガ過剩ナル故ニ賣ラナケレバナラナイ

○鈴木委員 輸入品ハ安ク内地品ガ高イ場合ハ如何

○矢作委員 外國カラ來ルモノハ運賃ヲ要スル故ニコノ値段モ含マレテキルガ今日デハ外國ヨリ買入

レルモノノ方幾分廉價デアル、然シ日本ノ工場ガ今ノ如ク消極的デナク少シク工業ノ合理化ヲスレ

バ内地ノ生産費ヲ安クシ得ルト思フ

○鈴木委員 日本ニ於ケル技術ノ進歩ニ妨ゲハセヌカ

○矢作委員 買入値段ハ合理的ニ定ムル故ニ怠慢ナル工場ハ成リ立たヌコトニナルカラ工場ハ最善ノ

努力ヲ要スル

○大河内委員 日本ノ製鹽業ハ專賣ヲ行フ爲メニ發達ガ遅クレタノデアツテ專賣制度ハソノ工業ヲ如

何ニシテモ衰微サセル

○矢作委員 外國ノ「シンジケート」ハ政府ガ直接ニ關係ハシナイガ一種ノ專賣制度デアル故ニソノ例

ニヨル譯デアル、現状デハ智利硝石ノ輸出税及英獨生産者ニ對シ「アットリビユート」ヲ拂ハナケレ

バナラヌ

○大河内委員 鹽專賣ニヨル値段ノ高低ヨリモ製鹽業ノ不振ガ問題デアル

○矢作委員 ソレハ專賣ノ實行法ガ惡イ爲メデ是ハ此點ヲ充分考慮シタモノデ進歩ニ努メル工場ハ延

ビ初メヨリ生産費ノ高クナルヤウナ工場ハ成立サセズ生産費ノ廉ナモノヲ擴張スル意デアル、從ツテ内容ヲヨク検査シ努力スル工場ヨリ買ヒ、然ラザルモノヨリハ買ハナイ

○鈴木委員 製藥、染料、醋酸、リスリンノ製造ヲ政府ガ保護シタニモ拘ハラズ之等工業ガ立チ行カ

ナカツタ例モアリ發展ノ餘地アル日本ノ窒素固定工業モ此ノ轍ヲ踏マザルカ

○矢作委員 染料製造ヲ保護シタ爲新ラシキモノノ出來タ例ガアル、又染料工場ハ火藥工場ニナリ得

ル便ガアル

○大河内委員 アレ丈ノ金ヲ使ツテアレ位ノ仕事ヲシタノデハ大失敗デアル

○鈴木委員 寧ロ自由競争ノ硫化染料ノ製造カ残ツテキルノハ不思議デアル

○矢作委員 勿論ソノ點ヲ考ヘタガ現状デハ農民ハ何時迄モ高價ナ肥料ヲ買ハナケレバナラナイ、一

一○圓位デ良イモノモ運賃諸掛ヲ合セ一三○圓位ニヤルヤウナ譯デ日本ハ常ニ高價ナ運賃ヲ負擔シ

テキルノデセメテ運賃丈デモ負擔ヲ免レタイ

○鈴木委員 政府ガ保證ヲ與ヘルト件々工業者ガ勉強シナイ

○大河内委員 兎ニ角專賣制度ハ改革スル必要ガアル

○矢作委員 今迄ト違ツテ事務官ヲ入レズ技術官ニヤラセヤウ

○大河内委員 コノ制度ニヨルト内地品ヲ是非買ハナケレバナラナイヤウニナツテキルガ其點如何

○矢作委員 會社ノ經營狀態資産等ヲ調査シテ買フモノナレバ必ズシモドノ會社ノモノモ全部買フ理

デハナイ

○大河内委員　コノ案ニヨル如ク内地品ヲ是非買フ必要ナク安イ外國品ヲドンドン買フガヨイ

○矢作委員　英、米、獨ノ各「シンジケート」等賣手ハ少クモ四ツ位ニ分レテキルガ買手ガ日本一人デアレバ實際上經濟上ヨリ推論スルト價格ハ安クナル

○田中委員　參考ノ爲メ製造ニ志スモノトシテ申上ゲルガ、此ノ問題ニ關シラハ甚ダ煩悶シテキル、國家ハ先ヅ肥料ノ自給ニ主ヲ置カケレバナラヌ、然シ外國ノモノノ方ガ安イガ安クトモコレ許リテ頼ルハ良クナイ、此様ナ意味デ自分モ幾分ナリトモ製造シテキルノデアル、ガソレハ或程度ノ決心ヲ以テヤルノデ先輩野口氏モヤラレテキル、歐洲ノ事情ハ自分ニモ判明シナイ所ガアル、自分ハ硫安三萬噸位ヲ作ル設備デアル、之レニ六百萬圓ノ固定資本ガ要ル、頗ル生産費問題ニ困ツテキル、外國ノモノハ一〇〇圓ヲ割ルコトガナカラウト云フ見地カラ始メタノデアアルガ日本ノ生産ガ増加スルニ從ツテ外國品ニ益々恐怖ヲ感ズル

○今約三〇萬噸ノ輸入ガアル、ソレガ多イ間ハ日本ハ一ノ恐怖ヲ感ジナケレバナラヌ、日本ノ生産ヲ増スニハ專賣ニ依ルガソレハ事業ノ進歩ヲ促サナイト云フコトニナル、ソレデ獎勵助成ト云フ程度ニシタラ何ウカ、コレニモ制限ガアル

○一噸當十圓カラ十五圓ノ生産獎勵金ヲモラヒ外國ノモノニ負ケナケレバヨイ、外國爲替ニ付テモ三七弗ガ四七弗ニナツタツノ結果ヨリ以上苦シク、外國ハ窒素ノ大「シンジケート」ガアリソノ恐怖モ大デアル、故ニ進ンデ何十萬噸ヲ吾々ニ於テ製造スルニハ臆病タラザルヲ得ナイ、從テ助成獎勵丈デモ心配デアル

ル

專賣又ハ助成ノ何レニヨルカガ心配デアリ、又當業者トシテハ安クナルコトガ心配デアル、然シ安クナルコトガ必要デアル

自給ガ目的ナレバ相當ノ利ガアレバ之ニ満足シナケレバナラヌ、關稅ハ問題デアル、暫ク生産獎勵或ハ低利資金融通等ヲ取計フタラヨカラウ、安イモノノミヲ目的トスレバ外國ヨリ廉價ノモノヲ買フガヨク自給ガ目的ナラバ内地デ安心シテ仕事ノ出來ル方法ガ必要デアル

專賣トスルト管理スルニ大ナル費用ヲ要スル、假ニ五〇萬噸ヲ政府ガ買入レ分配スルニ要スル經費ハ少クナイ、其中三〇萬噸丈獎勵金ヲ出セバ一噸一〇圓トシテ三百萬圓デ他ハ研究費ニ向ケレバヨイ助成獎勵ハドウカ然シ獎勵金ノ交付額ガ時々刻々變化スル様ナコトハ不安デアツテ當業者トシテ回答ニ苦シム

○大河内委員　硫安三萬噸ニ固定資金六百萬圓要スルカ

○田中委員　硫安三萬噸ニ對スル固定資本六百萬圓ハソノ中ニ「パテント」料モ含ム

○大河内委員　硫安一噸ニ付二百圓ノ固定資本ヲネカシ、ソレニ對シテ一二〇圓ノ價額ノモノヲ製造スルノデハ引キ合フマイ一般ニ固定資本ニ對シ生産品ノ價格一、七デナケレバナラヌ

○田中委員　然モ前ノ計算ニハ動力ガ加ヘテナイ

○矢作委員　先ヅ安心ノ爲メ一言云ヘバ何時迄モ硫安ヲ作ラズ新ラシキモノ例ヘバ「磷酸」アンモン「ラ」作ツタラヨカラウ、獨逸ニテ石灰窒素ノ製造ガ成立セズシテ工場ガ電氣會社ニナルモノガアリ日本

ニモソノ可能性ガアル

○田中委員 第一日本ノ資本ガ高イト思フ、工業ヲ起スニ因難ナノハ資本ノ問題デアル、定期預金デモ六分利デアル、危険ナ事業ニ對シテ一割シカ利廻リガナイ

○矢作委員 農林省ノ主要ナ研究目的ハ日本ノ農業ハ利益ノ少ナイ産業デアルカラ之ニ廉價ノ肥料ヲ供給セントスルニアルコレニ工業發達、國防問題ガ附帶シテイルノデアツテカカル農民相手ノ工業ハ餘リ儲ケナイデ欲シイ

○田中委員 儲ケガ少ナイ故ニ我々トシテヤメタイ位デアル

○矢作委員 本案ノ目的ハ總テノ肥料ガ安ク農家ニ供給出來レバヨイ

○田中委員 當業者トシラノ意見ヲ參考ニ云ツタ迄デ農林省ハ肥料ガ廉價デアレバ自給ガ出來ナクテモヨイトスルカ、自分ハ自給ガ根本デアルト考ヘル、安價ノモノヲ買フ丈ナラバ幾ラデモ買ツテ見セルガ然ラバ内地工業ハ倒レルニ違ヒナイ

○矢作委員 矢張り主タル目的ハ農民ニ肥料ヲ安クスルコトデ商工省ノ重要工業ノ審議ニ就テハ別ノ考ガアルカモシレヌガ、農林省ハ根本ニ安價ヲ目的トシ之ヲ行ヒツツ自給シタイ、戰中ハ無理ニモ自給スルガ平時ハ漸進的ニヤツテ行ク、安ク供給シツツ自給シ得ルヤウニスルコトハ專賣デナシ得ルト思フ

○大河内委員 給局專賣ニスルト内地工業ハ倒レルコトニナリ、肥料ヲ安クスルノミナラ内地生産ハ成リ立タヌ、ココニ矛盾ガアル

○矢作委員 野口氏ノ言フ如ク噸當六〇圓、運賃二〇圓デ計八〇圓デアアル

○田中委員 六〇圓デ出來レバ日本萬歳デアアル、自分ハ自給問題以外ニハ根低ガナイト思フ

○矢作委員 獨逸ノ「シンジケート」ノ賣値ハソノ生産費ノ比較的高イ會社ニ引キ合フ價格デ賣ル日本デモ運賃諸掛ナルモノヲ障壁トスルガ如キ退嬰的ナ弱キ考ヘテ棄テテ日本ハ印度位迄モ窒素肥料ヲ賣リニ行ク位ノ大キイ考ヘガ欲シイ

○田中委員 日本ハ四〇萬噸モ四五萬噸モ消費スルノニ一〇萬ヤ一五萬噸ノ生産ニスギナイ

○間部幹事 生産費調査書提示説明

○村井委員 水利權ノ獲得ニツキ優先權ヲ與ヘルコト(第四項)ハ實行上懸念ガアル

○矢作委員 一般ニ電力トシテハ工業動力用電燈用トアルガ後者ハ消費者ノ負擔ガ大デアアルガ肥料製造用ニハ安ク供給セネバナラヌ故結局都會ニ近キ電力ハ主トシテ前者ニ向ケラレ、然ラザル人口中心ニ遠イ所ノモノ、工場ニ近キモノハ肥料製造ニ用フルニ適切デアラウ、遞信省モコノ種ノ優先權ハ與ヘルト思フ

○村井委員 何百哩ノ遠方カラ幾多ノ電力ヲ集メル事實ガアル然ルニ安イ動力ヲ集メルコトハ何處ノ希望デモアツテ主旨ハ分ツテキルガ「バブリック」ニナルトコレヲ排除シテモ出來ルモノトハ云ヘヌ、水利權ヲ許ス點ヨリ見レバ「優先」ノ代リニ「便宜」ヲ與ヘルトシタ方ガヨカラウ、優先的ヲ他ノ餘裕アル言葉ニ代ヘタイ

○矢作委員 コノ案ニテ支障ナイト思フ、化學工業上「アムモニア」ノ製造ニ適當ナル水力ガアレバコ

レヲ考慮シ比較的經費ノ多イ電力ハ用ヒヌ、成ル可ク行政官ノ手心ニマカセズ合理的ト思ハルル所  
ヲ向ケル

○湯地委員 五分五分ノ事情ノ下ノモノニツキ結局便宜ヲ與ヘルコトニナル

○村井委員 優先ハ絶對的ノ意味カアリソシナモノデハナカラウ

○大河内委員 窒素固定ニハ果シテ幾何ノ電力ガ必要カ、成程石灰窒素ノ製造ニハ全ク電力ニヨル外  
ハナイガ他ノ合成法ニヨル窒素固定ガ盛ントナル傾向ニアリ、野口氏ノ「カザレー」法ハ水力ニヨル  
ガ「クロード」法、「ハーバー」法ハ水力ヲ要サヌト云フ、コレニハ石灰瓦斯ガ必要デアアル然ルニ日本  
ニモ「クロード」法、「ハーバー」法ガアルニ不拘何故「カザレー」法ニノミ要スル水力ニ付キテダケ重  
キヲ置クカ製鐵所ノ骸炭爐瓦斯ヨリ生スル窒素四〇%ヲ含ム瓦斯ヲ用フルモ可、水力電氣デハ一立  
方米ノ水素ヲ得ルニ水力丈デ(二二八厘トシテ)四錢要ルト思フ、然ルニ製鐵所ノ場合ニハ一錢五厘  
カラ一錢二厘デ充分デアアル、優先、便宜ハ兎モ角トシテ骸炭事業ニツイテモ本會ニテ考慮シ度イト  
思フ

○矢作委員 大河内氏ノ言ハ尤モデアアルガ、日本ノ現状デ「ブラウンコール」ヲ使フ方ガ有利ナレバ贊  
成スルガ製鐵所廢瓦斯カラノ水素ノ量ハ限ラレテキテ硫酸ノ生産ニハ不足デアアルカ故ニ日本ハ電力  
ニヨルモノヲ盛ニシタイ

○大河内委員 日本全國トシテ「コークス」廢瓦斯ガ製鐵所丈デ一〇萬噸ノ硫酸ヲ作ルニ足り民間ヲ加  
ヘ二五—二六萬噸位出來ルカラ兩方ヲ考ヘ度イ

○矢作委員 政府ノ方針トシテハ電力ヲ盛ニシタイ

○間部幹事 電力許リデナク廢瓦斯モ用フル所ガアルノデソノ點モ考ヘテ案ヲ作ツタ

○湯地委員 案ノ本旨ハ肥料代ヲ安クスルコトデアアルガ國際貸借關係國防ノ點モ考ヘナケレバナラ  
ヌ、外國ノ協定價ガ内地ヨリモ安イ場合ニハ外國ノモノモ買フコトニナル、然シ肥料當局者ガ見テ  
内地ノ技術ガ世界ノ平準ニ立チ得ルカ否カガ專賣ニ入ル第一理由デアアルソレハ確カデアアルカ否カ伺  
ヒタシ

○間部幹事 結局ハ生産費ノ問題デアアル生産費ハ電力法ニ依レバ噸百圓デ之ニ機械ノ輸入税ヲ免除シ  
低利資金ヲ融通スレバ九〇圓迄ニ下ゲ得ル、獨逸ノ生産費ハ硫酸一噸六〇圓之ニ運賃ト包装費トヲ  
加ヘルト九〇圓ニナル、獨逸ノ「ダンペン」ノ場合以外ハ九〇圓以下ニハナリ得ナイ、故ニ之ニ依  
レバ拮抗シ得ル

○湯地委員 コレハ現状デアアルガ將來モカクノ如クナリヤ

○間部幹事 六〇「ペニヒ」ハ戰前ニ出來タ好況ナ會社トシテノコトデアアルガ故ニ新シイ會社ハ六〇  
「ペニヒ」以下デハ恐ラク出來ナイ技術上ノ進歩ガ同様トセバ對抗シ得ル

○矢作委員 獨逸ハ國デ資本ヲ出シタ會社ガアル、之ハ石灰窒素ノ工場デ硫酸トシテノ窒素一噸七〇  
「ペニヒ」デアアル而シテ之ガ損ニナラヌ様ニ値ヲ協定スルガソノ點カラミテモ獨逸モノハ値ガ下ルマ  
イ

○田中委員 各國ニハ聯盟ガアリ品物ガ過剩トナレバ或ハ價格ニ關セズ賣リ來ルカモ知レヌ兎ニ角何



レニシテモ生産費ニ付テハ及バナイトシテモ自給ノ途ヲ付ケ相當ノ生産ヲ増シテ行ク爲ニハ事業ノ助成アリタシ

休憩

午後再開

○間部幹事 石灰窒素ニ就テモ考慮セリ、之ハ安價ナレドモ施用上困難ナル爲施用行ハレズ、然シ將來ノ石灰窒素ノ改善ニ俟ツテ考慮スベキデアル、石灰窒素製造ハ或期間繼續セル電力ニテ事足ル故ニ餘剰電力ヲ利用スルモ可ナリ。従ツテ生産費安クソレヲ電力一「キロ」三厘トシテ裸ノ生産費一噸ニツキ三十三圓ニ過ギナイ、内地ニテ硫安ヲ作ルニ要スル電氣ヲ得ルノ見込ナクトモ石灰窒素ニスレバ充分ヤツテ行カレルトモ考ヘラレル故ニ石灰窒素モ考慮ニ置カレタイ餘剰電力ニ付テハ明瞭デナイガ電氣局ニ依頼シテアル故ニ何レ報告ヲ得ルト思フ

○大河内委員 石灰窒素製造ニハ何程ノ石灰及石炭ガ要ルカ

○川崎技師 石灰窒素一噸ニ對シ二・一八噸一噸代二圓八十錢トシテ四圓七十錢石炭ハ〇、七五噸一噸十二圓トシテ九圓(主要販賣肥料ニ關スル調査提示)デアル

○間部幹事 群馬縣ハ盛ニ石灰窒素ノ施用量ヲ増シツツアリ、一毛作田及濕田ニハ適スル様ガアル、石灰窒素ハ硫酸安母尼亞ノ施用ガ土中ニ硫酸ヲ殘留セシメルニ對シ石灰ヲ殘ス利ガアリ其他消毒的ノ效果ガアル

○田中委員 石灰窒素ハ配合シテ用フルカ

○鈴木委員 單用又ハ過磷酸石灰或ハ米糠ト混合シテ使用ス

○川崎技師 配合肥料ニ用フルハ極稀デ多クハ變成セシメテ用フ

○間部幹事 單用デハ約二萬噸位デアル

○小寺委員 石灰窒素ヲ硫安ニ變成スルニハ二十五圓ヲ要ス従ツテ石灰窒素ノ施用ヲ奨メルコトハ有利デアル

○間部幹事 コレナレバ四千噸位ノ工場デヨク大規模デモ大シテ生産費ヲ減ジナイ

○大河内委員 餘剰力ヲ三厘位デ石灰窒素製造ヲナス所アリヤ

○川崎技師 コレハ計算上デアル

○大河内委員 現在石灰窒素ノ生産ハ今デモ餘剰電力ヲ利用シテキルト稱シテ居ル

○川崎技師 硫安ニ比シ一割二割ハ安イ

○田中委員 窒素含有量ハ

○川崎技師 二〇%グライ

○鈴木委員 商工省ノ商工審議會ニ於テ此問題ハ如何ニナリツツアルカ

○大河内委員 未ダ決定シテキナイ、今ノ「ハーバー」法ノ特許ノ一ツヲ東洋窒素ガ有シソレハ加壓ノ下ニ「カタライザー」ヲ用ヒ加熱シテ元素ヲ化合サセル特許デアル之ヲ文字通りニ解釋スレバ他ノ種々ノ方法ハ成立セヌ譯デアル今商工省ガ審議シテ萬一止ムヲ得ナイ場合ハ法ニヨリ「パテント」ヲ取リ上ゲルト云フ、カカル莫然トシタ特許ハ獨逸ニナイ日本丈ニ存スル特許ヲ結局特許局デハソノ許

可ノ經過ヲ調査スルコトニシテアル、今此特許ニ從ツテ訴訟スレバ他ノ會社ハ溯テ當初ヨリ賠償サセラレルコトニナル

○鈴木委員 結局「ハーバー」法ガ日本ヲ欺イタコトニナル

○大河内委員 然シ斯ル廣義ニ依テ許シタノデハナカラウ

○齋藤委員 日本ニ「ハーバー」法ノ特許ガアル爲メ英國法ハ大體「ハーバー」法ニ依ルモノナル故英國物ハ日本ニ來ナイ、獨逸物ハ「ハーバー」法ノ口錢ト三井三菱ノ口錢デ六圓カカル英國物ハコレヲ要サナイ故ニ七圓五十錢位安價デアル、從ツテ英國物ハ安ク本年ハ今迄ト正反對ニ英國物ガ八〇%入ツタ、外國デハ此特許法ヲ相當重要視シテキル、今ノ値段ハ一二〇圓位デアル

○大河内委員 特許ノ事ガ判明シナケレバ審議出來ズ

○齋藤委員 東洋窒素組合ノ特許ハ餘リ嚴シク考ヘナケレバヨイ

○大河内委員 之ヲ考ヘナケレバ東洋窒素組合ノ特許ハ無意味ニナル之ヲ嚴格ニ言ヘバ商工省ガ困難ニナル

○矢作委員 特許法ニヨレバ特許ヲ有シ之ヲ實施セザレバ無効ニナル譯ナリ

○大河内委員 外國人ノハ然ラズ外國人ハ此特許ヲ公告スレバ實施スルコトニナル、實施セザルノミデハ取り上ゲズ、但シ公益上有害ノ時ハ取り上ゲル

○矢作委員 案ニ就テ審議サレタイ

○大河内委員 今日見タ丈デアアルカラ今一度審議スル事ニシテハ如何

○田中委員 大河内説ニ賛成ス

○湯地委員 草案中「製造ヲ開始ス」トアルハ會社建設ノ際ヲ意味スルヤ

○矢作委員 然リ(大河内氏ノ小委員會ニ於ケル所論ノ速記ヲ朗讀)大河内氏ノ只管理ト云フハ如何ナル方法ナリヤ

○大河内委員 外國カラノ輸入ノモノハ政府デ買上ゲテ内地ノモノハ可成政府デ買受ケ政府ノ手デ農民ニ賣ル

○矢作委員 政府ノ販賣ト自由販賣トノ兩方ヲ認メルモノナリヤ、カクスルト販賣ノ費用ガ増シ社會ノ負擔ガ多クナリ消費者ハ困ル

○大河内委員 然スルト民間ハ政府ト競争セズ結局政府ノ一手販賣ニナル

○湯地委員 延期スルコトニシテハ如何

○矢作委員 考ヘテ見ルコトトスレバ何時迄考ヘルカ

○齋藤委員 商工省トノ關係如何

○矢作委員 ソレハ政府ニテ考ヘレバヨシ

○阿部次官 未ダ充分ニ考ヘヌガ兩者ガアマリカケ離レルト困ル

○矢作委員 次回ヲ九月十日頃ニ開イテハ如何

一同異議ナシ

散會

第一特別委員會小委員會(第三回)

一 協議事項「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案

二 日時昭和二年九月十日午前十時四十五分

三 場所農林省會議室

四 出席委員 (○印ハ小委員)

○小寺房治郎

○大河内正敏

○齋藤藤四郎

阿部 壽 準

安藤 廣 太郎

鈴木 梅 太郎

田中 榮 八郎

○矢 作 榮 藏

○湯 地 幸 平

○野 口 遵

松村 眞 一郎

村井 治 郎 吉

恒 藤 規 隆

○矢作委員長 次官及局長ハ少シ御出席ガ遅レルトノオ話故ニ開會スル事ニ致シマス

○間部幹事 オ手許ニ郵送致シマシタ説明書ヲオ届ケ致シマシタ理由ハ前ノ小委員會デ小委員長ヨリ配布セラレタ草案ニツイテ御議論ガアツタケレドモソノ際立案ノ經過ヲ説明スル期ヲ得ナカツタ、ソノ後ニ至リ立案ニ至ル迄小委員長ノ指導ニヨリ調査シ又ハ考ヘタ事ヲ取纏メテ提出シタ譯デア、ル、之ハ立案ニ至ル迄ノ原稿ヲ取纏メタモノデア、又小委員長ガ引續キ旅行中デアツタ故ニ之ヲ配付スルニ付豫メ小委員長ノ了解ヲ得テ居ナカツタ

「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」ニ關スル説明書

一、問題ノ要點

如何ニセバ我國ノ農民ニ對シ硫酸安母尼亞、石灰窒素等ノ如キ無機質窒素肥料ヲ最廉價ニ供給シ得ルカ而モ其ノ市價ノ變動ヲ最小限度ニ止メ得ルカ、是問題ノ要點ナリ  
肥料調査委員會ニ於テ空中窒素固定肥料ノ供給ニ付考究スル場合ニ於テハ固ヨリ國防上ノ見地、重要工業振興、國際貸借改善ノ立場等ニ付テモ深甚ナル考慮ヲ費スベキハ當然ナリト雖就中上述肥料價格ノ低下及安定ヲ以テ其ノ主眼點ト爲サザルヲ得ズ

二、需給關係

硫酸安母尼亞ノ如キ無機質窒素肥料ガ我國ニ施行セラレタル起源ハ相當古キコトニシテ恐ラク明治二十五年頃ヨリ多少ノ輸入アリシモノノ如ク、明治三十三年ヨリハ輸入統計表上獨立ノ一項ヲ成スニ至リ、同年千七百四十一噸ヲ英國ヨリ輸入シ爾來漸次其ノ需要ヲ増加シ來レリ  
試ニ硫酸安母尼亞ニ付其ノ消費ノ傾向ヲ見ルニ既ニ歐洲大戰開始以前タル大正三年ニ於テ消費量十二萬一千噸ニ上リ歐洲戰爭中ハ海外ヨリノ輸入杜絶等ノ原因ニ因リ一時減少ヲ來シタト雖平和ノ克復ト共ニ再ビ増加ノ機運ニ向ヒ大正八年ニ於テハ十八萬噸ノ消費ヲ見、更ニ最近ニ至ツテハ増加ノ傾向一層著シク最近三箇年ノ平均ニ於テ其ノ量實ニ三十三萬噸ニ達スルノ狀況ニシテ外ニ

石灰窒素及智利硝石ヲ加へ即チ無機質窒素肥料ノ全部ヲ合スレバ其ノ消費量大約三十七萬噸ノ多キヲ示シ之ガ窒素含有量ハ全販賣肥料中ノ窒素總量ノ四割餘ヲ占メツツアリ、而シテ斯種肥料ハ從來一般ニ使用セラレツツアル有機質肥料(其ノ最大部分ヲ占ムルハ滿洲ヨリ來ル大豆粕ナリ)比較スレバ現在ノ市價ヲ以テスルモ尙甚割安ナルヲ以テ今後益々其ノ需要ノ增加ヲ見ルベキハ疑ヲ容レズ今試ニ斯種肥料ノ將來ニ於ケル需要ノ程度ヲ推定スルニ食糧其ノ他農產物ノ増殖ニ伴フ肥料消費増加趨勢及經濟的肥料ノ選擇ニ因ル肥料消費割合ノ變化等ヲ考察シテ近ク十年後ニ於テモ其ノ量凡ソ八十萬噸ヲ下ラザルモノト見ルヲ得ベシ

翻ツテ之等肥料供給ノ狀況ヲ見ルニ日本窒素肥料株式會社ガ明治四十一年フランク、カロー法ノ特許權ヲ得同四十二年五月熊本縣八代郡水俣ニ工場ヲ設ケ翌四十三年ヨリ石灰窒素及變成硫酸安母尼亞ノ製造ノ開始セシ以來他ニモ同種ノ會社ノ設立ヲ見今日ニ至レリト雖今猶事業ノ發達ハ甚不十分ニシテ其現在ニ於ケル生産高ハ僅ニ二十五、六萬噸程度ニ過ギズ外ニ副生硫酸安母尼亞二萬噸ヲ加フルモ現ニ我國ニ於テ需要セラルル無機質窒素肥料ノ總量ニ對シ之ガ國內供給ハ半ニモ充タズ其ノ餘ハ之ヲ外國ノ生産ニ依頼シ年々獨英米ノ諸國ヨリ巨額ノ輸入ヲ爲シツツアルノ狀況ニ在リ

### 三 市 價

上述ノ如ク我國ニ於テ無機質窒素肥料ハ一般有機質窒素肥料ノ價格ニ比較スレバ現在ノ市價ヲ以テスルモ尙且低廉ナルハ事實ナルモ而モ右ハ現在ノ生産條件及生産技術ヲ以テシテハ到底此レ以

下ニ低下シ得ザル最低限度ノモノナリヤト云フニ必ズシモ然ラズ、如何トナレバ前述ノ如ク我國ニ於テハ無機質窒素肥料ノ需要ノ過半ハ之ヲ外國ヨリノ輸入ニ依リテ充足シツツアルノ狀況ナルヲ以テ其ノ價格ハ勢國外ヨリノ輸入品ノ價格ニ依リテ支配セラレザルヲ得ズ、然ルニ世界ニ於ケル無機質窒素肥料ノ價格ハ斯種肥料ノ供給ノ大部分ヲ支配スル智利ニ於ケル智利硝石ノ國家的大「シンジケート」竝ニ獨逸ヲ中心トスル歐洲諸國及米國ノ一部ヲ包容スル石灰窒素及硫酸安母尼亞ノ販賣聯盟ノ獨占的勢力ニ依リテ決定セララルガ故ニ其ノ價格ハ必然生産費ニ合理的利潤ヲ加算シタル額ヨリハ遙ニ高價ナルモノトナリツツアルノミナラズ之ヲ我國ニ輸入スル場合ニ於テハ更ニ歐米諸國ヨリ我國ニ至ル迄ノ運賃諸掛ヲ要スルガ故ニ我國農民ノ使用スル斯種肥料ハ其ノ歐米ニ於ケル生産原價等ニ比較スレバ著シク高價ナルモノナリト謂ハザルベカラズ加之我國ニ於テハ斯種肥料ノ價格ハ販賣組織上ノ缺陷等ニ基因シ變動頻繁ニシテ季節的又ハ地方的ニ高下甚シク爲ニ農家ノ蒙ル不利益決シテ尠少ニアラザルナリ(全國主要地ニ於ケル「獨逸硫酸過磷酸石灰」ノ市價參照)

### 四、國內生産ヲ發達セシムルノ必要

右ノ如ク無機質窒素肥料ノ價格ハ之ヲ低下シ得ルノ餘地アリトスレバ之ガ實現ヲ期スルハ窮迫セラル農家經濟ノ振興上極メテ緊要トスル所ナルガ其ノ方策如何ソハ固ヨリ各種ノ點ニ付考慮セザルベカラズト雖先以テ急務トシテ舉グベキハ肥料ノ如キ國家的必需品ノ價格ノ決定ヲ外國ノ販賣聯盟等ノ支配ニ委シツツアル現狀ヨリ速ニ脱却シ得ルノ實力ヲ作ランガ爲斯種肥料ノ國內生産ヲ大

ニ發達セシムルノ方策ヲ講ズルコトナラザルベカラズ而シテ此ノ國內生産ノ發達ハ實ニ農業上ノ見地ヨリスルノミナラズ國際貸借改善、重要工業振興竝ニ一旦有事ノ際ニ於ケル國防上ノ觀點ヨリスルモ極メテ必要ノコトト謂ハザルベカラズ

五、國內生産發達ノ可能性

無機質窒素肥料ノ國內生産ヲ發達セシムルコトノ極メテ必要ナルコトハ明カナリトスルモ果シテ我國ニ於テ之發達ノ可能性アリヤ否ヤハ更ニ講究ヲ要スル別箇ノ問題ナリ、今我國ニ於ケル無機質窒素肥料ノ生産發達ノ可能性ニ付テ考察スルニ副生硫酸安母尼亞ノ如キ其ノ性質トシテ製鐵等主産物ノ生産事業ノ消長ニ支配セラルルモノニ付テハ多大ノ期待ヲ之ニ繋グ能ハザルコト亦多言ヲ要セズ唯近年歐米ニ於テ非常ノ發達ヲ見ツツアル空中窒素固定肥料ノ製造事業ニ在リテハ我國ニ於テモ今後大ニ之ヲ發達セシメ得ル多分ノ見込ヲ存セリ、即チ製品ノ主要原料タル空氣及水ノ無限ニ之ヲ利用シ得ラルルノ點ハ勿論製造工程上缺グ可ラザル電力又ハ石灰等ノ如キモ相當廉價ニ使用シ得ルモノ尠カラズ又我國ノ事業經營者及技術者ノ素質モ決シテ歐米ノ夫等ニ比シテ遜色アリト認ムル能ハザルヲ以テナリ唯爾余ノ生産條件中例之長期ノ資金ヲ得ルコト比較的困難ナルガ如キ或ハ又機械工業ノ發達未ダ十分ナラザルガ如キ多少不利トスベキ點ナキニ非ズト雖國家的政策ニ依リテ之ヲ除去スルニ於テハ本事業ハ我國ニ於テ十分其ノ發達ヲ望ミ得ベク實ニ國內ノ需要ヲ自給シ得ルニ止マラズ進ンデハ歐米各國ノ製品ニ拮抗シテ之ヲ國外ニ輸出スルノ餘力ヲモ養ヒ得ルノ見込ナキニ非ズ(別紙生産費調参照)要スルニ我國ニ於テハ將來本事業ヲ所謂世界的標準

ノ下ニ成立セシメ得ル可能性ヲ有スルモノニシテ方策宜シキヲ得バ我國ノ消費者ヲシテ實ニ歐米ノ販賣聯盟ノ支配ヨリ脱却セシメ得ルノミナラズ更ニ歐米ヨリ我國ニ至ル迄ノ運賃諸掛ノ負擔ヲモ免レシメ得ルコト敢テ至難トスルニ足ラザルベシ

六、製造助成及販賣管理方策ノ必要

前述ブル所ニ依リテ我國ニ於テ空中窒素固定肥料ノ國內生産ヲ發達セシムルコトノ必要ナルコト及其ノ發達ノ可能性アルコトハ明瞭ナリ然レドモ現狀ヲ以テ自然ニ推移スルニ放任シ何等國家ニ於テ特殊ノ方策ヲ講ズルコトナクシテ尙且ツ事業ノ勃興ヲ期待シ得ルヤト云フニ事實ハ決シテ然ラザルベシ蓋シ我國ニ於テ現ニ新ニ本事業ヲ起業シ又ハ既設會社ニシテ事業ノ擴張ヲ計畫シ居ルモノナキニアラズト雖之等ハ主トシテ硫酸安母尼亞ノ市價等ノ甚シク好況ナリシ時代ニ計畫セラレタルモノニ係リ今後ニ於テモ同様ノ企畫ヲ繼續スベシトハ期待シ得ザルノミナラズ右ノ計畫ト雖我國ノ需要ノ増加ニ比シテハ尙多大ノ距離ヲ存スルモノト謂ヒ得ベシ、是レ固ヨリ種々ナル事情ニ基因スベシト雖就中上述生産條件上不利トスル點ニ累セララルノ外其ノ最根本的ナル原因トシテ我國ノ當業者カ獨逸其ノ他諸外國ヨリノ競争ニ對シ危惧ノ念ヲ抱キツツアルコトヲ擧ゲ得ベシ

事情右ノ如シトセバ我國ニ於テ今日大ニ本事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニハ國家自ラ空中窒素固定肥料ノ製造事業ヲ經營スルカ若ハ國家ガ民營ニ依ル本事業ノ助成ヲ爲スカ二者其ノ一ヲ選バザルベカラズ而シテ國家自ラ本肥料ノ製造ニ當ルコトハ既設會社ノ買收等ニ巨額ノ支出ヲ要スルノ外將

來事業ノ擴張ヲ爲スガ爲水利權ノ買收獲得、工場ノ設備等ニ多大ノ資本ヲ固定セザルベカラザルガ故ニ財政上莫大ナル負擔ニ上ルノミナラズ國營事業ハ概シテ民營事業ニ比スレバ能率ノ點ニ於テ一等ヲ輸シ又積極的ニ事業ノ改善進歩ヲ望ミ難ク更ニ民業壓迫ノ非難ヲ免レ能ハザル等ノ理由ニ依リ比較的確實ニ本肥料ノ國內生産ヲ増加シ得ルノ利點アルニモ拘ラズ實行ハ甚困難ナリト認メザルヲ得ズ茲ニ於テカ必然ノ結果トシテ國家ハ民營ニ依ル本事業ヲ助成シ我國カ生産條件上不利トスル點ヲ補ヒ當業當ガ諸外國ノ競争ニ對シ拘キツツアル不安ノ念ヲ排除スルコトニ依リテ之ガ發達ヲ促スノ方策ヲ採ルノ外ナカルベシ次ニ問題トスベキハ右ノ助成方策ノミヲ以テシテ果シテ能ク肥料政策ノ主眼トスル所ノ無機質窒素肥料ノ價格ノ低下及安定ノ目的ガ達成シ得ラルルヤ否ヤノ點ニアリ思フニ本肥料ノ國內生産ノ發達ハ單ニ其レ丈ヲ以テシテハ我國ノ消費者ヲシテ外國ノ販賣聯盟ノ支配ヨリ脱セシメ又歐米ヨリ我國ニ至ル迄ノ運賃ノ負擔ヲ免レシメ得ルノ素地ヲ作りタリト云フニ止マリ之ノミニ依リ直ニ肥料價格ノ低下ヲ望ミ得ザルノミナラズ肥料價格ノ安定ノ如キハ到底幾シ得ル所ニ非ズ何トナレバ事業經營者ハ何レモ製品ノ價格ノ昇騰ニ因リ自己ノ所得ニ歸スベキ利潤ノ多カラシムコトヲ希望シ若シ國家等ニ於テ何等ノ方策ヲ講ズルコトナク之ヲ自然ノ成行ニ放任スルニ於テハ價格ノ低下ヲ防止スルガ爲凡ユル方法ヲ講ズルニ至ルベキハ豫測スルニ難カラズ元來本事業ノ如キハ特許權ニ基クモノナルノミナラズ有利ナル發電水利權其ノ他特殊ノ條件ヲ具有シテ始メテ之ヲ企畫シ得ルモノニシテ何人モガ自由ニ競争ヲ試ミルコト能ハザル性質ノモノナルヲ以テ必然事業經營者ノ數ハ限ラレタル少數ニ止リ當業者間ニ聯盟的組織

ノ實現ヲ見ルハ極メテ容易ナル事ト謂フベク現ニ歐米ニ於テ其ノ實例ヲ示セリ  
換言スレバ斯種事業ハ或意味ニ於テハ獨占的ノ事業ト目スベキモノニシテ所謂自由競争ニ因ル價格ノ自然的調節ハ之ヲ望ムコトヲ得ズ故ニ政府ガ假令各種ノ助成方策ヲ講ズルトスルモ竟ニ多數消費者ニ對シ何等利益ヲ與フル所ナキニ畢ルヤモ圖リ難シ是レ本肥料ノ價格決定ニ關シテ國家ノ干涉ヲ必要トスル所以ニシテ更ニ併セテ市價安定ノ目的ヲ達セント欲セバ國家ハ遂ニ之ガ販賣管理ヲ行フノ止ムヲ得ザルニ至ルベシ斯クノ如クシテ國家ガ販賣管理ヲ爲スノ必要アリトセバソハ如何ナル方法ニ依ルベキカ右ハ諸種ノ方面ヨリ之ヲ考察シ所謂買入專賣ノ制度ヲ以テ此ノ際實行シ得ベキ最適切ナル方策ト認ム今其ノ理由ヲ概言スレバ  
一、合理的ニ事業ヲ經營スル内地生産者ノ最低利益ヲ保障スルガ故ニ當業者ガ諸外國ノ競争ニ對シテ抱ク危懼ノ念ヲ排除シ本事業ノ起業及擴張ヲ促進スルノ效果アリ即チ製造助成ノ方策トシテ最有力ナリ

- 二、生産費、合理的利潤、世界的市價等ヲ標準トシテ買入ヲ爲スガ故ニ製造業者ヲシテ不當ノ利益ヲ收メシムル等ノ惧ナク其レ丈價格ヲ低下シ得ルコト
- 三、販賣ハ一貫セル國家ノ統制ニ依ルガ故ニ配給ノ圓滑ヲ期シ得ルト共ニ取引上無用ノ手數ヲ省キ營業上ノ經費ヲ節減シ得ルヲ以テ其レ丈又價格ノ低下ヲ期シ得ルコト
- 四、買占賣情等ノ弊ヲ防止シ價格ノ安定ヲ期シ得ルコト
- 五、品質ノ改良保全ヲ期シ得ルガ故ニ不正又ハ粗惡肥料ノ流布ヲ防ギ得ルコト

六、外國品ヲ購入スル場合ニ於テモ政府ノ獨占トナスコトニ因リ有利ニ處シ得ルコト等ナリ然ルニ此ノ專賣制度ニ對シテハ種々ナル論點ヨリ是非セラレベキハ豫想シ得ル所ニシテ今其等ノ中批難ノ要點ト認メラルベキモノニ付之ヲ檢スルニ

一、專賣制度ヲ實施スルガ爲ニハ多大ノ經費ヲ要スルガ故ニ國家財政上ノ見地ヨリ實行困難ナリトノ議論アルベシ然ルニ政府支出ノ最大部分ヲ占ムルハ勿論製品ノ買入代金ナルベモ之ハ米穀需給特別會計法ニ於ケルガ如ク證券ヲ以テ交付スルコトトセバ其ノ餘ハ倉庫費、回送運賃並ニ檢査監督及收納配給ニ必要ナル人件費等ニシテ而モ之等ノ大部分ハ肥料ノ賣上代價トシテ年度内ニ回收セラレルモノナルガ故ニ政府實際ノ支出ニ屬スベキモノハ極メテ僅少ノ額ニ止ルベキヲ以テナリ

二、本制度ハ當者ニ對シ安心ヲ與フルガ故ニ技術及經營ノ進歩ヲ阻害ストノ非難アルベシ然ルニ事業ノ進歩向上ハ當業者ノ營利心ノ刺戟ニ基ク所多大ニシテ而モ之ノ營利心ニハ或一定ノ利益以上益々多クノ利益ヲ獲得セントスル積極的ノ方面ト或一定ノ利益ハ少クトモ之ヲ失ハザラントスル消極的ノ方面トヲ兼存スルガ故ニ既ニ當業者ニ對シ事實ニ於テ或一定ノ利益丈ハ之ヲ保障セザルヲ得ザル如キ制度ノ存スル場合其レ丈當業者ノ營利心ヲ刺戟スルコト少ク事業ノ進歩ニ對シ幾分之ヲ阻害スルノ結果ニ陥ラシムルコトアルハ傾向トシテハ之ヲ認メザルヲ得ザルベシト雖右ハ他ニ之ヲ救治スベキ途ナキ根本的病弊ナリト斷ズルコト能ハズ何トナレバ專賣制度ニ於テモ政府買入價格ノ決定方法等ノ如何ニ依ツテハ優秀ナル技術及經營ヲ以テ事業ヲ行フ

者ニ對シテ事業ノ進歩改善ニ努力スルコトニ依リ或一定ノ利益以上益々多クノ利益ヲ獲得シ得ルノミナラズ

努メテ事業經營ノ宜シキヲ得ザルモノニ對シテモ尙或一定ノ利益ヲ保障スルガ如キ通弊ヲ避クルコトニ注意スルニ於テハ專賣ノ爲事業ノ進歩ヲ阻害スルガ如キコトナカラシムルヲ得ベケレバナリ

又政府ニ於テモ一面本肥料ノ製造ニ關スル特別ノ研究機關等ヲシテ極力之ガ研究ニ從事セシムルト共ニ當業者ニ對スル指導宜シキヲ得且檢査監督ヲ嚴重ナラシムルニ於テハ本制度ノ効果ヲ充分ニ發揮セシムルコト決シテ困難ニアラズト信ズ

要之本制度ニ付テハ多少ノ缺點ハ之アリトスルモ右ハ前述ノ如ク方法如何ニ依ツテハ之ヲ救治シ得ルモノニシテ之アルガ爲他ニ如何ニ重要ノ利點アルモ之ヲ拋擲スベシト云フガ如キ絶對的ノ弊害ト認ムル能ハズ

三、專賣制度ハ肥料商ヨリ其ノ職業ヲ奪フガ故ニ不可ナリトノ非難モアリ得ベシ然ルニ肥料商中信用不確實ナル者等ニ對シテハ寧ロ相當整理ヲ必要トスベキガ故ニ多少ノ犠牲者ヲ出スベキハ已ムヲ得ザル所ナランモ而モ實際ニ於テハ其ノ大部分ハ政府ノ元賣捌人又ハ小賣人ニ指定セラレルヲ以テ多クノ失職者ヲ出スガ如キコトナカルベシ況ンヤ地方ノ肥料商ハ必ズシモ無機質窒素肥料ノミヲ専門ニ販賣スルコトナク多クハ他ノ物品ヲ併セ販賣シツツアルノ實狀ナルガ故ニ假令本制度實施ノ爲斯種肥料ノ販賣ヲ停止セラレルコトアリトスルモ其ノ蒙ル影響ハ左迄大ナ

ラザルモノト認メラル

四、政府ガ總テノ無機質窒素肥料ヲ專賣ト爲スコトナク單ニ國內ニ於ケル之等肥料ノ販賣價格ヲ公定スル等ノ方法ニ依リ所期ノ目的ヲ達シ得ルニ非ズヤトノ觀察モアリ得ベシ然ルニ若シ其ノ方法ガ單ニ政府ヨリ助成ヲ受ケテ生産セラレタル製品ノミニ付價格ノ公定ヲ爲サントスルモノナルニ於テハ勿論斯種肥料ニシテ國內ニ販賣セラルルモノ全部ニ付テ之ガ價格ヲ公定セントスル場合ト雖豫期ノ効果ヲ齎スコト甚困難ナリト爲サザルヲ得ズ蓋シ斯ノ如キ制度ニ於テハ國內製品及外國製品等生産條件ヲ異ニスルモノノ間ニ於テ單一價格ヲ公定スルニ當リ其ノ公定價格ガ國內製品ノ生産條件ヲ以テ標準ト爲サレタリトセンニ若シ其ノ價格ガ外國ヨリ輸入シ得ル價格ニ比シテヨリ高價ナルトキハ外國ヨリノ競争ニヨリテ自ラ其ノ公定價格ヲ維持スルコト能ハザルニ至ルベク又逆ニ右ノ公定價格ガ外國ヨリ輸入シ得ル價格ニ比シヨリ廉價ナルトキハ外國ヨリノ輸入ヲ杜絶セシメ却テ價格ノ昂騰ヲ來ス等ノ不都合ナル結果ヲ生ズルニ至ルベシ故ニ政府ノ定ムル公定價格ヲ嚴格ニ勵行スルト共ニ本肥料需給ノ圓滑ヲ妨グル如キ弊害ヲ除去センガ爲ニハ政府ハ之ガ取締ノ爲多大ノ人員ト經費トヲ要スルノ外必ズヤ外國製品ニ付テハ專賣等特殊ノ方策ヲ講ゼザルベシ果シテ然ラバ百尺竿頭更ニ一步ヲ進メ價格公定ノ眞ノ目的ヲ徹底的ニ達成シ得ルト同時ニ肥料政策上重要ナル他ノ各種ノ目的ヲモ併セ貫徹シ得ベキ專賣制度ヲ實施スルヲ以テ最適切ナルモノト爲サザルベカラズ

合成法ニ依ル空中窒素固定肥料生産費ニ關スル調

一、窒素一噸ヲ固定スルニ要スル電氣量

水	窒素	窒素一噸ノ固定ニ對スル原料所要量	原料一立米ヲ發生スルニ要スル電氣量	窒素一噸ヲ固定スルニ要スル電氣量
水素及窒素瓦斯ノ混合壓搾及合成ニ要スル電氣量	素	二、五五〇 <small>立米</small>	六、〇〇〇 <small>キロワット時</small>	一五、三〇〇 <small>キロワット時</small>
窒素	素	一、〇〇〇	〇、一八	一八〇
計				一七、七三〇

二、水力電氣價格見積

發電設備費 一「キロワット」ニ付 三〇〇圓トス

設備費ニ對スル利息(八米) 二四、〇〇〇

銷却 (三十ヶ年六米) 三、七九七・〇

計

二七、七九七・〇

同上「キロワット」時當見積價格

〇、〇〇三四

同上「キロワット」時發電費

〇、〇〇一五

計

〇、〇〇四九

備考 一ヶ年電力使用量ハ八、〇〇〇「キロワット」時トス

發電所ノ土木工事ハ五十ヶ年、機械器具ハ約二十ヶ年トス



三、合成硫酸ノ生産費見積(一噸當)  
但シ水素ハ水ノ電解ニヨリテ採收スルモノトス

一、電力(所要電力量三、七〇〇KWH)	一八、一三	一八、一三
二、硫酸(ボーラー五十度一、二噸)	二一、五〇	一五、〇〇
三、工賃、修繕費及雜費	一四、〇〇	一四、〇〇
小計	五三、六三	四七、一三
四、銷却	一八、九四	一二、六三
五、利益配當	二〇、〇〇	一六、五〇
六、借入金利息	四、八〇	二、〇〇
七、役員賞與	一、〇〇	〇、八三
八、法定積立金	二、二〇	一、七〇
九、荷造	六、七五	六、七五
一〇、營業費及特許料	一一、〇〇	一〇、〇〇
小計	六八、六九	五三、四一
計	一二二、三二	一〇〇、五四

備考

一、電力價格ハ「キロワット」時四厘九毛トス  
 二、銷却ハ固定資金ヲ十ヶ年六朱ヲ以テ行フモノトス  
 但シ其ノ一ハ合成設備費二二〇圓及硫酸設備費三〇圓計二五〇圓  
 其ノ二ハ合成設備費一五〇圓及硫酸設備費三〇圓計一八〇圓  
 三、利益配當ハ拂込資本ノ一割トス但シ拂込資本ハ固定資金ノ二分ノ一トス  
 其ノ一、發電設備費一五〇圓竝合成及硫酸設備二五〇圓合計四〇〇圓ノ二分ノ一  
 其ノ二、發電設備費一五〇圓竝合成及硫酸設備費一八〇圓合計三三〇圓ノ二分ノ一  
 四、借入金利息ハ年八朱ト但借入金ハ設備費ノ半額ヨリ發電設備費一五〇圓ヲ控除シタルモノニ借入運轉資金一〇圓ヲ加ヘタルモノトス  
 其ノ一 六〇圓 其ノ二 二五圓

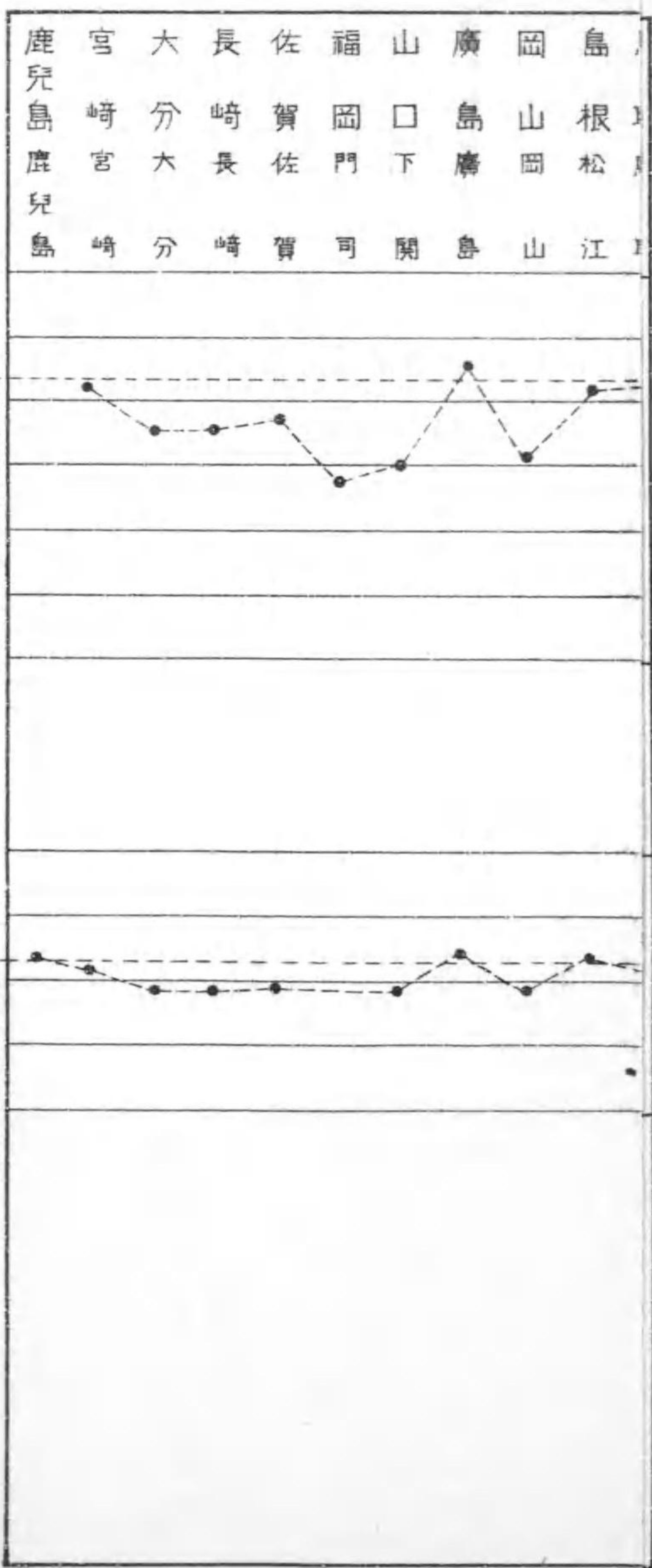
五、役員賞與ハ配當ノ五分トス  
 六、法定積立金ハ利益ノ十分ノ一トス  
 其ノ一ノ利益金 四三、九三圓  
 其ノ二ノ利益金 三五、五六圓  
 七、荷造ハ十ペ一噸荷造費共二十五錢二十七叵分  
 深川市場ニ於ケル外國硫酸安母尼亞市場(一噸當價格)  
 一、自大正元年年別價格(單位圓)  
 至大正十四年

年最高價格	年最低價格	年平均價格	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
一六〇	一四〇	一五七	一六三	一四九	一三七	一五七	一九九	三三三	三八〇	三九〇	三九三	一九九	三三五	一九〇	一八七	二二三

一、最近ニ於ケル旬別價格 (單位圓)

昭和二年	昭和元年			旬別	月別	備考
	上旬	中旬	下旬			
一三六	一三〇	一三三	一八〇	月一		
一三六	一七四	一七三	一七三	月二		
一三三	一七〇	一七〇	一七〇	月三		
一三九	一七〇	一七〇	一七〇	月四		
一四二	一五五	一五五	一五五	月五		
一四三	一六七	一六七	一六七	月六		
一三九	一七三	一七三	一七三	月七		
	一四九	一四九	一四九	月八		
	一四〇	一四〇	一四〇	月九		
	一三九	一三九	一三九	月十		
	一三六	一三六	一三六	月十一		
	一三七	一三七	一三七	月十二		
	一八一			最高		
	一三六			最低		
	一五六			平均		

全國主要地ニ於ケル 獨逸硫酸ノ市價 (大正十五年五月一日ヨリ 今月七日ニ至ル週間ノ平均)



点線ハ調査箇所百一箇所ノ平均價格

点線ハ調査箇所六七箇所ノ平均價格



最高	最低	平均
一三二	一三九	一三〇
一五九	一四三	一五三
一四三	一四〇	一四二
一四〇	一三九	一四〇
一四二	一三九	一四〇
一四二	一三七	一三七
一四二	一三七	一三七

(昭和二年四月下旬ハ「モラトリウム」ノ爲メ相場建タス)

○野口委員 説明書添付参考表ノ第二表水力電気ノ原價見積設備費三百圓ハ日本デ最モ安價モノナレド實際ニアル故ニ之ヲ認ム、然シ日本ノ水力ハ水ノ多イ時ト少イ時トアル故ニ今日見積ル水力ハ一年ノ半分ヲトル、今日ノ水力ノ出力ハ全發電力ノ六〇%ニシテソノ他ノ損失一%アレバ、定電力ハソノ中ノ五割尤モ水ノ量ノトリ方デ六割ニナリ又ハ四割ニナル他ノ半分ハ不定電力デアアル、石灰窒素ハ不定電力ヲ用フ、之電気ガ安イノト又「カーバイト」丈ヲ造ツテ貯藏シテオルコトガ出來ル故ナリ、合成法ノ場合ハ水素ノ「タンク」ハ一、二時ヲ標準トス故ニ合成ノ時ハ定電力ヲ基礎トス、故ニ此ニ八〇〇〇「キロワット」時ハ四〇〇〇〇「キロワット」時ニナル、ソノ發電所ニ行ク損失ヲ一〇%トシテ三六〇〇「キロワット」時トナル、カクスレバ此價格ガ倍ニナル譯デアアル、故ニ發電所ノ定電力ハ四〇〇〇〇「キロワット」時ニナル、國內デ買ツテイル定電力ハ一錢デ不定ノ二〇%ガ八厘ニナリ丁度之ヲ倍ニセザレバ實際ニ當ハマラヌ

- 川崎技師 八〇〇〇「キロワット」時ハ定電力トス
- 野口委員 然ラバ設備費ハ六〇〇圓トナラナケレバナラヌ

- 矢作委員 猪苗代等ハ如何
- 野口委員 日本ノ平均ノ經費ハ五〇〇圓ナリ、三〇〇圓ハ最モ安ク之ヨリ高イノガ普通デアル、尙七、八ノ「ロツス」ハ逃レヌ、此表ノ見積ニハ「ロツス」ガ表ハレテイナイ
- 矢作委員長 貯水池ガアレバ三〇〇圓位デ定電力ガ發電出來ルデアラウ
- 野口委員 スクスレバ貯水池ニ經費ヲ要ス、貯水池ニ千圓カカル、日本ノ川デ貯水ノ出來ル川ハ稀デアル、今日ヤツテイル貯水池ヲ作ツテイルノハ一月ノ「ピークラウンド」調節スル場合ニノミ作ツテイル、一年ノ調節ニハ作ツテイナイ、アトノ時間ハ水ヲ貯ヘルタメデアル
- 間部幹事 朝鮮ノハ如何
- 野口委員 之ハ十年位ノ平均ヲトル、朝鮮ノハ實際ヤツテ見ナケレバ判ラヌ
- 間部幹事 實ハ朝鮮ニ於ケルモノノ計算ハ朝鮮デヨイ發電力ノモノガアルト聞キシ故ニ「ロツス」モナク極條件ノヨキモノト考ヘタリ
- 野口委員 ヨイ水源ガアツテソノ近クニ發電所モ工場モアツテ條件ノ最モヨイ場合トシテモ十一萬「ボルト」ノ電力ノ中送電スルニ線路ヨリ下シタリ、「ロータリーコンバーター」ヲ經ルニ七、五%ノ「ロツス」ガアル、ソレニ送電中ノ「ロツス」ガアレバ一〇%ノ「ロツス」ハ免レヌ、貯水ニモ金ガカカル、三菱ノモノハ私共ノ例ニヨリ二五萬「キロワット」ト云フガ疑ツテ居ル、用池費丈デモ如何カト思フ
- 矢作委員長 日本デモ三〇〇圓位ノモノガ出來ルト云ハレルガ如何

- 野口委員 ソレハ何ウカシラ
- 矢作委員長 相當權威ノアル人ガ云ツテ居ル
- 野口委員 ソレハ北海道邊ニアルカモ知レヌ
- 矢作委員長 建設費ノ利息ハモツト安ク出來ルカモ知レヌ
- 野口委員 朝鮮ノ私共ノモノハ高利デアル
- 矢作委員長 野口サンノ會社等デ澤山作ツテモラハネバナラヌ
- 野口委員 低利ノ金ヲ廻セバヨシ一年中ノ全運轉ハ困難ナリ、全部水ガ來テモ一五%ハ使ヘヌ、機械ガ全部無故障ニ使ヘヌ、水ガ全部來テモ二〇%ハヘルノデアル之ハ遞信省ニ聞イテモ判ル
- 矢作委員 昨日空中窒素固定肥料事業ヲ創設セントスル人ニ會タガ低利資金サヘ廻セバ電力ガ「キロワット」時五厘迄ハ行クト云フ
- 野口委員 此參考表ハ五厘デアル、然シ之ハ困難デアル、「ノールウエー」、「スウエーデン」ハ國營デアルソシテ安イ、亞米利加ノ「ナイヤガラ」等ハ安イ、然シ日本ノ話ハ日本ノ状態デヤリタイ
- 矢作委員長 日本デ有利ナモノヲ利用シタシ
- 野口委員 參考表ノ九七圓中ニハ運賃ガナイ、之ハ工場ノ倉庫デ荷造シタ値段ナリヤ
- 間部幹事 然リ
- 野口委員 然シ今日デハ何處カ迄ハ運バナケレバナラヌ
- 矢作委員長 工場ヲ離レルトキノ値段デアル

○野口委員 此參考表ニハ税金が見積ツテナイ、今日日本窒素肥料株式會社ハ税金六十萬圓ヲ拂ツテ

之ハ一噸當一圓四五十錢ニナル、特許料ノ事モ如何、特許料ハ當初固定ノモノト後カラ入レルモノトヲ併セテ五圓位ナラン

○川崎技師 運賃ハ工場渡ナリ、ソレハ外國品ノ船側渡ト比較スル爲メ

○野口委員 船側渡ハ神戸港ニ於テデアアル我々ノ製品モ神戸ガ主要集散地ナレバ神戸立ノ値段デア

ル、荷造及運賃デ十五圓ナラン

○矢作委員 野口サンノ築港ガ出來上ガレバ如何

○野口委員 築港費ヲ要スル

○矢作委員長 税ノ輕減モ此委員會ニ提言シテハ如何

○野口委員 此參考表ノ經費ノ中ニ電力代、税金、運賃等ヲ算入スレバ如何

○間部幹事 此中デ高ク評價シ過ギタモノハ無キカ

○野口委員 無シ獨逸ニ比較スレバ如何

獨逸ノ今日ノ賣値ハ窒素一「キログラム」九五「ペーニツヒ」……「マルク」ナリ、ソノ中硝安、尿素等色々アルケレドモ、硫安一「マルク」石灰窒素九五「ペーニツヒ」、之ヲ二〇%窒素トスレバ硫安一〇〇圓、石灰窒素九五圓ガ獨逸ノ値段ナリ、然シ獨逸ハ固定資本ハ大體政府ガ出資シテキル、販賣價格ハ獨逸ノ「シンジケート」ノ報告ニヨレバ生産費窒素一「キログラム」五七—六〇「ペーニツヒ」之

ハ五十七、八圓ソレデ「バージツシ」會社ノ殘ノ十二、三圓ハ荷造、運賃、利息、營業費銷却ト考ヘラル、日本ハ獨逸ニ較ヘテ金利ガ高キ故四十二、三圓ハ高シ、田中氏ノハ一噸ノ建設費二百四五十圓カカルダラウ、スルト金利丈デモ三十圓ニナル、之ハ擴張スレバ下ガルガ日本デハ四十四、五圓トミルガヨイ、製造費ノ中獨逸ハ石炭、日本ハ電力ナリ、石炭ト電力トノ場合値段ガ同様トシテモ生産費ハ日本ニ於テ高クナルモノアリ之ハ硫酸代ノ十五圓ナリ、獨逸ノ「バージツシ」ハ工場ノ近クニ石膏ヲ採リ「オートクレープ」ニ入レ炭酸「ガス」ヲ作用シテ硫酸ヲトル、故ニ石膏ノ代丈デ硫酸ノ代ト特許料ガ不要デアアル、十五圓—二十圓ハ入ラヌコトニナル

獨逸デハ一工場ヨリ五六十萬噸、私ノハ五萬噸ヲ生産ス、私ノ方ノ十倍ノ生産能力ガアル初メハ一噸五十圓(硫酸代ヲ入レル)デヤルノ心算ダツタガ然ルニ六十圓カカツタ、然シ段々増量ト技術ニ慣レルノデ五十圓ニナリ、ソレガ今ハ五萬噸ヲ作ルタメニ四十圓ニナル、ソノ中十五圓ハ硫酸ナリ、然ルニ「バージツシ」ハ二十圓位ナリ、然ルニ此表デハ工賃等デ十五圓ニナル、然ルニ水素ヲ採ルハ蒸溜水ヲ用ヒソノ代ガアリ又使用スル油ノ代ガ大デアアル、壓力ノ「パツキング」ハ特殊ノ金屬ヲ用ヒルノデ特殊ノ油ヲ入レテイル、工賃、修繕費ソノ他ノ材料費ガ大デ之ヲ入レレバ相當ノ數字ニナルト考ヘル、電力料ハ此表ヨリ高クナル、依ツテ之ヲ換算スルバ餘程高クナル、獨逸ノ賣値ハ百圓、日本ハ硫酸ト特許料デ二十圓多クカカル、又金利ソノ他ヲ見積レバ二十五圓ニナル故ニ百二十五圓ニナラザレバ獨逸ト同ジ「ペーニツシ」ニナラヌ、今ノ獨逸ノ硫安ノ日本ノ賣値ハ結局百二十五圓デアアル、即運賃「ロヤリテイ」人件費ガ二十五圓デ百二十五圓ガ「クリチカルプライス」ト考ヘル

- 矢作委員長 野口氏ノハ獨逸ノ「シンジケート」ノ高イモノヲ標準トシタ値段ナリヤ、獨逸ノ生産ハ高イモノト安イモノトガアル、而シ賣値ハ生産費ノ高イモノニヨルト聞及ンデイル
- 野口委員 私ノ今云ツタノハ「オツバウトバー」ジツシナリ
- 矢作委員長 「オツバウト」他ノ工場トハソノ生産費ガ二十圓位違フトハリ
- 野口委員 ソレガ一二七、八圓ニナツテイル
- 矢作委員長 此點ヲ考ヘレバ獨逸ノモノモ安クナル
- 野口委員 獨逸ノ税金ハ如何程ナリヤ
- 矢作委員長 知ラズ役所ノ調査アリヤ
- 野口委員 税ハ徵スマイ、政府カラノ金ヲ借リテソノ利息ヲ支拂ヘバ税ハ徵スマイ、然シ株金デアレバ少シデモ儲カレバ税ヲ收メル
- 矢作委員長 減税ヲ要求シテハ如何
- 野口委員 ソウオ願ヒシマセウ、運賃ハ考ヘネバナラヌ、九州ノ製品ガ青森迄行ク之ガ運賃ハ大デアル、獨逸等ノ例ハ如何
- 矢作委員長 獨逸等ハ遠イ所ヘ持ツテ行ク様ナ事ハ爲スマイ、此案ガ成立テバ運賃ハ減ルダラウ、日本ハ鐵道省ニハ貨車ガ少ナケレバ一時ニ多量ノ貨物ヲ運搬スルハ困難ナリ
- 間部幹事 獨逸ノ生産費五、六「ペーニツヒ」、四〇「ペーニツヒ」ガ荷造費ソノ他ソシテ獨逸ノ國內ノ賣値ハ百圓ナリヤ

- 野口委員 然リ最近「プラナモンド」ト「バジツシ」ト協定シテ同値ニ賣ル
- 間部幹事 金利ソノ他儲ハ四十二圓ニ入ルカ
- 野口委員 然リ、二十圓位ガ利子ト償却ト考フ、一二五圓ガ「クリチカル」ブライズト考フ
- 間部幹事 日本ハ硫酸代、金利建設費等デ二十五圓ハドウシテモ高シ、然シ之ハ獨逸カラ日本迄ノ運賃等ト相殺スル譯ナリ、獨逸ガ百圓ニ持テ來ルト云フガソレハ如何
- 野口委員 「ダンペン」ノ他ハ一二五圓以下ニハ下ゲマイ、獨逸モ日本ノ工業ヲ潰ス意志モナイラシイ
- 矢作委員長 日本ニ石膏ハ無キヤ
- 野口委員 日本ニ於テハ島根、秋田ニ少シアリ、然シ高價デアアル、タトヘ日本ニ石膏ガアツテモ炭酸「ガス」ガ無キ故駄目デアアル、獨逸デハ炭酸「ガス」ガ廢物トシテ出來ル
- 矢作委員長 日本ノ褐炭ヤ亞炭デ「ハーバー」法ヲ行ツテハ如何
- 野口委員 今彦島デ鈴木商店ガヤツテ居ル、獨逸デハ石炭ヲ燒イテ火力電力デ四厘ナリ、又設備費ガ「キロワット」時四五圓ナリ此様ナ石炭デアアル日本ノ石炭等ハ問題ニナルマイ、説明書中ニハ安ク出來ル處ハ安ク買上ゲ、高クカカル處ハ高ク買フ様ニ見エルガ如何
- 間部幹事 然ラズ
- 野口委員 此ニ電力ノ用量三七〇〇「キロワット」時トアレド水素ハ實際ハ出來タモノノ一割ハ「ロス」ニナル之ハ如何ニ見タリヤ

- 川崎技師 之ハ實際ニ必要ナ丈ノ水素量ナリ
- 野口委員 「ロツス」ハ見込マズヤ、小寺サン此數字ハ如何
- 小寺委員 我々ノ方ハモット大キク出ル、一割ノ「ロツス」アリ、五百四十五立方米ノ水素ヲ要ス、  
 硫安一噸ハ之ノ五倍ナリ即二七〇〇立方米ニナル
- 野口委員 四千「キロワット」時トミレバ可
- 小寺委員 窒素ハ表ヨリ少クナル
- 野口委員 窒素ハ安キ故少シ位ハ問題ニアラズ、一番ヨイ場合ヲ行フトセバ建設費ガ高クナル、  
 「本」ニ見エテ居ルノハ一番イイ條件ノモノナレド實際ハソウハ行カナイ
- 田中サンニハ失禮ナレド大日本人造ニ於テ日本電力カラ買ツテキル定電力ハ一錢五厘二割ノ不定電力平均一錢、電力代丈デ四十圓トナル、之レニ假ニ私共ノハ生産費四十圓、「ロヤリテイ」五圓、荷造運賃十五圓、營業費五圓ヲ加フレバ百五圓ニナル、百二十五圓ニ賣ルトセバ二十圓ガ償却、利息、税金等トナリ建設費ガ二百五十圓カカルトスレバ百二十五圓ノ賣値ハ妙ナ數字ガ出ル
- 間部幹事 百二十五圓以下ニ獨逸ガ下ゲナケレバソレデ富山デヤツテ行カレルノデスカ
- 野口委員 然リ
- 田中委員 今ノ野口サンノ話カラシテ苦勞シテヤツテ恐怖ヲ抱ク
- 村井委員 野口サンノ青海工場デハ「キロワット」七、八厘デ買ハレテイルノデスカ
- 野口委員 アレハ不定電力デ七、八厘デス

○村井委員 ソノ方ヲ使ヘバ一層安クナル、火力ヲ連續シテ平水時ニ等シクセントスル計畫ハアレド、之ハ將來ナレバ、現在カカル例モアレバ餘剩電力ヲ有利ニ使用スルハ如何、水利權ノ優先權問題ハ外國ノ例ハナシ、水利權ハ設計ノ良否公益上經濟上ノ價值カラシテ認可スル立法例ナリ先程來一錢以下ノ電力ナシトノ話ナレドモ然シ安キ實例アリ、水利ハ一〇〇%利用シ得ル事ハアルマイ、送電ノ上ニロスアリ八〇%ニユクハ最善トス、此工業ヲ盛ニスル上ニ此電力ヲ必要トスレド此參考表ニ依レバ生産費ノ一八、五%位ガ電力代ナリ、我々ハ今迄六〇―七〇%位ヲ占メ此生産費ノ大部ハ動力費ト開イテ居タガ野口氏ノ説デ然ラザルコトガ判ツタ、今日ノ水利ハ如何ニ優先權ヲ與ヘテモ五百圓以下ノモノハアルマイ、今後アルモノハ建設費ガ高イ故ニ今後ノモノハ餘剩電力ノ利用ガ必要デアル、「ロス」ニナツテイルモノヲ利用スルガ如何、故ニ優先權ヲ與ヘルコトニハ賛成シ難イ

- 矢作委員長 水利權ヲ與ヘル條件如何
- 村井委員 設計ノ良否、落差、水利用狀況、公益上ノ價值、經濟上ノ價值ヲ考慮ス
- 野口委員 只今ノ御意見ノ通り國家的見地カラスレバ御説ノ様ナレド此事業ハ餘剩電力ノ利用ハ出來ヌ、石灰窒素ハ餘剩電力デ出來ルガ水素ニハ一時間モ無駄ガ出來ヌ、故ニ定電力ヲ必要トスル
- 村井委員 日本ノ電力ノ使用及餘剩狀況ニ關スル調査表ハナイ、是今迄遞信省ハ助長ノミデ調査ノ餘裕ガナカッタ、又水力ハ時々刻々違フ故ニ調査ガ困難デアル、過去ノ事實カラシテ調べルコトニシテアル將來安イ動力ヲ得ルタメニハ發電デハ駄目ト思フ、今ノ「ロード」ノ平均ヲトル様ニ考ヘ、



又發電池ト使用地ノ連絡「ビーク」ノ問題ト季節的調節トヲ考ヘレバ將來電力代ハ下ルト思フ、安イ電力ヲ得ルニハ今申上ゲタヨリ方法ハナイ、今未着手ノモノノ整理ヲスレバ大體大正十年前許可ニカカルモノデ昭和二年六月現在工事未着手ノモノハ一三八點、七二七、五六四馬力デアアル之ヲ用フルガヨイ、調査ニヨレバ新潟縣黒部電力(青海工場)ハ一「キロ」七—八厘ノ割ニテ二萬「キロ」受ケテイル

○田中委員 伏木ノモノガ十五—六年間七厘ナリ、之ハ當時ノ建設費ガ安カツタ故デアアル、日本電力トノ協定ハ相方自分デヤルト同様ノ計算カラ前ノ値ガ出タ、餘剩電力ハ不定電力ヲ定電力ニスルタメニ火力ヲ補フ様ニシツツアリ、然シ餘剩動力ヲ當ニ資本ヲ投下スルハ困難デアアル

○大河内委員 餘剩電力ヲ利用シテ肥料ヲ作ルハ石灰窒素ナリ、今度ノ問題ハ「アムモニア」製造ナレドモ一方ニ餘剩電力ヲ使ツテ石灰窒素ヲ作ル方面モ考ヘタイ、餘剩電力ノ最モ安イノハ三厘ナリ、石灰窒素ノ施用ノ獎勵ヲ考ヘテモラヒタイ、餘剩電力ノ利用如何

○間部幹事 此案ノ中ニハ石灰窒素ノ事モ充分ニ考慮ス、石灰窒素ハ施用上ニ農家ハ不安ヲ抱イテイ、然シ之ハ相當ソノ施用ヲ獎勵シテイイト思フ從ツテ施用量モマスト思フ、十年後ハ全施用量ノ三分ノ一ハ石灰窒素ヲ補ヒタイト思フ

○鈴木委員 小林氏ハ石灰窒素ニツキ大阪ノ東邦化學會社デソノ特許ヲ得テ試驗セシニ無害デ好評ヲ博シタル故ニ今後ハ生産ヲ増シテ大豆粕ニ代用セシメタイ考ヘダト言ツテキルガ、コンナ例モアレバ之モ充分ニ考慮サレタイ

○矢作委員長 ソノ特許トハ如何ナルモノカ

○鈴木委員 之ハ配合肥料ナリ

○矢作委員長 獨逸ハ硫安ノ四分ノ一位ハ石灰窒素ヲ使フ如シ、安藤氏ノ説ノ如ク日本ノ土壤ハ石灰缺乏ノモノアリ、又農業獎勵指導者ガ下級農會迄普及シテイ、故ニ石灰窒素ノ施用法ヲ改善スルニモ便ナリ故ニ餘剩電力ノ利用デ石灰窒素ヲ作り此ノ施用ヲ普及スルモ可

○野口委員 石灰窒素ハ今生産過剩デ九十五圓デ獨逸ト同値ナリ、獨逸ハ紙袋ニ入レ日本ハ罐ニ入レル、獨逸ハ荷造費五、六圓日本ハ荷造費二十圓モカカル然シ此値デハ電力費シカ出ナイ、電力費ヲ支拂ヘバ工場ノ償却等ハ出來ヌ

○矢作委員長 包裝費ハ粒狀ノ外國品ノ様ニスレバ省ケルコトニナル

○野口委員 私共ノ方ハ發熱ヲ防ギ水ヲ含マセテ「ブリック」ニシテオイト需要期ニ之ヲ碎イテ賣ル、コレニスレバ二、三%窒素ノ含有量ガ下ガル然シ之ハ時日ヲ要ス

○大河内委員 石料窒素ノ施用法ノ普及如何

○間部幹事 之ハ第二委員會デ調査ス

○野口委員 參考表ノ消費地ノ値ハ百姓ノ手ニ入レル値カ

○間部幹事 百姓ノ手ニ入レル値ナリ

○野口委員 之ニ依レバ一噸ガ一九〇圓カラ一四〇圓ニナル、ソノ開キガ五〇圓ナレバ之ヲ無クスルコトガ出來レバ可デアアル

○間部幹事 之ハ一週間ノ調査ナレバ一年間ノ平均ト合ハズ、之ハ只地方ニ依ツテ値段ニ開ガアルト云フ參考ナリ

○野口委員 販賣ノ途中デ値段ノ上ガルノヲ防ギタイ、今日ハ途中デ値段ノ上ガルノが大デア

○矢作委員長 之ハ專賣ニナレバ除キ得ルモノト思フ

○野口委員 專賣ニナレバ出來タ品ハ全部政府ガ買入レルノカ

○矢作委員長 然リ

○野口委員 石灰窒素ハ今餘ツテイルガ之ハ全部買入レルノカ

○矢作委員長 今ハ主ニ硫安ニ就テ考ヘテ石灰窒素ノ事ハ考ヘテイナイ

○間部幹事 需要以上ハ買入レナイ

○横山幹事 需要量丈ヲ作ル事ニスル、餘ツタモノハ硫安ニ變成スレバヨイ

○野口委員 然ラバ生産制限ヲスル譯カ

○川崎技師 鹽モ餘マレバ生産制限ヲスル如シ

○矢作委員長 鹽ノ方ハ先日見テ來タガ制限スル如シ、上手ナ會社ハ制限ヲシテモ一割五分位ハ配當

ス、尙不利ナ區域ハ政府ガ買ヒツプス考ラシイ、專賣局ハ國有財産ニナツテイル故ニ正確ニ調べル

コトガ出來タ

○野口委員 鹽ノ專賣ハ儲ケテイル

○矢作委員長 鹽ハ煙草ト一緒ニ會計ヲシテイルカラ計算面デハ儲カツテモ鹽ノタメニ使ツタ勞力ヲ

ソノママ見積レバ鹽ハ儲ケヌ

○野口委員 磷安ハ獨逸デ大分使フ様ニナツタ、之ヲ造ラントスレバ窒素ガ一七%磷五六%ナルガ之ハ窒素肥料ニ入ルカ又ハ磷酸肥料ニ入ルカ

○齋藤委員 之ハ窒素肥料ナラン

○野口委員 之ハ荷造費及運賃ヲ兩方ニ負擔スル故ニ安シ

○矢作委員長 此案ハ會社ガ儲ケル事ハ認メテイル

○野口委員 儲ニモ程度ガアル

○田中委員 儲ケナクトモ潰レナケレバヨシ

○野口委員 專賣ハ要スルニ生産費ノ「考慮」次第デ右ニモ左ニモ考ヘル

○矢作委員長 「ダンピング」デヤラレルコトモナク又一定ノ利モ認メル故ニ安全ナリ

○野口委員 有難イ様ナクスグツタイ様ナ氣ガスル

○田中委員 野口君、今迄ハ建設費ソノ他ノ條件ガヨカッタガ朝鮮ノハサウハナルマイ、外國ノ「シ

ンジケート」ハ「ダンピング」スルカモ知レヌ、窒素事業丈ハ專賣ニナツテ樂ノ様ニモ考ヘラル、然

シ硝酸安母尼亞、硫安、配合肥料等ハ如何、配合肥料ハ硫安ヲ造ツテ政府デ買上ゲ又之ヲ拂下ゲテ

モラツテ配合肥料ヲ造ル等實際問題上ハ中々困難ナリ

○鈴木委員 硫安ノ專賣ヲ考ヘラレタレド豆粕ノ現況ハ中々重大デア、硫安ヲ安クスレバ豆粕ノ代

ガ安クナラザルヲ得ナイ、ソノ關係ハ如何スルカ、豆粕ガ餘リ安クナレバ製油業ガ成立タヌ事ニナ

リ之ハ損ナ事デアル、此方ノ考如何

○間部幹事 專賣ニスレバ硫安ノ代ガ下ガル、專賣ニセズトモ外國ノモノガ下ガレバ豆粕ハ已ムヲ得ナイ事ニナル、又專賣ニ依リ餘リ急激ニ安クナラヌト思フ

○鈴木委員 硫安丈ヲ專賣ニシテ豆粕ノ事ヲ放任シテオク時之ニ對シ苦情ノ起ツタ時ハ如何

○間部幹事 已ムヲ得ズ

○鈴木委員 已ムヲ得ズデ済ムカ

○矢作委員長 新シク安イ肥料ヲ持ツテ來レバ古イ肥料ノ消費高ハ減ジナイデ新シク安イ肥料ノ入ツタ丈施用量ガ増ス、是カラ見レバ多少ハ豆粕ノ施用量ハ減ジテモ餘リ影響ヲ來スマイ、又豆ノ原料ヲ安クスル見込ガアルカモシレヌ、又之ヲ肥料ニ使フハ勿體ナク他ニ使用スル途ガ進歩シツツアレバ特ニ之ヲ保護スル必要ハアルマイ

○鈴木委員 現在ノ豆ヲ安クスレバ粕モ安クナリ得ル、然シ今ハ困ツテ製油ヲ休ンデ居ル向モアル、一方ヲ保護スレバ一方カラ苦情ナシヤ

○矢作委員長 一方ヲ保護シテ一方ガ困ルカラト云ツテモ公益上カラシテ必ズシモ保護スル必要ハアルマイ

○齋藤委員 「アンモフオス」ハ重要ナモノトナツタ、此ノ二三年燐安ノ輸入大トナリ、之ハ肥效モ大ニ又生理的反應モ有利ノモノデアル、故ニ「アンモフオス」ノ問題モ何レカニ決定スルコトガ必要デアル

○矢作委員長 差當リ硫安、石灰窒素ノ事ヲ考ヘソノ他ノモノハソノ工業ガ發達シテカラ考ヘレバヨシ

○齋藤委員 「アンモフオス」ハ自由販賣ヲ許スコトニナルカ

○矢作委員長 燐安ノ自由販賣ヲ許シテモ硫安ヲ脅カス程度ニハ至ルマイ

○齋藤委員 ソレハ見方ノ問題デカカルコトハ將來ノ計ヲ立テナケレバナラヌ燐安ニスレバ硫酸ノ代モ不用ナレバ此際考慮シテハ如何

○矢作委員長 ソノ問題ハ他ノ方ノ御意見ニ依テスル

休憩

午後一時半 開會

○大河内委員 肥料ノ政府管理ト云ヒタル關係カラ專賣ヲ考ヘルニ專賣ハ技術ノ進歩ヲ妨ゲ又價格ヲ高クシ又新シキモノノ發見ヲ妨グ、故ニ管理案ヲ提出シタ、此法ハ生産者カラ可成直接ニ消費者ニ渡ス、即チ中間ノ利ヲ占メルコトヲ少クシタシ、又ドノ農村モホボ同價ニ確實ニ肥料ノ配給ヲ圖リタシトノ意ナリ、然シ專賣ヨリ他ニ案ナシトセバ此理論ハ撤回シタイ、此案ニツキ云フニ大體助成法ハ可トス、只政府ノ專賣ニスルハ新シキ肥料ノ發見ヲ押ヘツケル結果ニナリハシナイカ、ソレデ專賣以外ニ生産者カラ直接消費者ニ渡シタイ、即チ地方下級農會ニ販賣サセルトカ又ハ輸入ハ直接政府デスルトカ又ハ確實ナル組合ニヤラセルトカシテ、專賣ハ此際見合ハセ助成丈ニシタイ

○湯地委員 此調査會ニ於テ肥料ノ管理論ガ出タ、然シ管理ノ方法ニハ意見ノ相異アリ、ソレデ小委

員會ヲ設ケ此案ノ審議ヲ願ツタ處ガソノ後突然專賣案ガ出タ、之ハ私ハソレ迄聞カナツタ、專賣ハヨカラウト云ヒ、然シ鹽專賣ハ不可ナリト説ク、ソノ後調査セシニ鹽專賣ハ不可ナリト云フ、然シ專賣ハ如何カト實ハ決定ノ岐路ニ立テリ段々考ヘルニ大河内氏ト大體同意見ニナレリ、即チ窒素肥料丈ヲ專賣ニスル事ハ簡單ノ様デ然シ影響スル處大デアル、例ヘバ豆粕問題ノ如キナリ、滿鐵ノ問題ニナリ必ズ政治問題ガ起ル、ソノ他石灰窒素ヲ如何ニスベキカノ問題ヲ起ル、生産過剰ノモノヲ買ヒツブスノハ問題デアル、燐安ノ問題モ起ル、價格ノ決定ニモ支障ヲ來ス事ニナル之等ノ困難ヲ來ス、今日ノ生産費ノ問題デモ色々ノ議論アリ、窒素肥料ガ我國ニ入ツテカラ間モ無キ事ナレバ暫ク保護法ヲトリソレヲ他ノ燐安豆粕等ノ問題ヲ靜カニ考ヘテ然ル後必要ナレバ專賣ニスルガヨイ、原案ノ(五)迄賛成ス助成スルコトハ賛成ナリ、提案ノ最後ニ政府ハ消費者ト製造者トノ中間ニ於テ利益ヲ得ルモノヲ無カラシメルタメ適當ノ配給方法ヲ考ヘル事之ハ立法的ニ依ルモ行政的ニ依ルモ可、詮ジツメレバ大河内氏ノ議論ト同様、然シ將來專賣ガイイカモ知レヌ、然シ今日專賣ヲ可トシテ將來ノ責任ヲモツコトハ考ヘラレヌ、依テ大河内君ニ賛成ス

○矢作委員長 大河内、湯地兩氏ノ間ニヤヤ意見ノ差ガアル様ニミエル、湯地サンノ説ニハ管理ノ意ナキ如シ

○湯地委員 適宜ノ方法ニ於テ考ヘル故ニ管理デモ何デモ可ナリ

○大河内委員 專賣ヨリ他ニ案ナシトセバ管理ノコトハ撤回ス

○矢作委員長 湯地サンノ説ニ依テ果シテ安クナルカ

○湯地委員 安クナルト思フ、先ノ小賣値ニ五十圓ノ開キノアルコトカラシテモ判カル

○矢作委員長 内地ノ生産者ガ外國ト協定スレバ如何

○湯地委員 ソレハ現状ナリ、然シ中間デ占メル利益ヲ除クカラ安クナル

○矢作委員長 私ハ肥料ヲ安價ニスル事ハ農林省ノ從來ノ意向ナレバ配給等デハ不充分デアル、只資本家ヲ助成スル方法ニハ賛成出來ヌ、ソノ點ニ考慮ヲ願フ

○湯地委員 資本家ノ保護ノミトハナルマイ

○矢作委員長 湯地サンノ意見ニ不賛成デハナイ、然シ更ニ考慮ヲ願ヒタシ

○湯地委員 此案デ安價ニナル

○矢作委員 獨逸ノ例ニ倣ツテ販賣ノ最高價格丈ハ定メタイ、之ヲ考ヘテ欲シイ

○大河内委員 ソレハ湯地君ノ説ノ後ニ付ケ加ヘタライイダラウ

○湯地委員 大河内君ノ説ニ賛成シタノデアアルカラ大河内君ニ尋ネテ欲シイ

○大河内委員 場合ニ依テハ管理シテモヨイ、專賣ハ尙早

○矢作委員長 只肥料ガ安價ニナル農林省ノ意向ヲ考ヘテ欲シイ

○大河内委員 管理シテモヨイ

○矢作委員長 專賣ハ尤モ適當ナ管理法トシテ考ヘタ

○齋藤委員 大河内、湯地兩君ノ意見ニ賛成ナリ、ソシテソノ運用ニハ管理局ガ絶對ニ必要ト考フ

湯地委員 大河内委員

之ニ賛成ス

一五四

- 大河内委員 管理ガ困難ナル場合ニ專賣トナレバソレデヨイ
- 矢作委員長 專賣ガ最モ完全ナ管理ト思フ
- 野口委員 大河内サンノ意見デ輸入品ハ如何、輸入品ガ多キ故ニ之ヲ何トカシテハ如何
- 大河内委員 場合ニ依ツテハ政府自身外國カラ輸入セヨ
- 野口委員 理論ヲ離レテ實際ハ輸入品ハ獨逸ノ「バージツシト」、英ノ「ブラナモンド」ナリ、之ガ協定シテイル、獨逸ハ三井、三菱ガ扱フ、「ブラナモンド」ハ自分デスル、然シ値段ハ協定シテイル、内地ノ製品ハ極僅カデアル、輸入品ヲ何トカスレバ、他ノ内地ノモノハ損サヘシナケレバ何トカナ
- 齊藤委員 此様ナ次第ナレバ管理ヲ願フ、肥料ヲ安價ニスルト共ニ内地工業ノ發達ヲ要ス、外國カラ安イモノガ來タ時管理委員ノ協定ニヨリ内地生産ノ成立ツ様ニ如何様ニモ定メル、外國品ガ此協定價ヨリ安イ時ニハ自給自足ノ出來ル迄ハ適當價デ買上ゲ之ヲ相當ノ價格デ賣ル、ソノ利ヲ適宜處分スレバヨイ
- 湯地委員 管理配給ノ方法ハ農林省ニ任スカ又ハ此ノ委員會デ定メルカ
- 大河内委員 之ハ委員會ノ意向次第デアル
- 鈴木委員 專賣ハ不賛成ナリ、助成ニハ賛成ス、米ハ大體政府デソノ値ヲ「コントロール」ス、ソレナノニ肥料ノ値段ハ地方デ大分違フ様デアル之ハ不合理デアル、此事ハ今定メルカ又ハ後ノ委員會デ定メルカ

デ定メルカ

- 矢作委員長 此問題ハ此問題デ片付ケタシ、專賣ガ不可トスレバ管理案ヲ更ニ作ツテハ如何
- 鈴木委員 然シ此問題ニ關聯スルモノナレバ此問題ヲ同時ニ審議シタイ
- 矢作委員長 價格ヲ當業者ニ任セルハ助成ノ特別保護ノ根據ガナクナル、製造者ヲ保護スルト共ニ消費者保護ノダメ最高價格ノ根底位ヲ定メルコトハ如何
- 鈴木委員 ソノ管理ノ程度如何
- 矢作委員長 新經濟主義ニヨリ正當ナ儲ヲ見込デ最高價格ヲ協定スレバヨイソレハ生産者、消費者、官吏ヨリナル委員會ヲ作り協定シタイ
- 野口委員 輸入品ヲ政府ガ轉入シテ賣レバ大半ハ之デアル故ニ内地ノ製品ハ之ニ支配サレレ
- 矢作委員長 今ノ場合ハサウデアルケレドモ内地デ相當發達スレバ外國ト協定スルコトハアリ得ベシ、郵船會社ノ例モアレバ輸入丈政府ガシテモ然シ最高價格ノ決定丈ハ決メル必要アリト考フ
- 田中委員 保護サレレバ義務アリ故ニ最高價格ノ決定ハ差支ナシ
- 野口委員 私ノ心配ハ政府ガ安ク買ツテ之ヲ安ク賣レバ内地ノモノガ成立タヌ
- 矢作委員長 端境期ニ多少政府ガ「ストック」ヲ賣ツテモ毎年損ヲシテハ安ク賣ルコトハ出來ヌ故ニ心配ナシ
- 野口委員 政府ガ輸入スレバソノ價ガ總テノ價ニナル
- 矢作委員長 若シ政府ガ最高價格ヲ決定シテモ好況時代ニハ膨大ノ擴張トナラム、不況ニハ生産制

一五五

限ヲナシソノ固定資本ヨリノ損失ヲ生産費ニ組入レ消費者ニ負擔セシメル様ナ所謂「カルテル」ノ性質ヲ持ツ事業ハ政府ニ管理權ヲ與ヘテホシイ

○湯地委員 管理ノ方法ヲ委員長ニオ願ヒシテ更ニ開會シタイ

○矢作委員長 立案ニ際シ小委員會開會前ニ於テモ適宜御出席ヲ願ツテ支障ナシヤ

○湯地委員 差支ナキ限りカマハス

(一同賛成)

○矢作委員長 幹事ト私ガ相談シテ立案スルガ然シ御意見ノアル方ハ適宜此方カラ出カケルカ又ハ御出席ヲ願ツテ定メル事ニスルガ如何

(一同支障ナシ)

○村井委員 第一―第五迄ハ定ツタカ

○矢作委員長 之ハアナタノ御意見ヲ充分考慮シヨウ

午後二時十分閉會

四 小委員會(第四回)

一 協議事項「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」案

二 日時九月二十日午前十時

三 場所農林省會議室

出席委員 (○印ハ小委員)

○小寺房治郎

○矢作榮藏

○大河内正敏

○湯地幸平

○齋藤藤四郎

○野口 遵

阿部 壽 準

松村真一郎

安藤廣太郎

村井治郎吉

鈴木梅太郎

麻生慶治郎

田中榮八郎

○矢作委員長 大河内委員ハ未ダ御出席ニナリマセンガ最早十時ニナリマシタカラ開會シテハ如何デシカデハ小委員會ヲ開催致シマス

(横山幹事案ヲ朗讀ス此ノ時大河内委員出席)

無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策(案)

肥料ノ價格ヲ低廉ナラシムルト共ニ之カ安定ヲ期スルハ現下我國農家經濟ノ實狀ニ徴シ焦眉ノ急務トスル所ナリ而シテ各種肥料ノ中無機質窒素肥料ノ需要ハ輒近特ニ著シキ増進ヲ示シ最近三ヶ年平均ニ於テ其ノ量三十七萬噸ノ多キニ達シ之ガ窒素含有量ハ全販賣肥料中ノ窒素總量ノ四割餘ヲ占ムルノ狀況ナルカ斯種肥料ハ從來一般ニ使用セラレル有機質肥料ニ比スレバ現在ノ市價ヲ以テスルモ尙低廉ナルヲ以テ其ノ需要ハ今後ニ於テ益々増大スルニ至ルベキハ疑ヲ容レズ而シテ之

カ將來ニ於ケル需要ノ程度ハ食糧其他ノ農産物ノ増殖ニ伴フ肥料消費ノ増加及經濟的肥料ノ選擇ニ因ル消費割合ノ變化等ヲ考察シ近ク十年後ニ付テ之ヲ見ルモ其ノ量八十萬噸ヲ下ラザルベク更ニ其ノ後ニ於ケル需要量ノ莫大ニ上ルベキハ想像ニ難カラズ故ニ之ガ價格ヲ低廉ニシ且安定ナラシムルコトハ營ニ夫レ自體重要ノ事項タルノミナラズ本肥料ノ價格ガ一般窒素肥料ノ價格ヲ支配スルノ作用ニ徴シ特ニ意義アルモノト謂ハザルベカラズ

翻ツテ我國ニ於ケル無機窒素肥料供給ノ狀況ヲ見ルニ其ノ國內生産ハ現在僅カニ十七萬五千噸(空中窒素固定肥料十五萬五千噸、副生硫酸安母尼亞二萬噸)ニ過ギズシテ需要ノ過半ハ之ヲ外國ノ生産ニ依頼シ年々獨、英、米ノ諸國ヨリ巨額ノ輸入ヲナシツツアリ然ルニ世界ニ於ケル無機窒素肥料ノ價格ハ斯種肥料ノ供給ノ大部分ヲ支配スル智利ニ於ケル智利硝石ノ國家的大「シンジケート」並ニ獨逸ヲ中心トスル歐洲諸國及米國ノ一部ヲ包容スル石灰窒素及硫酸安母尼亞ノ販賣聯盟ノ獨占的勢力ニ依リテ決定セララルガ故ニ我國ニ於ケル斯種肥料ノ價格ノ低下ト安定トヲ庶幾スル上ニ於テ右ハ甚シキ障害タリ而モ我國生産者ハ今日未ダ之等販賣聯盟ニ加盟スルニ至ラズト雖歐米ノ製品ノ我國ニ於ケル販賣價格ガ歐米ニ於ケル夫レニ比シ之等諸國ヨリ我國迄ノ運賃其ノ他ノ經費丈高價ナルヲ利用シテ其ノ生産業ヲ營マントスルガ如キ消極的態度ヲ持スルヲ以テ現狀ニ依リ推移スルニ於テハ之等肥料價格ノ低下及安定ノ目的ヲ達スルコトハ到底之ヲ望ミ難シ故ニ適當ナル方策ヲ講ジ斯業ノ健實ナル發達ヲ期スルハ刻下ノ急務ニシテ獨リ農業上ノ立場ニ於テノミナラズ國際貸借ノ改善重要工業振興ノ上ヨリスルモ將又國防上ノ見地ヨリスルモ右ハ極メテ

肝要ノ事項ト謂ハザルベカラズ

今我國ニ於ケル無機窒素肥料生産増加ノ可能性ニ付考察スルニ其ノ最重要ナル空中窒素固定肥料ノ製造事業ニ在リテハ製品ノ主要原料タル空氣及水ノ無限ニ利用シ得ラルルノ點ハ勿論製造工程上缺クベカラザル電力又ハ石炭等ニ在リテモ有利ニ之ヲ使用シ得ルモノ少シトナサズ而シテ今後相當需要ノ増進ヲ期待シ得ベキ石灰窒素ノ製造ニ適セル不定時電力ノ豊富ナルガ如キ或ハ硫酸安母尼亞ノ製造上製鐵業ノ廢瓦斯ノ利用セララルベキモノ少カラザルガ如キ亦看過スベカラザル所ナリトス唯低利長期ノ資金ヲ得ルノ困難ナルガ如キ機械工業ノ進歩未ダ充分ナラザルガ如キ多少不利トスベキ點アルヲ免レズト雖國家的政策ニ依リテ之等不利ノ事情ヲ除去スルニ於テハ我國ノ優秀ナル事業經營者及技術者ノ力ハ能ク本事業ヲ世界的標準ノ下ニ成立セシメ得ベク從テ近キ將來ニ於テ本肥料ノ生産ハ國內自給ノ域ニ到達シ得ルハ勿論更ニ進ンデ國外輸出ノ餘力ヲ養ヒ以テ有事ノ際多額ノ固定窒素ヲ一時軍需ノ爲ニ收容セララルモ尙國內ノ肥料供給ヲ確實ニスルヲ得ルノ程度ニ之ヲ發達セシムルコト敢テ至難ニ非ザルベシ

事情右ノ如クナルヲ以テ政府ハ此ノ際肥料政策ノ眼目タル價格ノ低下及安定ノ目的ヲ達成センガ爲左記要項ニ從ヒ本事業ノ經營ヲ助長スルト共ニ製品ノ販賣ヲ管理スルノ要アルモノト認ム

記

一、新ニ空中窒素固定肥料ノ製造業ヲ開始シ又ハ之ガ從來ノ規模ヲ擴張セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト

二、政府ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ許可ヲ受ケタル事業ニ對シ低利資金ヲ貸付ケ又ハ其ノ事業ノ爲發行スル社債ノ償還ニ付保證ヲ爲シ得ルコト

三、空中窒素固定肥料ノ製造ヲ爲ス株式會社ハ政府ノ許可ヲ得テ拂込資本金ノ二倍迄社債ヲ發行シ得ルコト

四、新ニ發電ノ爲水利權ヲ許可スル場合ニ於テハ第一項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ對シ優先的ニ之ヲ附與スルコト

既得ノ發電水利權中事業未着手ノモノニ付テモ適當ノ整理ヲ行ヒ同様優先的附與ノ途ヲ開クコト

五、空中窒素固定肥料ノ製造装置ニ使用スル機械類ノ輸入税ヲ免除スルコト

六、空中窒素固定肥料ノ製造業者ニ對シ前各項ノ保護ヲ與フル場合ニ於テハ政府ハ一定ノ期間内ニ生産スベキ數量其ノ他必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得ルコト

七、政府ハ毎年空中窒素固定肥料及副生硫酸安母尼亞ニ付其ノ最高販賣價格ヲ定ムルコト

八、政府ハ前項ノ肥料ノ一定數量ヲ買入レ之ヲ貯藏スルヲ得ルコト

九、第七項ノ肥料ノ輸入又ハ輸出ヲ爲サントスルトキハ政府ノ許可ヲ受ケシムルコト

十、政府ハ第七項ノ肥料ヲ自ラ輸入シ又ハ商人ヲ指定シテ輸入セシムルコトヲ得ルコト

十一、第八項及前項ノ肥料ノ配給ハ政府ノ管理ノ下ニ商人產業組合又ハ農會等ヲシテ之ヲ爲サシムルコト

十二、政府ハ買入代價ヲ一年内ニ償還スベキ肥料證券ヲ以テ交付シ日本銀行ヲシテ政府ノ定ムル歩合ヲ以テ割引カシムルコト

十三、第八項、第十項及第十一項ニ依ル肥料ノ買入及賣渡ニ關スル一切ノ歳入、歳出ハ之ヲ一般會計ノ區分シ特別會計ヲ立ツルコト

十四、前項ノ特別會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本特別會計ノ負擔ニ於テ借入金ヲ爲スコトヲ得ルコト

十五、政府ハ第七項ノ肥料ノ製造業者ヲシテ其ノ製造高其ノ他必要ナル事項ヲ報告セシメ且ツ其ノ業務及財産ニ對シ検査監督ヲ爲シ得ルコト

十六、政府ハ官民ヨリ成ル委員會ヲ設ケ第七項ノ肥料ノ管理ニ關スル重要事項ヲ諮問スルコト

○湯地委員 記ノ十六ヲ尙一度讀マレタシ

(横山幹事案十六ヲ朗讀ス)

○村井委員 此ノ前ノ小委員會ニ於テ大河内及湯地委員ノ修正動議ニ依リ水力電氣ノ優先權云々ハ便宜云々トイフコトニ皆様ノ意見ガマトマツタ事ト記憶シテ居ルガ只今朗讀ノ案ニ依ルト之レヲ修正シテナイノハ何ウ云フ譯デスカ

○矢作委員 此ノ前ノ委員會デハ大河内委員ヨリ可成便宜ヲ與ヘルコトニシテハ如何ト云フ動議ガ出テ大體委員ノ方ニモ之レニ一致シタノデ案ヲ書キ直シテ出ス様ニナツタノデアリマスガ此ノ前ノ小委員會ノ直後十三日ニ有志ノ方ノ懇談ヲ致シマシタ(當日大河内委員ハ萬止ムヲ得ザル事情ノ爲缺



席セラルル其ノ席上ニ於テモ優先權ノ問題ヲ議論シタノデアリマスガ大多數ノ意見ガ此ノ問題ハ斯ウシテ置イテ宜カラウト云フ事ニナツタノデアリマス、ソレデ其ノ儘提案シタ次第デアリマス。遞信省ノ方デモ特別ノ御面倒ハナイト考ヘマスシ又遞信省トシテモ公益ノ立場ヨリ認可セラルルノデアリマスカラ、特別御仕事ニ矛盾ハ起ラナイト考ヘマス。

○村井委員 遞信省ノ仕事ノ上カラドウカウ申スノデ御座イマセンガ、水利權ノ優先權ヲ與ヘルト云フ事ハ大問題デアリマシテ空中室素固定工業ニ最モ力ヲ入レテ居ル、獨逸ノ如キデスラス様ナコトハ認メテ居ナイノデアアル。

此ノ工業ガ日本ノ現状ニ於テ公益上之レガ最モ重要デアルト云フ事ニ當テハマルト良イノデアリマスガ、公益ノ立場ヨリ見テ幾ツモノ問題ガアリマスノデ其ノ順位ハ仲々問題デアリマス。成ル程此ノ工業ハ國家トシテ助成スルノデアリマスカラ必ズヤ成功スルコト考ヘマスガ、コレマデ化學工業ノ目的ノ爲水利權ヲ得テ居リ乍ラ一般供給用ニ變ヘタモノガ大變多イノデアリマス。先程御參考ニ當局ノ方ヘ差上ゲマシタガソレニアリマス通り一般供給用又ハ特別供給用及化學工業用ノ目的ヲ以テ水利使用ノ許可ヲ受ケ其ノ後目的ヲ一般供給用又ハ特定供給用ニ變更許可シタルモノ十三御座イマス。

之ハ工業家ニ誠意ナキ爲ニアラズシテ當初ハ其ノ工業ヲ爲サントセシモ算盤ガ合ハヌ爲メ止ムヲ得ズ用途ヲ變更シタモノデアリマス、又化學工業ヲ目的トシテ水利使用ノ許可ヲ受ケ、其ノ後目的ニ一般供給用又ハ特定供給用ヲ追加許可ヲ受ケタルモノ、竝ニ目的ヲ一般供給用又ハ特定供給用ニ變

更許可ヲ受ケタルモノ二十アルノデアリマス。

必ズ優先權ヲ與ヘサヘスレベ安價ナ電力ガ得ラルト考ヘルノハ如何カト思フ、今日ノ建設費ハ平均五乃至六〇〇圓ニナツテ居ル發電設備費ヲ四〇〇圓トシ利率ヲ年九朱トスレバ之ガ三十六圓、原價償却ヲ五圓、營業費其他等十七圓、合計五十七圓ニナリ「ロードファクター」八〇%トシテ四〇〇

○「キロワット」一「キロワット」時ノ「ネットエキスベンス」八厘三毛トナル

右ノ如ク「キロワット」ヲ最少限度ニ見積ルモ八厘三毛デアアル。カカル状態ナルヲ以テ最早大變安價ナ水利權ハ殘ツテ居ナイノデアアルカラ優先的ト云フコトトシテモ事實ハ此ノ工業ノ爲メニハ何等ノ意義ガナイト思フ。

○矢作委員長 只今ハ小委員會デ御座イマスカラ案全體ニツキ小委員ノ方ヨリ御意見ヲ承リ度イノデアリマス。

○村井委員 此ノ前ノ小委員會ニ於テ此ノ問題ハ解決シテ居ツタト考ヘルノデアリマスカ。

○野口委員 只今村井委員ノ御話ノ中ニ私ノ方ノ事ニ關係アル事デ少シ違ツテ居ルコトガアル様ニ思ヒマスカラ一言申上ゲ度イノデアリマスカソレハ化學工業ノ目的ノ爲メニ許可ヲ受ケタモノデ現在實際其ノ目的ノ爲メニヤツテ居ルモノハ無イト言ハレタ様ニ思ヒマスカ現ニ私ノ方ハ十三ヶ所許可ヲ受ケテ悉ク實際ニ當初ノ目的ノ爲メニヤツテ居リマス。

○村井委員 イヤ、全然ナイトハ言ハナイノデアリマス、只今申上ゲタノハ斯カル例ガ多イト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス。

○野口委員 今ノ御話デハ電力ニ安イモノノナイ故ニ不可ナリトノ御話ナルガ窒素工業ニハ安イ電力  
デナクテハイカヌノデアル、悪イ電力ノ優先權ヲ與ヘラレテモソレハイカヌコトデアル

○矢作委員 只今村井委員ハ今後ハ何ウセ有利ナ水利權ハ残ツテ居ナイノデアルカラ優先的ニ與ヘテ  
モ實益ハアルマイト言ハレタノデアリマスガ私ハ村井委員ト意見ヲ異ニスルノデアリマス、又外國  
ノ立法例ニ就テモ御話ガアリマシタガ、ソレニ就テモ意見ヲ異ニシテ居リマスガソレハ特別委員會  
ニ於テ個人ノ資格デ申上ゲ度イト思ヒマス

○大河内委員 此ノ前ノ小委員會デハ優先的デナクテ成ル可ク便宜ヲト云フコトニスル事ニナツタト  
思フ

○湯地委員 先刻小委員長ハ優先的ニ與ヘルト云フ事ハ私ノ提案デアル如ク申サレマシタガ之レハ私  
ノ提案デハ御座イマセン、吉植君ノ意見デアリマシタ、吉植君ハ優先的デナク優先ニト確ニ申シマ  
シタ、私ハ優先ニト云フコトト優先的ニト云フコトトハ違フト思フ、優先的ト言ヘバ便宜ト云フコ  
トモアルト思フ

○間部幹事 之ハ優先トカ優先的トカ深イ意味デハナカッタ

○湯地委員 優先的トハ成ル可ク便宜ト云フ事ニトレル、電氣局ニ於テモ工業ノ方ニテモ支障ナキ様  
ニシタラ如何、又案ノ最後ノ委員ノ問題デアアルガ委員ノ顔ブレハ如何ニ決定スルカ生産者側ノミニ  
テモ消費者側ノミニテモ、官吏ノミニテモ宜シカラズト思フ、之等ノ人々ヲ網羅セネバナラヌト思  
フ

○矢作委員長 委員ハ消費者、製造者側等ヲ入レテ公平ナモノトシ度イ

○村井委員 此ノ案ヲ決定シテ欲シイト云フ湯地サンノ説ニ依レバ優先的ノ意味ガ曖昧ニナルカラ優  
先的ヲ成ル可ク便宜ヲ與ヘルト云フ事ニ修正セラレタイ

○湯地委員 修正ハ文字ノ修正デナク文字ノ解釋ニ止メテハ如何、一々文字ヲ修正スルコトニナルト  
之丈デハ濟マヌ、大變デアル

○矢作委員長 優先的ヲ彈力ノアル意味ニ解シ此ノ儘ニテ通シテ戴キタイ

○村井委員 優先的ト云フ文字ガ宜敷クナイ、兎角誤解ヲ招ク文字デアアル

○大河内委員 肥料調査會デ考ヘルノデアアルカラ優先ト言ヒ度イガ、一般國家ヨリ考フルトキハコノ  
モノヲ特ニ優先ニスルト云フニトハ穩デナイト思フ

尙水利權問題以外ニ考フベキコトハ天然瓦斯ノ問題デアアル此ノ天然瓦斯ハ未ダ何人モ手ヲツケテ居  
ナイ事柄デアアルカラ之ニハ優先的ノ許可ヲ與ヘル事ニシテモ良イト考ヘル、即チ天然瓦斯ヲ用ヒテ發  
電スル場合ハ空中窒素固定工業ノ目的ニナスモノニ對シテ優先的ニ許可ヲ與フル事ニスルノデアアル  
何故デアアルカト云フト天然瓦斯ヨリノ發電ハ悉ク常時電力デアアルカラデアアル、一ツ井戸ヨリ一日二  
千萬立方米出ル之ハ四六、〇〇〇「キロ」ノ電力トナルガ問題ハ此ノ瓦斯ノ永續性ノ問題デアツテ日  
本石油デハ此ノ瓦斯ノ永續性ニツキ確信ヲ得タト云ツテ居ル

長岡瓦斯會社ハ明治三十九年以來今日迄此ノ天然瓦斯ニテ長岡市ニ瓦斯ヲ供給シテ居ル

米國「ルイジアナ」デハ天然瓦斯ヨリ二〇萬「キロ」ノ發電ヲナセルモノアリ、此ノ瓦斯ヨリ發電スレ

「一キロワット」時燃料費二厘トナル、他ノ費用、利益等ハ凡テ安全ニ見積ツテ四厘、合計六厘ニテ定時電力ヲ得ラルルノデアル

天然瓦斯ノ問題ハ御参考ニ申上ゲタノデスガ優先的ト云フ言葉モ彈力アル意味ニ解シ絶對優先ノ意味デナク解釋シ、局長ニモ同意願度シ

○間部幹事 他ノ項ニツキ説明セズトモ宜敷キヤ

○湯地委員 其ノ要ハナカラウ

○矢作委員長 優先的ハ彈力ノアル意味ニ解シ此ノ案ハ原案通り可決サレテ御異議ハ御座イマセンカ

○村井委員 出來得レバ便宜ヲ與ヘルト云フコトニシテ貫ヒ度イノデスガ出來ナケレバ止ムヲ得マセ

(異議ナシトノ聲アリ)

○湯地委員 一寸希望ヲ申上ゲマスガ字句ノ修正ハ小委員會ヲ開カズ委員長ト當局トノ間デ宜敷ク御願ヒ致シ度イ

○矢作委員長 湯地委員ノ仰セノ通り取計ヒマシテ宜敷キヤ

(異議ナシノ聲アリ)

○矢作委員長 ソレデハ左様致シマス

之レデ今日ノ小委員會ヲ閉會致シマス

閉會 十一時十分

四 第一特別委員會第二回議事速記録

協議事項「無機質窒素肥料ノ製造助成及販賣管理方策」(小委員會決定案)

昭和二年九月二十日(火曜日)農林省會議室ニ於テ開會

出席委員 (○印ハ第一特別委員)

- 東 武
- 小寺房治郎
- 村井治郎吉
- 鈴木梅太郎
- 矢作榮藏
- 大河内正敏
- 湯地幸平
- 恒藤規隆
- 齋藤藤四郎
- 田中榮八郎
- 野口 遵
- 藤山常一
- 阿部 壽 準
- 松村真一郎
- 安藤廣太郎
- 麻生慶次郎

○東委員長 ソレデハ第一特別委員會ヲ是カラ開會致シマス

○間部幹事 委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス……第一特別委員會ハ六月二十三日、二十四日ノ二日間開會致シマシテ、二十四日ノ委員會ニ於テ小委員ヲ設ケルコトニナリマシテ、六月二十七日ニ小委員會ガ開カレマシタ、其會議ニ於テ大體ノ方針ガ定マリマシタノデ、矢作委員ガ其案ヲ取纏メル起草委員ニナラレマシテ、六月三十日以降約二十日ニ涉リマシテ、矢作委員ヲ中心ト致シマシテ、幹

事モ之ニ參加致シマシテ案ノ作成ニ當リマシタ、ソレカラ八月二十日ニ第二回ノ小委員會ガ開カレマシタ、少委員長ノ作成シマシタ案ニ付キマシテ色々議論ガアツタノデアリマスガ、其日ニハ決定ヲ見ルニ至リマセヌデ、更ニ九月十日ニ第三回ノ小委員會ヲ開クコトニナリマシタ、其節前ニ作リマシタ、案ノ變更ヲ必要トスルコトニナリマシタノデ、其後變更案ニ付キマシテ小委員長、幹事等ニ於キマシテ作成ニ當リマシタ、漸ク本日はガ出來マシタノデ、午前中小委員會ヲ開キマシテ決定ニナツタヤウナ次第デアリマス、以上御報告申上ゲマス

○矢作委員 只今委員會ノ經過ニ付キマシテ御報告ガアリマシタ、私ハ小委員各位ノ御依頼ニ隨ツテ幹事ト一緒ニ案ヲ作ルコトニ參加致シマシタ、所ガ此事柄ハナカナカムヅカシイ事柄デアリマシテ、殊ニ固定窒素肥料ノ生産費ノ如キハ極メテムヅカシイ問題デアリマシテ、幹事、當業者ニ於カレマシテ此費用ノ如キハ製造業者トシテハ、公開出來ナイ位ノ極度ノ程度迄業務ノ状態ナドヲ御知ラセ下サイマシテ、吾々ノ調査ニ便宜ヲ御與ヘ下サイマシタコトハ、特ニ感謝致ス次第デゴザイマス、又遞信省ノ御方モ、局長ハ普通ナラバ吾々ガ得ラレナイヤウナ電氣ニ關スル材料ヲ詳細ニ供給シテ載キ、又大河内委員ヤ小寺委員ハ技術上ノ御専門ノ方面カラ御助ケ下サイマシタシ、ソレカラ湯地委員ハ法制上カラ非常ニ御助ケ下サイマシテ其他齋藤委員ヤ參加委員デアリマス所ノ田中サンモ小委員デアアリデナイニ拘ラズ能ク御出デ下サイマシテ、吾々ノ仕事ヲ御助ケ下サイマシタ、御蔭ヲ以テ漸々此案ガ出來タノデアリマス、私ヤ幹事ガ幾ラカ働ライタヤウデアリマスケレドモ、私ノ働イタ分ハ極メテ少ナイノデアリマシテ、幹事ガ夏休中非常ナ努力ヲ以テ御働ニナツタ部分ガ多イノ

デアリマス、又安藤委員ガ幹事ヤ私共ノ仕事ヲ御指導下サイマシタコトモ有難ク感謝致ス次第デアリマス、就キマシテハ尙ホ此案ニ付テ申上ゲマスルト、前文ニゴザイマスヤウニ我國ハ窒素肥料ガ大變ニ餘計要ル國デアリマス、御承知ノ通り米作ヲ主トシテ居リマスカラ、サウシテ家畜ノナイ農業ヲ營ンデ居リマスカラ、販賣肥料デアアル窒素ガ要ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、窒素肥料ヲ是非國內デ生産シナケレバナリマセヌ、ソレカラ其價格ガ極メテ低廉デアリマセヌト云フト自然、米ノ生産費モ高クナリ、又一般消費者ノ如キモ不利ヲ蒙リマスカラ、窒素肥料ヲ成ルベク國內デ生産シ、出來ル丈ケ安ク供給スルコトガ必要デアリマス、ソレカラ日本ノ農家ハ小農家デアリリマスカラ、一年平均シテ價格ガ安イト云フコト丈ケデハ助カラナイノデ、需要季節ニ急ニ高クナツテ要ラナイ時ニ安イノデハ農家ハ助カリマセヌ、又安イ時分ニ買込ンデ置クカラ持ツテ居ル農家モ極メテ少ナイノデアリマスカラ、價格ノ低廉デアルト云フコト、價格ガ安定シテ居ルト云フコトガ極メテ必要デアルト云フ状態ニ在ルノデアリマス、ソレ故ニ此案ハ窒素肥料ハ成ルベク國內デ造リ、ソレカラ其價格ハ成ルベク安く、サウシテ安定スルコトニシタイ、又幾ラカ農民トシテハ少シ管轄違ニ涉ルカモ知レマセスケレドモ、火藥ノ原料ヲ買ツテ居ルヤウナ我國デアリマスカラ、國防上ノ見地カラ申シマシテモ窒素ノ固定事業ノ發達スルコトガ極メテ望マシイト云フ考ガアリマシテ、斯ウ云フ案ガ出來マシタ譯デアリマス、要スルニ此案ハ一ツ書キニ書イテゴザイマスヤウニ、先ヅ固定窒素ノ製造ガ少ナウゴザイマスカラ、其製造ヲ保護シヤウ、保護スルニ付キマシテハ此事業ハ固定資本ヲ要スル事業デアリマスシ、其資本ノ金利ガ安クナイト云フト、其償却ニ長イ年限ヲ要シマスカラ、長期低利ノ

資金が充分ニアリマセヌト何カニ困難デアルト云フ所カラ、低利資金ノ供給ト云フコトが這入ツテ居リマス、ソレカラ電力ニ付テ四ニ書イテアリマスノハ、安イ電力ガゴザイマセヌト生産費ヲ安クスルコトガ困難デアアル、我國ハ獨逸ノヤウニ安イ石炭ヤ褐炭ガゴザイマセヌカラ、ドウシテモ今ノ所水力ニ依ツテ水素ヲ得ナケレバナラヌ状態ニアリマスノミナラズ、矢張水素ヲ壓搾スルト云フヤウナコトモアリマスノデ唧筒ヲ使ハナケレバナラヌ、又其他ノ機械ヲ使ヒマスカラ、動力用トシテモ電氣ノ安イ方ガ良イ、他ニハ電力ノ安イ、或ハ石炭、褐炭ノ安イ有利ナ國ガアリマスカラ、サウ云フ國ト競争シテ往クニハ、我國ハ水力ヲ餘程安イモノニシナケレバナラナイ、斯ウ云フ點カラ起業費ヲ安クスルコト、其水力ヲ與ヘルニ付テ成ルベク化學工業ヲ起スニ都合ノ好イヤウナ優先的ノ取扱ヲシテ載キタイノデ、「優先的」ト云フノハ絕對優先デナク、彈力ノアル優先デアリマシテ、成ルベク優先ニシテ載キタイト存ジマス、簡單ニ申セバ一般供給ノ水力ヨリハ優先ノモノニシテ載キタイト云フ意味デアリマス、ソレカラ價格ノ點ニ付キマシテハ御承知ノ通りニ天然ノ窒素肥料デアリマスルト智利硝石、ソレカラ人工デ出來マス所ノ硫酸トカ或ハ將來段々發達シテ行ク種類ノ固定窒素肥料ガアリマスガ、サウ云フモノニ付キマシテハ段々大規模企業ト云フモノハ進ンデ參リマス自然ノ傾向ト致シマシテ、此智利硝石ノ方ハ國家ガ參加シテ「シンデケート」ニナツテ居リマス、ソレカラ獨逸ガ主トナリ獨逸ヤ其他ノ大陸諸國、今日デハ英吉利ノ副生硫酸安母尼亞販賣會社等モ團結致シマシテ「シンデケート」ト「シンデケート」ノ間ニ協定ヲ結ンデ居ルト云フコトデ、世界ノ窒素ノ値段ヲ支配致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ其上ニ我國デハ窒素肥料ガ足りナイカラ輸入シテ居ル

ノデアリマスガ、輸入ハ絕對自由ニナツテ居リマシテ、國ハ何等干渉シテ居リマセヌガ、隣國ニ固定窒素肥料トカ或ハ副生硫酸安母尼亞ト云フモノガアリマシテ、一週間モ經テバ來ルト云フ國デアリマスレバ、自由ニ委シテ置クコトガ宜イノデアリマスガ、注文シテカラ二箇月モ經タナケレバ品ガ來ナイト云フコトデアリマスカラ、自由放任デ輸入シテ居リマスルト、品ガ多過ギテ値段ガ暴落スルコトガアリマスルガ、又一方ニ品不足デ需要時期ニ暴騰スルト云フコトガアリマスルノデ、ソレハ統計表ノ示ス所デアリマスカラ、ソレデ價格ノ安定ヲ圖リ、價格ヲ成ルベク低廉ニシヤウト云フコトニ付キマシテハ、矢張國ハ或ル程度マデ管理ヲ握ツテ最高價格ヲ定メテ置ク、ソレカラ「ストック」ヲ大部分國ガ持ツ、或ハ製造會社ニ委託ヲスル、或ハ自分ガ進ンデ場合ニ依ルト肥料ヲ輸入スルト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ途ヲ開イテ置キマセヌト、價格ノ低廉安定ト云フコトハ期セラレナイト云フ點カラシテ、保護ヲ與ヘマスト同時ニ、一方ニ於テハ消費者側ノ利益モ保護スル、斯ウ云フ所カラ此案ガ出來テ居ル次第デアリマス、尙ホ細目ニ付キマシテハ御質問ニ應ジマシテ申上ゲタイト思ヒマス

○東委員長 小委員會ノ成案ニ付テ御質疑ガアリマシタナラバ、十分御腹藏ナク御意見ノ御交換ヲ願ヒマス

○村井委員 只今小委員長カラ御話ニナツタコトデアリマスガ、大體ニ於テ私ハ異議ハナイノデアリマスガ、唯一點是ハ私ハ小委員會ノ少數意見トシテ已ムヲ得ズ申上ゲマスガ、問題ハ此「優先的」ノ問題デアリマス、實ハ此問題ニ付キマシテハ、小委員會ニ於キマシテ私ハ意見ヲ述べタノデアリマスカラ、クドクドシク申上ゲル必要モアリマセヌガ、只今ノ御話ノヤウニ小委員會デモ決シタコト

デアリマスガ、私ハソレニ付テハ此委員會ニ於テモ申述ベタイト云フコトヲ申シテ置イタ次第デアリマス、「優先的」ハ優先トハ違フト云フ大體ノ小委員會ノ御決定デアリマスガ、成程文字ヲ見マシレバ優先ト書イテアルノ「的」ノ字ガ付イテ居ルノトハ相違ガアルノデアリマス、併シ只今小委員會ノ委員長ノ御報告ノ如ク此「優先的」ト云フコトハ彈力ガアル、絶對ニ優先デハナイガ先ヅ水利權ノ許可ヲ爲ス場合ニ之ニ優先的ニ與ヘルノデアルト云フ御趣意ニ承リマシタ、ソレデハ「的」ノ字ガアツテモ無クテモ同ジデアル、矢張水利權ノ許可ニ對シテハ絶對的優先權ヲ與ヘルモノデアルト云フコトニ、誤解ヲ招ク虞ガアラウカト思ヒマス、私ハ此會ニ於キマシテ、此優先ト云フ言葉ヲ御取リテ願ヒマシテ、何か他ノ言葉ニ御變ヘテ願ヒタイト思フ、次イデドウ云フ方針デ此水利權ヲ許シテ居ルカト云フコトデアリマスガ、水利權ノ許可ハ水利法ノ適用デアリマシテ、今日ハ各地方長官ガヤツテ居ルノデアリマス、唯水力電氣ノ水利ニ關スル問題ニ付キマシテハ、逓信大臣ニ稟申シテ一而内務大臣ニモ稟申スルト云フコトニナツテ居リマス、結局地方長官ガ、水力電氣ニ關シテ、或ル河川ノ水利權ヲ許可セントスル場合ニ於テハ、内務大臣逓信大臣ニ伺ツテ參リマス、其場合ニ……他省ニ亘ルコトハ申上ゲマセヌ、恐ラク御方針ハ同ジコト、思ヒマスガ……尠クモ逓信省ノ今日マデ執ツテ居リマス方針トシマシテハ、先ヅ第一ニ考ヘマスノハ公益上ノ可否デアリマス、第二ニハ其水力電氣ヲヤルニシテモ經濟上ドウデアルカト云フコトデアリマス、第三ニハ其設計ノ良否、即チ河川ノ利用方法、竝ニ水量落差ノ關係等有ラユル方面ヲ考慮致シマシテ、十分ナル注意ヲ拂ヒマシテ之ヲ許スノデアリマス、是マデノ經驗ト致シマシテモ外國ニ向ツテ競争的地位ニ立ツテ居ル

ヤウナ工業デアルトカ、其他ノ事業ニ對シテハ出來得ルダケノ調査ヲシテ便宜ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、併シクドクドク申上ゲルマデモナク、小委員會ニ於テ大河内委員ヨリモ縷々御説明ガアリマシタガ、成程此工業助成ノ爲ニ國家ハ有ラユル優先權ヲ與ヘルト云フコトハ尤モノ次第デアル、併シナガラ公益上カラ見レバ國家的助成ヲ要スルモノハ必ズシモ此事業ノミデハナイト考ヘマス、必ズシモ外國ノ例ヲ採ル必要モゴザイマセヌケレドモ、此水利權ノ許可ニ對シテ此種ノ特權ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、近來ノ外國ノ水利法モ、私ノ寡聞デアルカモ知レマセヌケレドモ、未ダ見ナイヤウデアリマス、其ノ時々ノ状態ニ依ツテ能ク公益ノ關係、經濟ノ關係其ノ他ノコトヲ考慮シテ國家ガ權利ヲ附與スルト云フ状態デアリマスルカラ、成程只今小委員長ノ御話ノ通り、是非ハ非常ニ彈力ガアルト云フ仰セデアリマスケレドモ、是ハ頗ル意味深長ト考ヘラレルノデ、或ハ誤解ヲ招クヤウナ嫌ヒガアリマスノミナラズ、國家一般ノ行政權ノ發動トシテハ、ドウモ矛盾スルヤウナ問題ヲ惹起シハシナイカト云フ虞ガ私ハアリマスカラ、ドウゾ優先的ト云フ言葉ハ之ヲ他ノ言葉ニ……優先ト云フコトヲ意味シナイ言葉、例ヘバ當局ハ成ベク便宜ヲ圖ルトカ云フヤウナ言葉ニ御變ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス

○矢作委員 私ハ是ハ小委員長ノ資格デナク特別委員タル私一個ノ意見トシテ申上ゲタイトデアリマスガ、私ハ逓信省ト内務省トガ唯此水力ヲ許可スルニ付テハ主管省デアルト云フコトハ、第一根本カラ適當ナ行政組織デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又逓信省ノ是マデヤツテ居ツタ電氣ニ關スル政策ハ、必ズシモ近頃ノ新シイ思想カラ言ツテ適當ニ行ハレテ居ツタイト思ハナイノデアリマスカ

ラ私ハ、遞信省ハ是カラ段々御變ヘニナルダラウ、ソレガ爲ニ電氣局長モ御更ヘニナツタノデアラウト思ヒマスカラ、何レ是カラハ良クナルダラウ、併シ是マデハ適當デナイ、其適當デナイ證據ハ洵ニ簡單デアリマシテ、我國ニハ公營電氣ト私設ノ電氣會社トアル、ソレデ其發電水力ノ生産費ハドツチガ多イカト云フト、公營ノ方ガ安ク出來テ居ル、ソレデ元來ナラ、餘所ノ國ハ大抵私設ノ方ガ安ク出來テ居ル筈デアリマスガ、今迄ノ遞信省ハ會社ガ合同シテ「ウオーター、ストック」ヲ造ルノヲ一向監督ナサラナイヤウデアリマス、ソレカラ其許可ニ付テハ設計ノ良否ト云フコトニ依ツテ許可スルコトニシテ居ル、所ガ態ト拙イ設計ヲ出ス爲ニ、何年モ先願權ガ續イテ居ツテ、整理ノ附カナイ先願權ガ澤山存在スルト云フヤウナコトハ、極メテ顯著ナル事實デアリマス、ソレカラ水力ノ許可ニ付キマシテ、漁業ノ保護トカ農業ノ保護トカ云フコトニ付テ考慮ヲ拂ハレテナイト云フコトハ從來問題ニナツテ居リマス、態々局長ガ好意ヲ以ツテ御示シニナツタ御調ヲ、私共ノ方デ局長ヲ攻撃スル材料ニ使ツテハ申譯アリマセヌガ、ソレハ今迄ノ局長ノ問題デアリマスカラ差支ナイト思ヒマス、一定ノ條件ノ下ニ水力ヲ起スコトニ付テ優先權ヲ與ヘテ置キナガラ、無條件デ一般供給ノ方ニ使ツテ居ルモノガアル、ソレヲ以テ、ドウモ特定ノ目的ヲ以テ許シテモ、結局一般供給ニナルト云フ議論ヲ御引出シニナル、今ノ局長カラハ聞カナイガ、斯ウ云フコトハ私共ノ堪ヘナイ、今後ハ特定ノ電力トシテ許シタモノハ一般供給ニハ使用出來ナイト云フコトニシナケレバナラヌ、是ハ今ノ局長ヲ攻撃スルノデアリマセヌガ、今後モソレガ出來ナイト云フヤウナ御意見デアルナラバ、今ノ局長モ少シ考ヘテ載カナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲナケレバナラヌト思フ、ソレカ

ラ優先的ト云フコトニシマシタノハ、私ハ遞信省ニ有能ノ方ガ澤山アルト云フコトハ認メマス、ソレカラ法律モ經濟モ能ク御分リニナル方モ多ク居ラレルト云フコトモ分ツテ居リマス、併シ工業ノコトニ付テハ商工省ノ方ガ餘計分ツテ居ル方ガ居ラレラウト云フコトヲ、素人デアリマスカラ想像スル農業ノコトニ付テハ矢張農林省ノ方ノ人ガ餘計分ツテ居ル、事務家モ技術者モ餘計居ラレルトコト、私ハ思フ、ソレデ此水利權ノ許可ニ付テ之ヲ國民經濟的ニ又公益ノ上カラ一番有利ノ方ニ使ツテ載カウトスルニ付テハ、此一ト二トハ遞信省ト内務省デ判斷シテ載クノハ適當デナイ、三項ハ遞信省デ判斷シテ載イテ宜カラウト思ヒマスガ、一ト二トハドウシテモ商工省ト農林省ノ専門家が參加シテ定メルト云フコトガ適當デアルト思フ、優先的ト云フコトヲ入レテ置イタノハ、斯ウナツテ居レバ水力ヲ利用シテ窒素固定ヲヤルニ付テ、之ヲ優先ニ許可スルト云フコトニナレバ、他ニ製鐵業ニ使用シヤウトカ其他ノ事業ニ使用シヤウト云フコトモアルデアラウト思ヒマスカラ、絶對ニ優先ト云フコトデアルナラバ、商工省デモ満足シマセヌシ、私共モサウデアラウト思ヒマス、公益上ノ問題トカ經濟的ノ價值ト云フコトニ付テハ、日本デ一番其事ニ付テ専門知識ヲ持ツテ居ルコトハ、適當デアルト云フコトガ適當デアルト思フ、隨ツテ此處ニ優先的ト云フ文字ガ入ツテ居ルコトハ、瑞西ハ窒素肥料ノ製造ト云フコトニ付テハ大變有利ダトハ言ヘナイ、ソレヨリモズツト「ライン」河ノ下流ニ於テ「オツバウ」ノ下流ノ「ミューゼンブルヒ」デ安イ石炭ヲ使ツタ方ガ宜イノデ、電氣分解デ窒素ヤ安母尼亞ヲ造ルト云フコトハ必ズシモ瑞西ハ有利ナ條件ヲ持ツテ居ラナイノ

デアリマスソレカラ獨逸トカ普魯西ニナイト言ハレマセガ、サウ云フ國デハ水デ電力ヲ起ス所ハ殆  
 シドナイ、「バイエルン」ニアルノミト思ヒマセガ、サウ云フ方ノ例ヲ持ツテ來テ獨逸ヤ普魯西ニナ  
 イト言ハレルノハ穩當デナイ、加奈陀ハ私立會社ニ任カセルトイケナイト云フノデ、國營ニナツテ  
 居リマス、サウ云フ例ヲ引用セラレルノハ、外國立法ヲ引用セラレル以上ニ於テ公平デナイト思フ  
 ノデアリマス

○村井委員 只今矢作委員ヨリ色々御叱リヲ蒙リマシタ……

○矢作委員 ドウ致シマシテ……

○村井委員 若シ從來遞信省ノ行政方針ガ非常ニ誤ツテ居ルト云フコトデアラナラバ、私ハ何モ最近  
 ニ來タカラ先任者ノコトハ知ラヌト云フヤウナケチナコトハ申上ゲマセヌ、先任者ニ變リマシテ御  
 詫ヲ申シマスガ恐ラクハソレ迄ノ御意思デ御話ニナツタノデナイト思ヒマス、ソレカラ只今ハ外國  
 ノ立法例ヲ引イタガ、ソレハ此問題ニ付テ關係ハナイ、加奈陀ハ國營デヤツテ居ル、有利ノ例ヲ言  
 ハナイデ之ニ關係ノナイコトヲ言ツテ居ル引用ガ惡イト云フ御話デアリマシタ、是ハ矢作サンハ恐  
 ラク私ノ申上ゲタコトヲ能ク御了解下サラナカッタカト思フ、外國ノ例ヲ申シマシタノハ附タリデ  
 アリマス、私ハ外國ノ例ヲ引用シテ外國ニ斯ウアルカラ斯ウシタイト申上ゲタクハナイガ、一般ニ  
 水利權ニ優先權ヲ與ヘテ居ルカ、斯ウ云ウ工業ニ對シテ優先權ヲ與ヘテ居ル所アリヤ否ヤト云フ局  
 限的ノ意味ニ於テ言ツタノデハナイ、水利權ヲ許ス場合ニ於テハ、充分ニ公平ニヤル、或ル一個ノ  
 者ニ對シテ特別ニ恩惠ヲ與ヘルコトハナイト云フ例ニ申シタノデアリマス、一般的ノ問題ニ就テ言

ツタノデアリマス、ソレカラ前段ニ電氣ニ關スル日本ノ取締ガ充分デナイ、例ハ料金ノ如キモ認  
 可主義ヲ採ラナイデ届出主義デアル、又水利權ノ問題モ遞信省ト内務省トデヤツテ外ノ省ハヤラナ  
 イ、片手落デアルト言ハレマシタ如何ニモ仰セノコトハ御尤デアル、併シ當局者ノヤツテ居ル事ニ  
 信ヲ措ケナイカラ、優先權ヲ附ケナイト云フ One-sided ノ議論デナク、如何ニ信用ヲ措ク當局ガヤ  
 ツテモ優先權ヲ附ケナイ、即チ今居ル者ガ信用ヲ措ケナイカラ優先權ヲ附ケナイト云フ法律案デナ  
 イト思ヒマスガ、今矢作委員ノ御説ヲ伺ヒマセルト、何ダカサウ云フ風ニモ聞エマシテ、此案ノ權  
 威ヲ疑ヒタクナルノデアリマス、ケレドモソレハ私ノ誤解デアツテ、今ノ當局ガ當テニナラナイカ  
 ラ優先權ヲヤラナイト云フノデナクシテ、國民經濟ノ上カラ言ツテモ、國家永遠ノ策カラ言ツテ  
 モ、充分信頼スベキ人ガアツテモ、此策ヲ出スト云フコトニナツテ、此案ガ意義ガアルコトニナル  
 ト思ヒマス、サウスレバ今ノ當局ガ信ズルニ足リナイトカ、今ノ電氣行政ガ惡イトカ云フコトニ付  
 テ優先權ガ使ヘナイト云フコトニナリマスルト、私ハ益々反對シタイ、サウ云フ段々議論ニナレバ  
 脱線致シマスガ、電氣行政ニ關スル一個人トシテノ考ヲ申上ゲテモ宜シイガ、皆サン御迷惑デアリ  
 マスカラ省略致シマス、電氣行政ニ關シテ失敗ガアリマシタナラバ、ソレハ改良致スベキデアリマ  
 スガ、質ノ良イ電氣ヲ供給シ、惡イモノハ良イモノニ取替ヘルト云フコトハ勿論ノコトデアリマシ  
 テ、現ニ亞米利加ノ如キハ鐵道、電氣、瓦斯ノ如キモノハ燃料利用委員會 Public utility Commission  
 「コンツロール」シテ居リマス、是ハ時勢ノ要求デアリ、又工業ヲ獎勵シ其他ノ點カラ言ツテモサウ  
 往カナケレバナラヌ問題デアル、今日ハ正ニ其道程ニ在ルノデアリマス、サウ云フヤウナ次第デア



リマスガ、今矢作サンノ御話デハ、何ダカ電氣事業ト云フモノハ一ツノ純營利事業デアツテ、サウシテ所謂「ブルジョア」ガソレニ依ツテ暴利ヲ貪ル營業デアアル、是ハ抛ツテ置ケナイ、ソレダカラ相當ニヤラナケレバナラヌト云フ御考ノヤウデアリマスガ、私共ハ電氣事業ハ公益事業デアアル、鐵道ト何等變リハナイ、斯ウ云フ事業ニ對シテ認可ヲスルトキハ餘程考ヘナケレバナラヌ、御話ノ如ク唯或ル營業ヲ國家ノ警察權デ以テ、所謂保安警察ノ意味ニ於テ事業ヲ許スト云フ見地ナラバ、或ハソレモ良イカモ知レマセヌガ、今日ノ電氣事業ハサウデナイ、命令書ヲ御覽ニナツテモ一面ニ於テ營利事業デアルト云フコトヲ認メテ居ルト同時ニ他面ニ於テハ義務ヲ負ハシテ居ル所ノ公共的ノ性質ノモノデアアル、斯ノ如キ業體ノモノヲ許ス場合ニ於テ初メカラ其内容ヲ調べズシテ概括的ニ或ル者ニ優先權ヲ許スト云フコトハ慎重ノ考慮ヲ要スル、勿論私モ及バズナガラ此工業ヲ獎勵シ、助長スル上ニ於テ皆サンノ後ニ障若タル者デナイ、ケレドモ國家ノ上カラ見レバ尙ホ之ヨリハ *Welfare* ノ重イ物ガアル、其場合ニソレヲ抛ツテ置クト云フコトハ理屈ガ許サナイ、是位簡明ナ理屈ハ矢作サンニハ御承知ト思ヒマスカラ、ソレ以上ハ申しマセヌ

○矢作委員 私計リ起チマシテ相濟ミマセヌガ、村井局長ハ大分私ノ本旨ヲ御取違ヘニナツテ居ラレコトガアルト思ヒマス、ソレハ私ノ發言ノ仕方ガ惡カッタデアリマシテ、村井局長ガ惡イカラデハアリマセヌ……私ハ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、遞信省ハ電氣ノ安全ト云フコトニ付テ御判斷ヲ爲サルニハ一番良イ判斷力ヲ持ツテ居ラツシヤル省デアアルコトハ承認致スノデアリマス、ソレカラ又地方ノ公安ノ點カラ考ヘテ此ノ事業ヲ許スガ良イカドウカト云フコトニ付テハ、内務省ガ一

番良イ判斷者デアルト云フコトモ認メルノデアリマス、併シナガラ公益上下ノ事業ニ許スガ良イカト云フ第二ノ經濟上ノ價值判斷カラ、ドレヲ優先ニスルガ良イカト云フ決定ニナレバ農林省ヤ商工省ノ方ガ内務省ヤ遞信省ヨリモ、判斷スルノニ必要ナル専門的知識ヲ持ツテ居ル人ガ餘計ニ居ラレルト思ヒマス、勿論ソレハ實際誰ガ其人デアルト一々具體的ニ申スヤウナ、人ノ價值ヲ判斷スルガ如キコトハ出來マセヌガ、先ヅ制度ノ上カラ申しマシテ、又私ノ知ツテ居ル僅カ計リノ智識カラ申しマシテモ、農林省、商工省ガ第一、第二ノ要項ノ判斷力ハ餘計ニアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ優先ト云フコトヲ入レマシタノハ、今ノヤウニ會社ニ營利本位デ事業ノ經營ヲ任カシテ置ケバ、ドウシテモ需要者ノ支拂能力ヲ考ヘマシテ、拂ヘル方ニ電力ヲ供給スルノハ明瞭デアリマス、現ニ我國モサウナツテ居リマス、所ガ國民經濟上ノ利益カラ見、公益上ノ利益カラ考ヘマサルト、高イ電氣料ガ取レナイデモ、其方ニ供給スルコトヲ止メテモ、先ヅ此工業ヲ起サナケレバイカヌト云フ種類ノモノガアルト思ヒマス、其點ニ付テハ商工省、農林省ガ判斷力ガアルト思ヒマスカラ、是迄ニモ優先的ノ處置ヲ爲サレタ場合ハアルカ知レマセヌケレドモ、優先的ノ處置ヲサレタノガ實行サレナクテモ平氣ナ顔ヲシテ居ル遞信省ニ任カシテ置クヨリモ、斯ウ云フ問題ノ判斷力ノアル農林省、商工省ガ參加シテ許可シテ然ルベシト思フノデアリマス、ソレニハ何か條項ガナケレバ、省閥競爭ノアル日本ノ官僚政治デハ判斷ガ出來ナイ、省閥競爭ヲ制限シテ判斷ヲ明カニスル爲ニモ、此規定ガ必要デアルト考ヘルノデアリマス

○大河内委員 私モ「優先的」ト云フ問題ニ付テ申しマス、今矢作君ノ説明セラレタヤウナコトハ、小

委員會ニ於テ一切出ナカツタノデアリマシテ、私ハ優先的ト云フ意味ヲ成ルベク便宜的ト云フコトニ解釋シテ貫ヒタイト云フ一人デアリマシタガ、ソレガ容レラレタト思ツテ居リマシタ、今ノハ矢作君個人ノ御意見デアリマシテ……

○矢作委員 個人ノ意見デアルト云フコトヲ御斷リシテ置キマシタ

○大河内委員 ソレデアリマスカラ、アナタガ優先的ト云フコトヲ主張サレル理由ニナリマセヌ、ソコデ私ノ優先的ト云フコトヲ、之ヲ便宜的ト解釋シタト云フ意味ハ、一面ニ於テ矢作君ノ御議論ト同ジ所モアルノデアリマス、村井局長ノ今ノ御話デハ私ノ意見ガ少シ違ツテ居ツタヤウニ伺ヒマシタガ、今此處ガ窒素固定工業ノミヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、窒素固定工業ニ對シテ優先的ニヤルト云フコトハ尤デアアルガ、工業全體ニ就テ考ヘマスト、窒素固定工業ノミニ與ヘルコトハ穩當デナイト思フノデアリマス、其一ツノ例ハ、今矢作君ノ言ハレマシタ合成安母尼亞工業デアリマス是ハ殆ド電力ガ安クナケレバドウシテモ起リ得ナイ工業デアリマス、安母尼亞工業ノコトヲ考ヘマスト、是ハ電力ハ一番先ニ優先的ニ與ヘテ欲シイト云フ氣ガ起ル、ソレヲ言ツテ居ツタノデハ、ドウモ是ハ行ハレナイ議論デアリマスカラ、窒素固定工業ニ對シテモ必ズシモ優先ト云フコトデナクシテ、成ベク之ヲ優先的ニシテ貫ヒタイト云フノガ私ノ意見デアリマス、隨テ此優先的ト云フ文字ヲ成ベク便宜ヲ與ヘロト云フ意味ニ解釋シテ貫ヒタイト云フコトヲ、小委員長ニ希望シタノモノコニアルノデアリマス、之ヲ議論ヲシテ居レバ、一向盡キマセスカラ、是ハ少シ妥協スル意味デアリマスガ、私ハ之ヲ斯ク修正シタイト思ヒマス、「許可ヲ受ケントスル者ニ對シ成可ク優先的ニ之

ヲ」ト云フヤウニ、「成可ク」ト云フ字ヲ入レテ、村井局長ガ之ニ同意セラレルナラバ、私ハ此修正案ヲ出シタイト御同意ニナレバ此修正案ヲ出シマスシ、御同意ガナケレバ引込メマス

○村井委員 併シ其言葉ヲ詰メテ見レバ便宜ヲ計ルト云フコトデアリマスカ、ソレトモ矢張所謂優先ト云フ意味デ、意味深長ニシテ彈力アラシメテ今問題ニナリマシタヤウナコトデ、場合ニ依ツテハ優先的ニ扱フト云フコトデアリマスカ、私ノ先刻申シマシタノハ、兎ニ角優先的ト云ヘバ誤解ノ虞ガアル、誰ガ見テモサウ云フ風ニ解釋スレバ宜イノデアリマスカ、簡單明瞭ニ便宜ヲ與ヘルト云フコトニシテ欲シイノデアリマス、是非優先ト云フ言葉ヲ用ヒナケレバナラヌノデアリマスカ、御話ノヤウデアレバ便宜ヲ計ルト云フコトデモ宜カラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○大河内委員 私ノ意見ハ便宜デ宜イト思フノデアリマスガ、小委員會デ斯ウ云フ風ニ優先的ト云フ字ヲ置カウト云フコトニナツタノデアリマス、小委員會ノ矢作君ノ言ハレタノハ極端ナ意見デアリマスガ、個人ノ意見トシテハ積極的ノ意見モアツタノデアリマスカラ、ソレデ妥協スル意味ニ於テ優先的ト云フ字ヲ取ラズニ、成ベクト云フ字ヲ入レテ御同意ガ出來レバ御同意ガ願ヒタイト思ヒマス

○湯地委員 一寸私ハ肥料ノ當局者ニ御尋ネシタイトデアリマスカ、今日製造者ト消費者トノ間ニアツテ、ドノ位ノ手数料ナリ其他ノ口錢ガ、所謂製造者カラシテ消費者ノ手ニ渡ル間ニ何割高クナルカ、ソレヲ御調べニナツテ居リマセウカ、モウ一ツ伺ヒタイトハ、午前中ニ皆質問スル筈デアリマシタガ、時間ガナカツタノデアリマスカ、此案ニ政府ノ監督權ガ十五ニ規定シテアリマスカ、是

ハ私ハ農林省ノ今日ノ法制上ニ於テ、當然監督權ヲ持つテ居ルコトト思ヒマスガ、即チ製造者ニ必要ナル事項ヲ報告セシメ、業務財産ニ對シ監督スルト云フヤウナ事柄ハ、此規定ヲ俟タズシテ立派ニ農林省ノ構成ノ上ニ於テ監督權ヲ持つテ居ルモノト解釋スルノデアリマスガ、當局者ハドウ解釋サレテ居リマスカ

○間部幹事 硫酸安母尼亞ノ製造者カラ離レマシテ、詰リ製造業者ノ手ヲ離レル値段ト、消費者ノ手ニ入リマス値段トノ開キガ、幾ラデアアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、ソレハ未ダ皆様ニハ御配リ致シテ居リマセヌガ、先達ノ小委員會ノ時ニ配リマシタ空中窒素固定肥料製造販賣管理法ノ説明ノ綴ノ最後ニ入レテ置キマシタ、併シナガラ是ハ時期ヲ限リマシテ、其時期ニノミ付テ調べタノデアリマシテ、一年ヲ通ジテドウダト云フヤウナ平均ニハナツテ居リマセヌ

○湯地委員 大體ドノ位デアリマスカ……何割位デアリマスカ

○間部幹事 大正十五年ノ五月一日カラ同月七日ニ亘リマス一週間、神戸其他ノ重要市場ニ於ケル御賣價格ト同日ノ地方重要集散地ニ於ケル地方ノ商人カラ農家ニ賣リマス値段トヲ、實際ニ就テ調べタノデアリマスガ、ソレニ依リマスルト、神戸ニ於テ十貫目俵ニ付五圓二十錢デアリマシタ場合ニ、青森縣ノ福岡ト云フ土地デ、七圓五十錢ニナツテ居リマス、是ガ一番高イ所デアリマス、ソレニ次ギマシテハ山形ノ酒田、是ガ約七圓四十錢位デアリマス、是等ノ各縣百一箇所ニ就テ調べマシタモノヲ平均致シマス、六圓七十錢程ニナツテ居リマス、詰リ神戸デ五圓二十錢ニ賣ラレタモノガ、肥料商カラ農家ニ賣出ス値段ガ、平均六圓七十錢ト云フコトニナツテ居リマス

○湯地委員 但シ此六圓七十錢ト云フノハ運賃ガ入ツテ居リマセウ、中間ノ商人ノ手ニ入ツタノガ五圓二十錢デ、ソレヲ農家ニ賣ルノガ七圓四十錢運賃ヲ引イテ其商人ノ手ニ幾ラ儲ケルト云フコトハ調べテアリマスカ

○間部幹事 運賃ハ入ツテ居リマス

○湯地委員 運賃ハドノ位掛リマスカ

○齋藤委員 平均二十五錢ト見タラ宜イデセウ

○間部幹事 主要ノ生産地カラ一番高イ所デ三十七錢デアリマス

○湯地委員 其次ノ十五ノ監督權ハドウデス

○横山幹事 只今農林省デ持つテ居リマス監督權ト云フノハ、不正ナル肥料ヲ造ルカ造ラヌカ賣ルカ賣ラヌカト云フコトヲ監督スルノデアリマシテ營業者ノ業務或ハ財産等ノ監督ハ致シテ居ラヌノデアリマス

○湯地委員 併シ不正ナ物ヲ造ルカ造ラヌカト云フコトヲ監督スルニ、其業務財産ニ對スル監督ヲ行ハナイデ出來マセウカ

○横山幹事 現在ノ監督ハ何處迄モ製品ニ對スル監督デアリマシテ出來タ品物が良イカ悪イカヲ見ルノガ主デアリマス、ソシテ營業者ニ犯罪ガアルト云フヤウナ嫌疑ノアル場合ニ限ツテ、品物ノ差押ヲスルトカ云フヤウナ法規ガ出來テ居ルニ止マルノデアリマス

○湯地委員 ソレハ出來タ肥料ノ良否ヲ見ルノデアリマスガ、業務ノ監督ニハナラナイ、併シ其肥料

ノ良否ヲ監督スルニ付テハ、一般ノ監督權デ會社ノ業務ヤ財産ノ監督ノ出來ルヤウニ成ルベク……  
○間部幹事 現在ノ肥料取締法デハ、ソコマデ入ツテ居リマセヌ、唯現レテ居ル肥料ノ不正デア  
カ、サウデナイカト云フコトノ取締デアリマス

○湯地委員 大體質問ハ濟ミマシタガ、私ハ一寸希望ヲ述ベテ置キマス、是ハ小委員會デ色々意見ヲ  
言ハウト思ヒマシタケレドモ、十一時ニ特別委員會ニ附議サレルトシテモ、九時カラ始メマスレバ  
大分時間ガアリマシタガ、十時カラ始メラレマシタカラ一時間足ラズノ間デ、意見ヲ言フコトガ出  
來ナイ、勢ヒ此特別委員會ノ席デ申上ゲナケレバナラヌコトニナツタコトヲ御許シヲ願ヒマス、其希  
望ハ、製造者ノ製品ニ付テ出來ル限リ便宜ヲ與ヘルト云フコトハ勿論デアリマスガ、ソレカラ尙ホ  
中間ノ利益ヲ成ルベク無クスルト云フコトカラシテ、第十一項ニ「政府ノ管理ノ下ニ商人、産業組  
合又ハ農會等ヲシテ之ヲ爲サシムルコト」トアリマスガ、私ハ成ルベクハ此商人ダケニハヤラセナ  
イデ、産業組合カ農會ヲ以テヤラセタイト云フコトノ希望ヲ申上ゲテ置キマス、併シナガラ産業組  
合ヤ農會ノ組織ノナイ所ハサウ云フ譯ニハ行キマセヌケレドモ、サウ云フ組織ノアル所ハ産業組  
合、農會ヲシテ之ニ當ラセ、中間ノ利益ヲスル者ヲ省クヤウニシタイト云フコトガ希望デアリマス、  
次ニ第十五「政府ハ第七項」トアリマスガ、私ハ是ハ第六項カト思ツテ讀ンデ居リマシタガ、七項ノ  
方ガ入レテアリマスガ、政府ニ於テ立法サレル時ニ此邊ハ御考ヲ願ヒタイ、ト申シマスノハ、低利  
資金ヲ貸シタリ、或ハ此事業ノ爲ニ發行スル社債ノ償還ニ付テ、政府ガ保證シタリスル會社ト、全  
ク政府ノ世話ニナラヌ會社トニツアルト思フ、此第十五ニ依ツテ見ルト、全ク政府ノ世話ニナラヌ

時モ、政府カラ低利資金ヲ借リタリ或ハ政府ヲシテ社債ノ償還ノ保證ヲセシムル時ニモ、同一ノ監  
督權ニ附スルト云フ事柄ハ、少シ私ハ苦情ガ起リハシナイカト思フ、ソレデ勿論此政府ガ金ヲ貸シ  
タリ、又ハ保證ノ責ヲ負フモノハ徹底的ニ其會社ヲ監督シ、適當ナル事業ヲ行フヤウニ監督シナケ  
レバナラヌノデアリマスケレドモ、何等世話ニモナラヌ會社モ同様ニ監督スルト云フコトニナ  
ルト、其結果ハドウナルカト云ヘバ、一體検査ヤ監督ヲ受ケルト云フコトハ、會社ノ方カラ云ヘバウ  
ルサイコロデアリマスカラ、政府ノ世話ニナツテモナラナクテモ、ウルサイ監督ヲ受ケルコトニナ  
ルト餘力ノアル會社デモ矢張低利資金ヲ借リテ仕事ヲスルト云フコトニナツテ、其在ル資力デ俾ビ  
ルト云フコトガ幾ラカ缺ケルコトニナリハシナイカ、何デモカデモ政府ニ頼ツテヤルコトニナル、  
大體ノ規則ハ政府ノ世話ニナル會社モ世話ニナラナイ會社モ、同一ノ検査ヲ受ケルコトニナルノデ  
アリマスケレドモ、此點ハ少シ私ハ不條理ダト思フ。是ハ農林省ニ於テ他日立法ヲサレル時ニ、サ  
ウ云フ點ハ餘程御考慮下サイマシテ、適當ニ立法サレルヤウニシタイ、併シナガラ一方ニ於テハ政  
府ノ厄介ニナラヌ會社モ多少監督權ヲ持ツテ居ルト云フコトハ必要ガ生ジマセウケレドモ、之ヲ同  
様ニスルト云フコトハ少シ其邊ニ不條理ナコトガアラウト思フ、ソレデ我々ニ答申案ヲ勿論御諮問  
ニナツタ譯デアリマセウガ、大體ノ趣意バ之ヲ御採用ニナルコトヲ私ハ熱望致シマスケレドモ、愈  
々之ヲ立法サレルトキニハ其邊ノコトヲ能ク御考慮下サイマシテ適當ニ立法セラルルコトヲ希望シ  
テ置キマス、一字一句モ違ハヌデ、此通り是非ヤツテ戴キタイト云フ希望ハ申上ゲマセヌカラ、其  
間ノ事柄ヲ多少斟酌ノ餘地ヲ置イテ此答申ニ付テノ希望ヲ申述ベテ置ク次第デアリマス、午前申